

# 稻沢厚生病院年報

(2019 年度)



愛 知 県 厚 生 連

稻 沢 厚 生 病 院

# 目 次

## I. 概 要

第1章	病院の概要	
	1. 病院の概要	7
	2. 職員数	10
	3. 組織図	11
	4. 会議・各種委員会	13
	5. 主要器械・備品	15
	6. 年表	16
第2章	事業報告	
	1. 環境認識	18
	2. 基本方針（病院運営の基本姿勢及び目標）	18
	3. 重要実施事項と具体的実施事項	19
	4. 関係機関との連携状況	21
第3章	病院統計	
	1. 外来患者の地域別年間実患者数	22
	2. 入院患者の地域別年間実患者数	22
	3. 実患者数の年齢構成	22
	4. 診療科別年間平均在院日数	22
	5. 病棟別年間病床利用率	22
	6. 救急医療（時間外）	23
	7. 救急患者受入状況（時間外）	23
	8. 救急車搬入状況（時間内＋時間外）	23
	9. 診療科別手術件数	23
	10. 分娩件数	24
	11. 診療科別患者数前年比較表（外来）	24
	12. 診療科別患者数前年比較表（入院）	25
	13. 疾病・診療科別退院患者数（大分類）	26
	14. 疾病別退院患者数（中分類）	27
	15. 分娩統計	33
	16. 診療科別悪性新生物退院患者数	34
	17. 死亡退院患者数	34

## II. 診療機能概要

内科	36
精神科	38
小児科	39
外科	40
整形外科	42
脳神経外科	43
皮膚科	44
泌尿器科	45
三婦人科	46
眼科	47
放射線科	48

## III. 部署別業務実績

放射線技術科	50
臨床検査技術科	53
リハビリテーション技術科	55
臨床工学技術科	58
栄養科	60
臨床心理科	63
薬剤部	65
看護部	68
医療安全管理課・感染制御課	71
健康管理センター	75
地域医療連携課	77
医療福祉相談課	86
訪問介護ステーション「そぶえ」	87
祖父江地域包括支援センター	89
稲沢厚生病院介護保険事業所	91

## IV. 学会・論文発表

.....	93
-------	----

## V. 委員会

.....	99
-------	----

## VI. セミナー・教室活動

.....	163
-------	-----

## VII. その他

.....	164
-------	-----

## 稲沢厚生病院年報令和元年度版発刊に寄せて

我が国は、急速に進行する少子高齢化と働き手不足が深刻な人口減少社会が到来しつつあり、それらが顕在化する 2025 年に向けて、効率的で質の高い医療提供体制の構築が求められています。それに対し、国は「地域医療構想の実現」「医師偏在対策」「医療従事者の働き方改革」を三位一体の改革として推進しています。

そうした情勢の中、当院は 2019 年 4 月 1 日より、療養病床を休床し、急性期病床 153 床、地域包括ケア病床 46 床、精神科病床 51 床の計 250 床の病院として、「地域における病院の役割を自覚し、信頼され続ける病院づくりに寄与する」という病院目標を掲げ、再出発しました。

その上で、4 月には皮膚科、5 月には呼吸器内科の常勤医が入職し、診療体制の充実が図られました。また、地域包括病棟では地域包括ケアシステムの果たすべき役割の一つである“在宅で介護されている家族の支援”のため、レスパイト入院を開始しました。一方、働き方改革への対応として、就業管理システムが導入され、職員の方々の健康確保とワークライフバランスの充実を目指すこととなりました。

2019 年度にはその他にも様々な活動や出来事がありました。これらを記録に残し、「私たちは、地域住民の健康と生活を守るために、より良質で安全な医療・保健・福祉を提供すると共に、医療人を育成し、安心できる地域づくりに貢献します」という当院理念の達成の糧とするべく、本年報を作成いたしました。この年報を通じて当院の活動状況を御理解頂き、地域の皆様に選ばれ信頼される病院づくりを今後も推進していきます。

最後に、この年報の発刊に際し尽力いただいた広報委員会の皆様に心より感謝申し上げます。

愛知県厚生農業協同組合連合会 稲沢厚生病院  
院長 伊藤 浩一

## 理念

私たちは、地域住民の健康と生活を守るために、  
より良質で安全な医療・保健・福祉を提供すると共に、  
医療人を育成し、安心できる地域づくりに貢献します。

## 基本方針

1. 地域における病院の役割を自覚し、皆様に信頼される病院づくりに努めます。
2. 人間性豊かな医療従事者を育成し、医療の質向上に努めます。
3. 誇りと喜びを持って働くことができる職場環境をめざします。
4. 将来にわたり安心できる医療を提供するために、経営の安定化に努めます。

### 北館

5F	手術室・中央材料室、ME センター
4F	東 4 階 療養病棟 …………… 50 床 (医療・介護) 西 4 階 精神病棟 …………… 51 床 (精神科)
3F	東 3 階 地域包括ケア病棟 …… 46 床 西 3 階 一般病棟 …………… 51 床 (内科)
2F	東 2 階 一般病棟 …………… 50 床 (内科・外科・脳神経外科・泌尿器科) 西 2 階 一般病棟 …………… 52 床 (小児科・整形外科・眼科・産婦人科・耳鼻いんこう科)
1F	内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、 皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、 耳鼻いんこう科、放射線科、救急外来、 放射線技術科、臨床検査技術科

### 南館

(2020年3月1日現在)

4F	講義室、会議室、管理部門、 医局・研修医室、医療安全・感染制御室 図書室、医療情報室、事務室
3F	健康管理センター、 実習室、多目的室、更衣室、 保育所、洗濯室
2F	リハビリテーション技術科 (理学療法・作業療法・言語聴覚療法)、 栄養科・職員食堂、 売店、多目的室
1F	精神科、デイケア室、受付・会計、 入退院支援センター、 薬剤部、地域医療福祉連携室、 稲沢厚生病院介護保険事業所、 祖父江地域包括支援センター、 訪問看護ステーション「そぶえ」

# I . 概 要

# 第1章 病院の概要

## 1. 病院の概要

(2020年3月1日現在)

- (1) 名称 愛知県厚生農業協同組合連合会 稲沢厚生病院
- (2) 開設者 愛知県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長 佐治 康弘
- (3) 所在地 〒495-8531  
愛知県稲沢市祖父江町本甲拾町野7番地  
TEL : 0587(97)2131 FAX : 0587(97)3633  
ホームページアドレス <https://www.inazawa.jaaikosei.or.jp/>
- (4) 病院施設 敷地面積 : 17,271 m<sup>2</sup>  
建物延面積 : 20,738 m<sup>2</sup>  
建物構造 : 北館 鉄筋コンクリート造  
南館 鉄骨造  
病室延床面積 : 265.6 m<sup>2</sup>  
病室1床当り面積 : 8.86 m<sup>2</sup>
- (5) 開院日 昭和20年11月17日
- (6) 病院長 伊藤 浩一
- (7) 許可病床数 300床 (一般153床・地域包括46床・精神51床・療養50床)
- (8) 常勤職員数 429名
- (9) 診療科 20科  
内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、脳神経内科、  
精神科、小児科、外科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、皮膚科、  
泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、  
放射線科、麻酔科

(10) 病棟

病棟名	病床数	種別	看護体制	備考
東 2 階	50	一般	7 : 1	内科、外科、脳神経外科、泌尿器科
西 2 階	52	一般	7 : 1	小児科、整形外科、産婦人科、眼科
東 3 階	46	地域包括ケア	13 : 1	
西 3 階	51	一般	7 : 1	内科
東 4 階	50	療養	25 : 1	医療 50 床
西 4 階	51	精神	13 : 1	精神科
計	300			

(11) 各種指定

救急告示病院、保険医療機関、労災指定医療機関、臨床研修指定病院、生活保護法指定医療機関、結核予防法指定医療機関、母体保護法指定医療機関、指定自立支援医療機関（更生医療・育成医療）、指定自立支援医療機関（精神通院医療）、被爆者一般疾病指定医療機関、身体障害者福祉法指定医療機関、肝疾患専門医療機関、災害拠点病院、卒後臨床研修評価機構認定病院

(12) 各種施設基準

【基本診療料】

急性期一般病棟入院基本料 1（7 対 1）

地域包括ケア病棟入院基本料 2（13 対 1）

精神病棟入院基本料（13 対 1）

小児入院医療管理料 5、臨床研修病院入院診療加算、救急医療管理加算、妊産婦緊急搬送入院加算、診療録管理体制加算 1、医師事務作業補助体制加算 1（20 対 1）、急性期看護補助体制加算（50 対 1）、看護職員夜間配置加算 16 対 1、看護補助加算 2（精神病棟）、療養環境加算、重症者等療養環境特別加算、精神科身体合併症管理加算、医療安全対策加算 1、医療安全対策地域連携加算 1、感染防止対策加算 1、感染防止対策地域連携加算、抗菌薬適正使用支援加算、ハイリスク妊娠管理加算、ハイリスク分娩管理加算、入退院支援加算 1、入院時支援加算、データ提出加算 2、患者サポート体制充実加算、精神疾患診療体制加算 1 及び 2、総合評価加算、後発医薬品使用体制加算 3、認知症ケア加算 1、精神科急性期医師配置加算、精神科リエゾンチーム加算

【特掲診療料】

高度難聴指導管理料、がん性疼痛緩和指導管理料、外来リハビリテーション料、がん治療連携指導料、肝炎インターフェロン治療計画料、薬剤管理指導料（加算含む）、無菌製剤処理料、医療機器安全管理料 1、在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料、検体検査管理加算（Ⅰ）（Ⅱ）、HPV 核酸検出検査、HPV 核酸検出検査（簡易ジェノタイプ判定）、時間内歩行試験、ヘッドアップティルト試験、神経学的検査、コンタクトレンズ検査料 1、小児食物アレルギー負荷検査、画像診断管理加算 1、CT 撮影、MRI 撮影、冠動脈 CT 撮影加算、

小児科外来診療科、救急搬送看護体制加算、乳腺炎重症化予防・ケア指導料、胎児心エコー法、大腸 CT 撮影加算、心臓 MRI 撮影加算、抗悪性腫瘍剤処方管理加算、外来化学療法加算 1、脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）、運動器リハビリテーション料（Ⅰ）、呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）、精神科作業療法、精神科デイ・ケア（大規模なもの）、医療保護入院等診療料、乳がんセンチネルリンパ節加算 1・2、ペースメーカー移植術・交換術、大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）、経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈ステント留置術、埋込型心電図記録計移植術・摘出術、胃瘻造設術、胃瘻造設時嚥下機能評価加算、医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 5 及び 6 に掲げる手術、輸血管管理料Ⅱ、輸血適正使用加算、人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算、麻酔管理料（Ⅰ）、保険医療機関間の連携による病理診断、向精神薬多剤投与、入院時食事療養（Ⅰ）、在宅療養後方支援病院、排尿自立指導料、早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術、がん患者指導管理料 1・2

(13) 介護保険サービス

祖父江地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション「そぶえ」（訪問看護・訪問リハビリ）、医療療養・介護療養病棟（医療 33 床、介護 17 床）、ショートステイ

(14) 学会指定

1	日本内科学会認定医制度教育関連病院
2	日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
3	日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
4	日本小児科学会小児科専門医制度研修関連施設
5	日本外科学会外科専門医制度修練施設
6	日本整形外科学会整形外科専門医制度研修施設
7	日本脳卒中学会脳卒中専門医研修教育病院
8	日本泌尿器科学会専門医教育施設
9	日本眼科学会専門医制度研修施設
10	日本病理学会研修登録施設
11	日本耳鼻咽喉科学会専門医制度研修施設
12	日本高血圧学会専門医認定施設

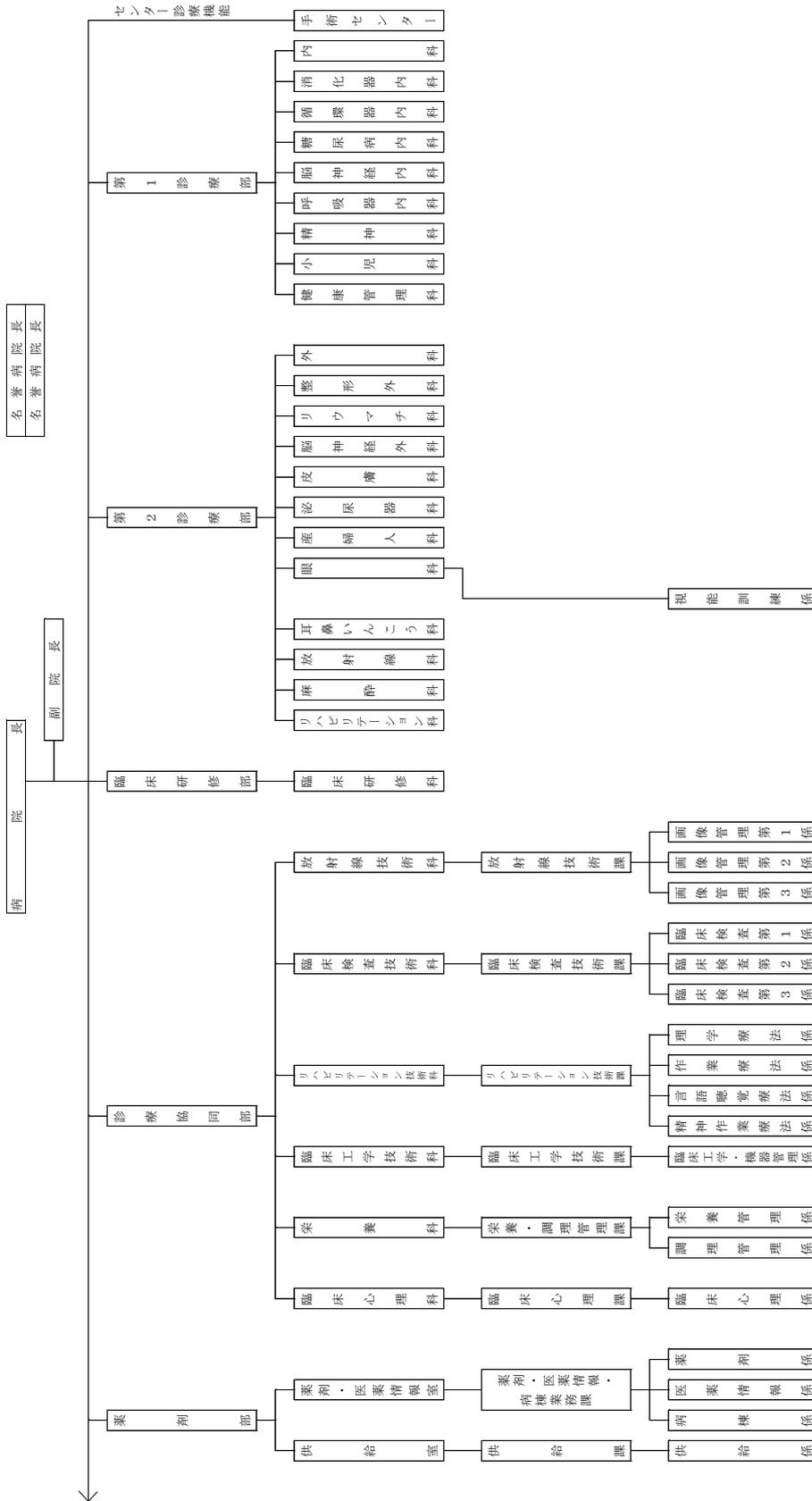
## 2. 職員数

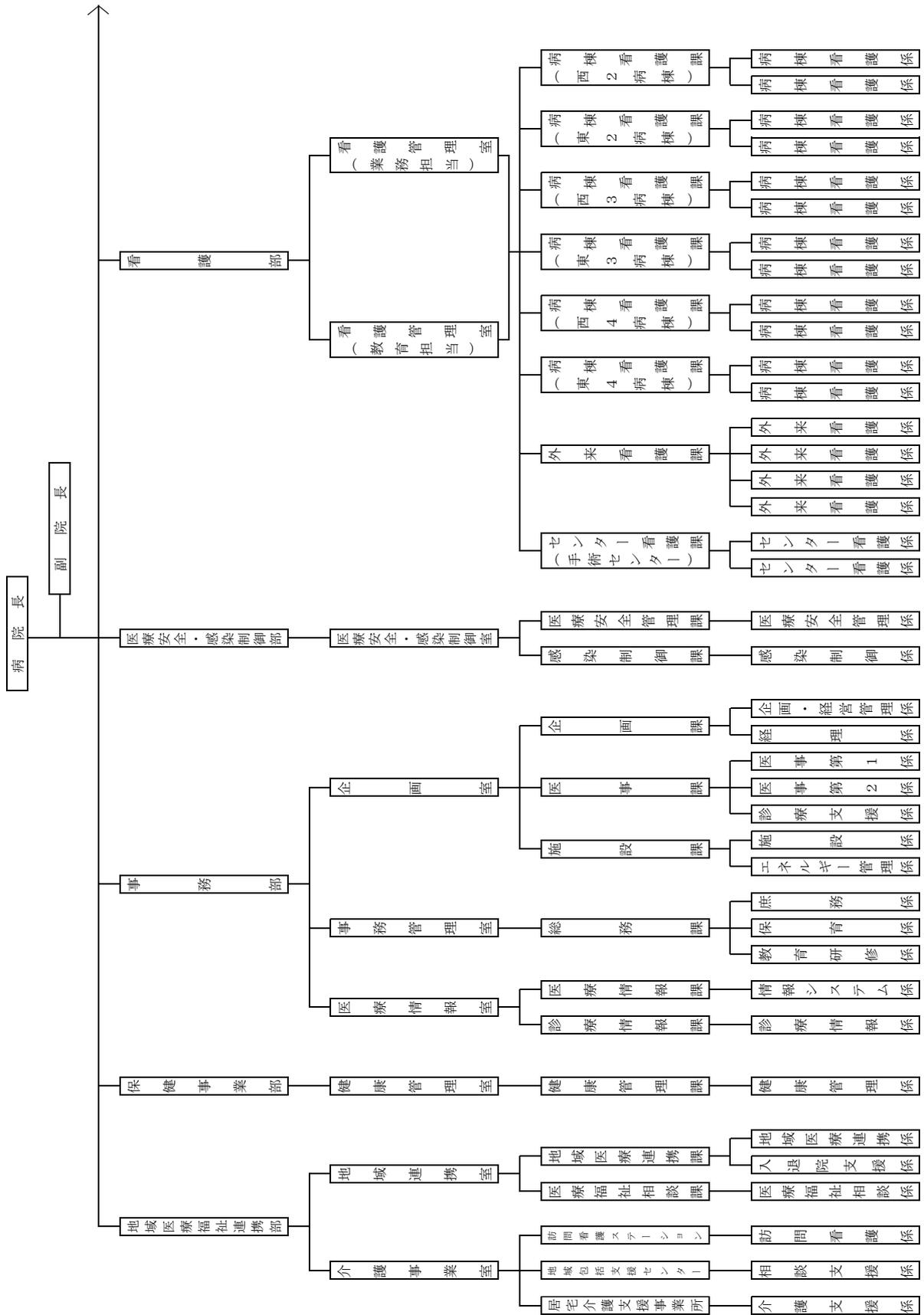
(2020年3月1日現在)

区 分		正職員	準職員	非常勤	計
医 師		31	8	61	100
コ メ デ イ カ ル 部 門	薬剤師	14	1		15
	診療放射線技師	10			10
	臨床検査技師	16		1	17
	理学療法士	13			13
	作業療法士	10			10
	言語聴覚士	4			4
	管理栄養士	5			5
	栄養士		5		5
	臨床心理士	3	1		4
	ソーシャルワーカー	7			7
	臨床工学技士	2			2
	視能訓練士	3			3
	計	87	7	1	95
看 護 部 門	保健師	3			3
	助産師	5		3	8
	看護師	172	12	12	196
	准看護師	5	2		7
	計	185	14	15	214
事 務 部 門 他	事務職員	36	1	15	52
	技能職員	19	1		20
	作業職員	36	4		40
	計	91	6	15	112
合 計		394	35	92	521

### 3. 組織図

(2020年3月1日現在)





#### 4. 会議・各種委員会

(2020年3月1日現在)

会議名	月日・定例等	定員	主な協議内容	
管理会議	第2水曜日 運営会議週水曜日	定例	12	病院運営の諸問題の協議及び決定
経営戦略会議	運営会議週水曜日	定例	15	経営の安定・医療の質向上に向けた検討
運営会議	最終金曜日	定例	36	病院運営の諸問題の協議及び報告
診療会議	第2火曜日	定例	22	診療に関する諸問題の協議
病棟運営会議	偶数月 第3火曜日	定例	14	入院患者の把握と円滑な病床管理の協議
福祉事業運営会議	奇数月 第4木曜日	定例	11	福祉事業に関わる当院の取り組みの協議・検討
保健事業運営会議	年2回	随時	9	健康管理センター運営上の諸問題の検討・協議
保育所運営委員会	7月第1水曜日	定例	10	保育所の円滑な運営に関する全般協議
診療報酬適正管理委員会	第3水曜日	定例	15	診療報酬の適正管理に関する委員会
資材委員会	後期管理会議日	定例	10	資材の採用、中止等の検討及び主要材料の取扱協議
院外処方箋連絡会	年4回	随時	6	院外処方箋発行に関する事項についての協議
医療安全管理委員会	前期管理会議日	定例	13	安全に関する委員会の適正な運営の指導
医療安全推進委員会	第4火曜日	定例	15	医療事故等の防止のための予防対策の協議・検討
手術部・麻酔安全委員会	年4回	随時	11	手術室の安全管理に関する全般協議
医薬品安全管理委員会	前期管理会議日	定例	10	医薬品の安全管理に関する全般協議
医療機器等安全管理委員会	年1回	随時	12	医療機器に関する安全管理に関する全般協議
院内感染対策委員会	第1火曜日	定例	19	院内感染症に関する予防・対応の検討
輸血療法委員会	隔月第4水曜日	定例	10	適正な輸血療法に関する協議
臨床検査適正化委員会	年4回	随時	6	臨床検査科業務を円滑に図るための協議・調整

会議名	月日・定例等	定員	主な協議内容
化学療法委員会	必要時 随時	9	適正な化学療法に関する協議
放射線運営委員会	必要時 随時	10	放射線業務に関する協議・検討
NST委員会	第3水曜日 定例	19	入院患者の栄養管理に関する全般協議
栄養管理委員会	年4回 随時	13	病院給食に関する検討
スキンケア対策委員会	第1金曜日 定例	13	院内褥瘡調査・ケアの検討
クリティカルパス・EBM委員会	年3～4回 第3月曜日 随時	14	クリティカルパスに関する諸問題の協議・検討
救急医療委員会	奇数月 第3火曜日 定例	9	救急医療に関する全般協議
児童虐待委員会	必要時 随時	5	虐待事例発生時の対応の協議・検討
SPD委員会	第2火曜日 定例	8	SPD運用方法の協議・検討及び物流マスターの整理・分割
固定資産選定委員会	必要時 随時	13	固定資産の選定に関する提案・協議
認知症ケア委員会	年1回 随時	9	認知症対応のための院内体制に関する協議
医療ガス安全管理委員会	年1回 随時	21	医療ガス設備の安全管理に関する全般協議
医療廃棄物管理委員会	年1回 随時	21	医療廃棄物の管理に関する全般協議
災害対策委員会	年2回 随時	34	防災管理の徹底及び防災計画の検討
院内コンプライアンス委員会	年4回 随時	36	コンプライアンスに関する協議
個人情報管理委員会	必要時 随時	36	個人情報に関する協議
安全衛生委員会	第1金曜日 定例	12	職場の安全衛生に関する事項の検討・協議
医師業務負担軽減検討委員会	年2回 第3火曜日 随時	15	医師業務負担軽減に関する検討
人事考課制度等推進委員会	年2回 随時	8	人事考課制度推進の諸問題の協議・検討
省エネルギー管理委員会	年1回 随時	15	省エネルギー活動の推進に関する協議
治験臨床研究等倫理審査委員会	第4水曜日 定例	11	治験薬使用および医の倫理の協議・検討

会議名	月日・定例等		定員	主な協議内容
健康セミナー委員会	第3月曜日	定例	11	健康セミナーの企画・運営に関する協議
患者サービス向上委員会	隔月 第1火曜日	定例	14	患者ニーズの動向や患者さんの安心・満足に関する協議
ボランティア委員会	隔月 第3火曜日	定例	7	ボランティア運用上の諸問題の協議・調整
広報委員会	年4回 第3金曜日	随時	10	広報誌銀杏作成やホームページ更新など病院広報に関する協議
臨床研修管理委員会	年4回	随時	24	臨床研修の円滑な実施を図るための報告・協議
CPC委員会	年3回	随時	6	臨床で経験した症例について病理学的検討
図書管理委員会	第3金曜日	随時	6	研究図書購入に関する協議・検討
情報システム管理委員会	第2木曜日	定例	10	電子カルテシステムを主に院内の診療・情報技術に関する協議・検討
DPC委員会	第1木曜日	定例	11	DPC分析に関する協議・検討
適切なコーディングに関する委員会	年4回	随時	11	DPCコーディングに関する協議・検討
地域医療連携委員会	偶数月 第4木曜日	定例	13	病診連携など地元開業医との連携に関する協議

## 5. 主要器械・備品

(2020年3月1日現在)

X線一般撮影装置	3台
X線TV撮影装置	4台
乳房撮影装置	1台
移動型X線TV撮影装置	1台
回診用X線撮影装置	2台
骨塩定量測定器	2台
画像処理装置 (CR)	1式
超音波白内障手術装置	1台
手術用顕微鏡	3台
人工呼吸器	10台
麻酔器	6台
全自動分包機	2台
自動化学分析装置	2台

自動採血管準備システム	1 台
電子カルテシステム	1 式
画像管理システム (PACS)	1 台
全身用コンピュータ断層撮影装置 (CT)	1 台
64 列ヘリカルマルチスライス	
多目的血管撮影装置 (アンギオ装置)	1 台
磁気共鳴画像診断装置 (MRI) 1.5T	1 台
四次元超音波画像診断装置	1 台
大動脈バルーンパンピング装置	1 台
マルチカラーレーザー光凝固装置	1 台
網膜・硝子体／白内障手術装置	1 台
3 次元眼底像撮影装置 (OCT)	1 台
循環器用超音波画像診断装置	1 台
注射薬自動払出装置	1 台
長時間心電図解析装置	1 台
ソムノスクリーンシステム	1 台

## 6. 年表

月 日	行事内容
4 / 2	新入職員オリエンテーションおよび歓迎会 (～4/3)
4 / 20	厚生連役付者講演会
5 / 5	東海北陸地区臨床研修病院合同説明会 (吹上ホール)
5 / 18	解剖慰霊法要 (永龍寺)
5 / 18	稲沢厚生会総会・懇親会
6 / 5	JA あいち健康会議 (あいち健康プラザ)
6 / 9	東海四県農村医学会 (ウィルあいち)
7 / 18	内部監査 I
7 / 22	総合防災訓練
8 / 7	総合災害訓練 (厚生連全体)
8 / 21	稲沢ロータリークラブ 8 月例会
8 / 23	厚生連主催永年勤続者表彰式 (名鉄ニューグランドホテル)
8 / 28	上半期末定期監査
8 / 30	院内永年勤続者表彰式
9 / 14	厚生連球技大会 (野球・バレー)
9 / 22	レジナビフェア 2019 名古屋 (ポートメッセ名古屋)

月 日	行事内容
9/ 23	厚生連球技大会（野球決勝）
10/17	日本農村医学会（帯広 ～10/18）
10/27	電気設備年次点検
10/31	一宮保健所病院立入検査及び精神科病院実地指導
11/ 2	災害対応訓練
12/ 3	随時監査
12/ 9	内部監査Ⅱ
12/13	和親会忘年会（ANA グランコート名古屋）
1 / 4	新年仕事始め式
1 /31	年度末定期監査
2 /14	臨床研修指導医講習会（～2/15）
3 /13	稲沢厚生病院運営報告会
3 /27	永年勤続退職者功労表彰式（厚生連本部）
3 /27	定年退職者を送る会

## 第2章 事業報告

### 2019年度事業所別事業計画

#### 1. 環境認識

尾張西部医療圏北部地域においては、一宮市立市民病院をはじめとして、一宮西病院・大雄会病院がそれぞれ急性期医療・高度専門医療の充実を図り機能強化を進めている一方で、当院は大型施設整備を実施し診療機能の充実を図ってきたものの、抜本的な経営改善には至っていない。近隣に競合する病院が多い厳しい環境下において、医師不足等要員確保の困難に起因する諸問題に対応するため、マンパワーを集約した効率的な事業運営を目指して「病院完結型」から「地域完結型」へ、「競合」から「協力」へのシフトによる急性期、回復期及び精神医療への注力を決断した。今後は、地域の医療機関及び各施設との連携を今まで以上に強化して、訪問看護をはじめとする在宅医療の充実を図り稲沢市における地域包括ケアシステムの中心的役割を担うと共に、災害対応を含め地域医療の堅守のため安定した経営基盤の構築が肝要である。

#### 2. 基本方針（病院運営の基本姿勢及び目標）

尾張西部医療圏南部地域において、地域包括ケアシステムの中核として関連施設との連携強化に努め、二次救急やコモンディージーズ（頻回発生する疾患）に対する急性期医療に加えて精神医療・保健事業及び訪問看護をはじめとする在宅医療の充実を図る。

また今後も永続して地域住民の健康と生活を守るため、診療機能の集約化と効果的な人員配置による経営基盤の確立を進める。

### 3. 重要実施事項と具体的実施事項

① 診療機能の充実	
救急医療体制の維持	救急医療体制の堅持 時間外救急専任の代務医師確保
医師の確保	各診療科医師、臨床研修医の安定確保
入院診療機能の充実	病床稼働率急性期病床 84.2%、地域包括ケア病床 90.5% の達成 稼働状況に合わせた病棟再編の検討 精神科病棟の安定稼働 レスパイト入院の受入れ開始 入退院支援センターの安定稼働、業務範囲拡大の検討 服薬指導・栄養指導の充実
外来診療機能の充実	外来患者数 1 日 572 人以上の確保 新規外来患者の確保 認知症外来の強化 がん看護相談外来の充実 他医療機関からの小児発達外来リハ受入れ体制構築 精神科デイケアプログラムの充実
② 医療の質、安全強化	
医療安全・感染制御の充実	ノンテクニカルスキル教育の継続実施 ICT チーム活動の充実、感染管理機能の強化 e ラーニングによる医療安全の知識と技術の教育 職員の感染管理意識向上に向けた啓発活動の充実 コンプライアンス遵守の周知徹底
医療供給体制の整備	高額医療機器の導入時期検討 検査機器の精度管理 機器データの作成・管理
患者サービスの向上	患者意見から出た改善提案の検討・実施
③ 地域との連携強化	
病病・病診の連携強化	他院からの直入院受入れ実施 紹介症例検討会の定期開催 紹介患者件数の増加 施設利用（CT・MRI）件数の増加 紹介窓口の開設
行政・医師会との連携強化	地域医療構想に向けた定期的な協議会への参画 電子連絡帳（ICT）の参加
地域包括ケアシステムに参画	地域の包括ケアシステムに参画
JA との連携強化	産直広場の参加、朝市の継続実施

④ 保険事業	
健康管理センターの充実	JA 組合員ドックの利用拡大 2 次精検の受診率アップ
⑤ 福祉・介護事業	
在宅医療の充実	訪問看護の業務拡大 訪問リハビリの業務拡大 精神疾患の訪問リハビリ新規開始
福祉・介護事業の充実	高齢化進展に伴い地域ニーズに合うサービス提供整備
情報連携の強化	地域福祉コーディネーターと連携し、協議会を地域課題について意見交換できる場として構築
⑥ 経営管理	
回収額黒字化に向けた段階的な収支の改善	地域ニーズに合った病床再編の検討 慢性期、介護事業撤退による要員配置の検討 各部門から収入増に向けた提案実施
予算進捗管理の遂行	全職員に収支状況の情報発信を継続
診療協同部門の稼働率向上	診療協同部門の各科稼働状況アップ
適正な人員配置	稼働状況に合わせた要員の効率的な配置
ジェネリック薬品の推進	後発医薬品指数 70%以上の確保
費用削減の取り組み	試薬、材料、外部委託検査等費用の効率化 給食材料比率の適正化
固定資産の管理	200 万円以上の新規購入医療機器の稼働状況管理 循環投資枠の厳格な管理
保険査定減・返戻件数の減少	保険査定減、レセプト返戻対策の強化
⑦ その他	
要員確保	認定看護師の後任育成 障がい者雇用の推進 女性医師支援センターの開設と運用確立
災害拠点病院の役割強化	大規模災害に備えた地域住民参加型の訓練実施
広報活動の充実	病院広報誌・ホームページ等の情報発信ツールの充実 市民公開講座の充実

#### 4. 関係機関との連携状況

JA 愛知西	JA 愛知西 春の感謝祭 参加【健康管理センター・栄養科】 6/29～6/30 JA 愛知西職員向けインフルエンザ予防接種実施 ～12/6 産直広場出店 毎月 朝市 毎月8の付く日
稲沢市	春のごみゼロ運動いなざわ 参加 5/17 職場体験【祖父江中学校8名】 8/6 そぶえ夏まつり 参加【看護師（医療救護班）】 8/15、8/31 院内にて期日前投票 9/19 集団災害救急事故対応訓練 派遣【DMAT・患者役】 10/7 稲沢福祉まつり 参加【MSW・保健師】 10/26 介護連携推進協議会啓発部会 参加【理学療法士】 11/10 稲沢市さわやか隊統一行動 参加【事務】 11/26 健康講演会 派遣【理学療法士】 11/30
稲沢市民病院	病院連携などについての話し合い（事務局レベル） 7/4、9/26、10/28
一宮市	尾西高等学校闊歩大会 派遣【看護師】 10/24 こころの健康フェスティバル2019 参加【作業療法士】 12/8
津島市	院内にて期日前投票 4/18
厚生労働省	大規模地震時医療活動訓練 参加【DMAT】 9/7
稲沢市 ロータリークラブ	8月例会を当院講義室にて開催 8/21
稲沢市消防	産業医定期巡回及び健康講話・相談 毎月

### 第3章 病院統計

#### 1. 外来患者の地域別年間実患者数

	稲沢市			一宮市		愛西市		その他	合計
患者数	78,901			13,578		8,933		13,699	115,111
比率(%)	68.5%			11.8%		7.8%		11.9%	100.0%
(再掲)	祖父江地区	稲沢地区	平和地区	尾西地区	一宮地区	八開地区	佐織地区		
患者数	41,588	28,765	8,548	9,024	4,554	3,459	5,474		
比率(%)	36.1%	25.0%	7.4%	7.8%	4.0%	3.0%	4.8%		

#### 2. 入院患者の地域別年間実患者数

	稲沢市			一宮市		愛西市		その他	合計
患者数	3,682			505		413		890	5,490
比率(%)	67.1%			9.2%		7.5%		16.2%	100.0%
(再掲)	祖父江地区	稲沢地区	平和地区	尾西地区	一宮地区	八開地区	佐織地区		
患者数	1,801	1,511	370	282	223	123	290		
比率(%)	32.8%	27.5%	6.7%	5.1%	4.1%	2.3%	5.3%		

#### 3. 実患者数の年齢構成

	6歳未満	6歳～ 15歳未満	15歳～ 50歳未満	50歳～ 65歳未満	65歳～ 70歳未満	70歳以上	計
入院	324	75	803	593	389	3,306	5,490
比率	5.9%	1.37%	14.63%	10.80%	7.09%	60.21%	100.00%
外来	6,529	5,636	20,165	18,507	10,652	53,622	115,111
比率	5.67%	4.90%	17.52%	16.08%	9.25%	46.58%	100.00%

#### 4. 科別年間平均在院日数

診療科	在院日数	診療科	在院日数	診療科	在院日数
内科	19.3	整形外科	35.8	産婦人科	6.9
精神科	64.0	脳神経外科		眼科	5.6
小児科	4.0	皮膚科	10.5	耳鼻咽喉科	
外科	16.4	泌尿器科	12.7	合計	17.4

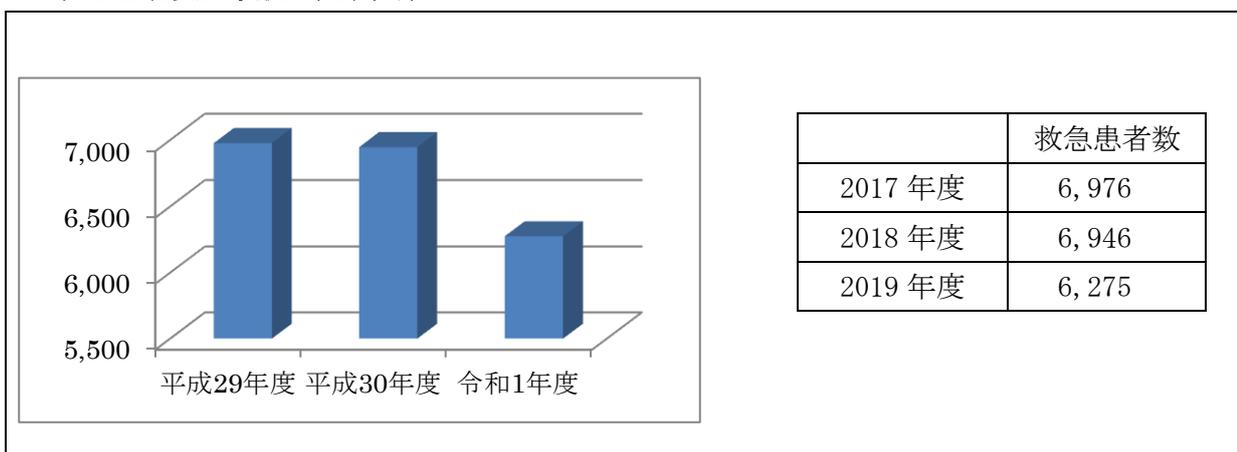
#### 5. 病棟別年間病床利用率

病棟名	病床数	利用率	病棟名	病床数	利用率
東2階	50床	83.2%			
西2階	52床	69.4%	精神	51床	80.8%
東3階	46床	84.6%	一般計	199床	80.6%
西3階	51床	85.6%	合計	250床	80.6%

## 6. 救急医療（時間外）

診療科	受入数（件）	診療科	受入数（件）	診療科	受入数（件）
内科	3,117	整形外科	677	産婦人科	99
精神科	46	脳神経外科	122	眼科	46
小児科	1,170	皮膚科	291	耳鼻咽喉科	83
外科	453	泌尿器科	171	合計	6,275

## 7. 救急患者受入状況（時間外）



## 8. 救急車搬入状況 時間内+時間外

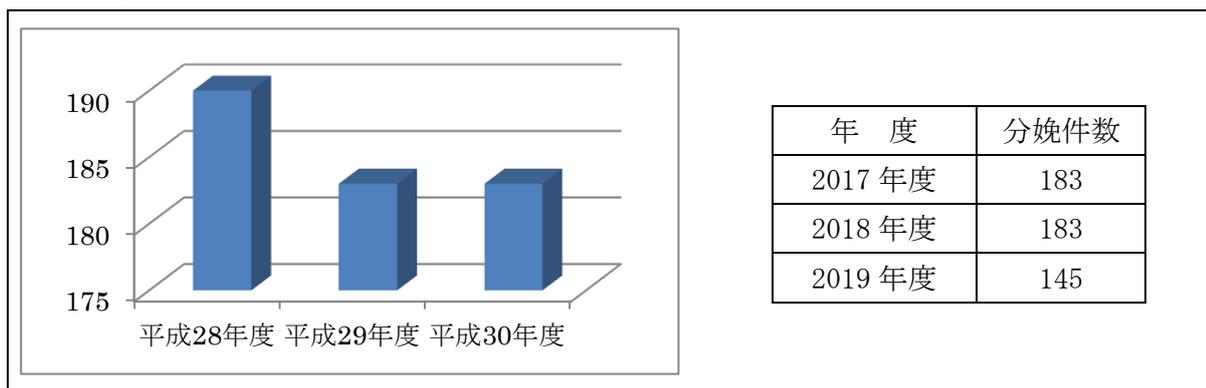
括弧内は時間外再掲

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
71(40)	95(54)	79(52)	114(58)	101(62)	98(54)	86(55)
11月	12月	1月	2月	3月	合計	
94(61)	75(55)	106(71)	83(56)	78(53)	1,075(671)	

## 9. 科別手術件数

	全身麻酔	腰椎麻酔	局所麻酔	合計
内科	0	0	0	0
外科	152	8	20	180
整形外科	26	78	27	131
脳神経外科	0	0	0	0
皮膚科	1	0	66	67
泌尿器科	0	11	0	11
産婦人科	74	45	0	119
眼科	1	0	353	354
耳鼻咽喉科	0	0	0	0
その他	2	0	1	3
合計	256	142	467	865

## 10. 分娩件数



## 11. 診療科別患者数前年比較表（外来）

科別	2017年度			2018年度			2019年度		
	延人員	対比	1日当	延人員	対比	1日当	延人員	対比	1日当
内科	42,842	98.4	160	43,567	101.7	164	43,408	99.6	167
精神科	22,782	92.7	85	21,451	94.2	81	21,724	101.3	84
小児科	16,346	89.4	61	15,744	96.3	59	16,428	104.3	63
外科	7,711	95.0	29	7,303	94.7	28	6,053	82.9	23
整形外科	20,759	99.0	78	20,768	100.0	78	19,126	92.1	74
脳神経外科	4,380	92.5	16	3,869	88.3	15	3,028	78.3	12
皮膚科	5,207	89.0	20	5,143	98.8	19	8,951	174.0	34
泌尿器科	8,918	99.1	33	8,608	96.5	32	8,837	102.7	34
産婦人科	8,477	98.5	32	8,188	96.6	31	8,033	98.1	31
眼科	12,659	102.2	47	12,717	100.5	48	12,297	96.7	47
耳鼻咽喉科	11,185	101.7	42	8,807	78.7	33	7,030	79.8	27
合計	161,266	96.5	604	156,165	96.8	589	154,915	99.2	596

## 12. 科別患者数前年比較表（入院）

科別	2017年度			2018年度			2019年度		
	延人員	対比	1日当	延人員	対比	1日当	延人員	対比	1日当
内科	28,477	92.1	78	32,863	115.4	90	35,188	107.1	96
精神科	14,011	96.9	38	14,250	101.7	39	15,087	105.9	41
小児科	1,884	84.3	5	2,324	123.4	6	1,615	69.5	4
外科	5,544	97.4	15	6,206	111.9	17	5,759	92.8	16
整形外科	10,608	86.8	29	11,584	109.2	32	10,735	92.7	29
脳神経外科	2,321	85.8	6	2,471	106.5	7	0	0.0	0
皮膚科	0	0.0	0	0	0.0	0	730	0.0	2
泌尿器科	964	68.9	3	1,526	158.3	4	1,859	121.8	5
産婦人科	2,564	100.8	7	2,660	103.7	7	2,155	81.0	6
眼科	336	143.0	1	570	169.6	2	631	110.7	2
耳鼻咽喉科	509	86.3	1	117	23.0	0	0	0.0	0
介護療養	3,232	73.6	9	3,871	119.8	11	0	0.0	0
合計	70,450	91.0	193	78,442	111.3	215	73,759	94.0	202

### 13. 疾病・診療科別退院患者数（大分類）

国際分類大項目分類		総数	(比率)	内科	精神科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	
総数		計	3403		1451	266	346	334	238	68	186	279	235
		男	1643	(48.3%)	811	106	170	184	85	26	143		118
		女	1760	(51.7%)	640	160	176	150	153	42	43	279	117
I	感染症及び寄生虫症	計	167	(4.9%)	67		69	2		27	2		
		男	71	(2.1%)	30		31			9	1		
		女	96	(2.8%)	37		38	2		18	1		
II	新生物<腫瘍>	計	408	(12.0%)	178			122	2	8	58	40	
		男	224	(6.6%)	120			48		5	51		
		女	184	(5.4%)	58			74	2	3	7	40	
III	血液及び造血系の疾患 並びに免疫機構の障害	計	21	(0.6%)	10		1	6				4	
		男	6	(0.2%)	5			1					
		女	15	(0.4%)	5		1	5				4	
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	92	(2.7%)	80		10		2				
		男	46	(1.4%)	38		6		2				
		女	46	(1.4%)	42		4						
V	精神及び行動の障害	計	265	(7.8%)	4	261							
		男	106	(3.1%)	2	104							
		女	159	(4.7%)	2	157							
VI	神経系の疾患	計	49	(1.4%)	30	5	4	9	1				
		男	29	(0.9%)	15	2	2	9	1				
		女	20	(0.6%)	15	3	2						
VII	眼及び付属器の疾患	計	233	(6.8%)									233
		男	116	(3.4%)									116
		女	117	(3.4%)									117
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	17	(0.5%)	17								
		男	8	(0.2%)	8								
		女	9	(0.3%)	9								
IX	循環器系の疾患	計	258	(7.6%)	254			3	1				
		男	142	(4.2%)	140			1	1				
		女	116	(3.4%)	114			2					
X	呼吸器系の疾患	計	489	(14.4%)	337		135	17					
		男	274	(8.1%)	193		68	13					
		女	215	(6.3%)	144		67	4					
X I	消化器系の疾患	計	340	(10.0%)	193		1	146					
		男	211	(6.2%)	115			96					
		女	129	(3.8%)	78		1	50					
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	計	40	(1.2%)	7		2	3	2	26			
		男	13	(0.4%)	1			3	1	8			
		女	27	(0.8%)	6		2		1	18			
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	56	(1.6%)	29		5	1	19	2			
		男	27	(0.8%)	15		1		10	1			
		女	29	(0.9%)	14		4	1	9	1			
X IV	腎尿路生殖系系の疾患	計	216	(6.3%)	60		2				124	30	
		男	116	(3.4%)	27						89		
		女	100	(2.9%)	33		2				35	30	
X V	妊娠、分娩及び産後<褥>	計	202	(5.9%)								202	
		男											
		女	202	(5.9%)									202
X VI	周産期に発生した病態	計	84	(2.5%)			84						
		男	48	(1.4%)			48						
		女	36	(1.1%)			36						
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	計	3	(0.1%)	1		1					1	
		男											
		女	3	(0.1%)	1		1						1
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・ 異常検査所見で他に分類されないもの	計	85	(2.5%)	66		7	8		1	2	1	
		男	43	(1.3%)	33		2	5		1	2		
		女	42	(1.2%)	33		5	3				1	
X IX	損傷、中毒及び その他の外因の影響	計	291	(8.6%)	38		25	11	211	4			2
		男	114	(3.3%)	21		12	7	70	2			2
		女	177	(5.2%)	17		13	4	141	2			
X X I	健康状態に影響を及ぼす 要因及び保健サービスの利用	計	9	(0.3%)	2			6				1	
		男	2	(0.1%)	1			1					
		女	7	(0.2%)	1			5				1	

#### 14. 疾病別退院患者数（中分類）

ICD-10	中分類名	件数
	総数	3,403
I	(A00-B99)感染症及び寄生虫症	167
A02	その他のサルモネラ感染症	7
A04	その他の細菌性腸管感染症	9
A06	アメーバ症	1
A08	ウイルス性及びその他の明示された腸管感染症	11
A09	その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの	54
A15	呼吸器結核, 細菌学的又は組織学的に確認されたもの	1
A41	その他の敗血症	12
A46	丹毒	11
A48	その他の細菌性疾患, 他に分類されないもの	2
A49	部位不明の細菌感染症	12
B00	ヘルペスウイルス[単純ヘルペス]感染症	4
B02	带状疱疹[帯状ヘルペス]	20
B08	皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症, 他に分類されないもの	2
B17	その他の急性ウイルス性肝炎	3
B18	慢性ウイルス性肝炎	1
B33	その他のウイルス疾患, 他に分類されないもの	1
B34	部位不明のウイルス感染症	14
B37	カンジダ症	1
B44	アスペルギルス症	1
II	(C00-D48)新生物<腫瘍>	408
C15	食道の悪性新生物<腫瘍>	12
C16	胃の悪性新生物<腫瘍>	32
C17	小腸の悪性新生物<腫瘍>	4
C18	結腸の悪性新生物<腫瘍>	29
C19	直腸S状結腸移行部の悪性新生物<腫瘍>	2
C20	直腸の悪性新生物<腫瘍>	14
C21	肛門及び肛門管の悪性新生物<腫瘍>	1
C22	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	33
C24	その他及び部位不明の胆道の悪性新生物<腫瘍>	27
C25	膵の悪性新生物<腫瘍>	34
C34	気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	9
C44	皮膚のその他の悪性新生物<腫瘍>	3
C48	後腹膜及び腹膜の悪性新生物<腫瘍>	8
C50	乳房の悪性新生物<腫瘍>	34
C54	子宮体部の悪性新生物<腫瘍>	1
C56	卵巣の悪性新生物<腫瘍>	5
C61	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	32
C64	腎盂を除く腎の悪性新生物<腫瘍>	13
C65	腎盂の悪性新生物<腫瘍>	1
C66	尿管の悪性新生物<腫瘍>	1
C67	膀胱の悪性新生物<腫瘍>	13
C71	脳の悪性新生物<腫瘍>	4
C77	リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	10
C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍>	22
C79	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物<腫瘍>	5
C80	悪性新生物<腫瘍>, 部位が明示されていないもの	1
C83	非ろ<濾>胞性リンパ腫	1
C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物<腫瘍>	2
D01	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	2
D05	乳房の上皮内癌	1
D12	結腸, 直腸, 肛門及び肛門管の良性新生物<腫瘍>	2
D13	消化器系のその他及び部位不明の良性新生物<腫瘍>	5
D17	良性脂肪腫性新生物<腫瘍>(脂肪腫を含む)	5
D22	メラニン細胞性母斑	1
D24	乳房の良性新生物<腫瘍>	3
D25	子宮平滑筋腫	9
D27	卵巣の良性新生物<腫瘍>	16
D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	6
D39	女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	1

ICD-10	中分類名	件数
D41	腎尿路の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	1
D46	骨髄異形成症候群	3
III	(D50-D89)血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	21
D50	鉄欠乏性貧血	6
D52	葉酸欠乏性貧血	1
D64	その他の貧血	1
D65	播種性血管内凝固症候群[脱線維素症候群]	1
D69	紫斑病及びその他の出血性病態	4
D70	無顆粒球症	7
D76	リンパ細網組織及び細網組織球組織のその他の明示された疾患	1
IV	(E00-E90)内分泌,栄養及び代謝疾患	92
E03	その他の甲状腺機能低下症	1
E11	2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	31
E16	その他の膵内分泌障害	6
E23	下垂体機能低下症及びその他の下垂体障害	5
E27	その他の副腎障害	1
E34	その他の内分泌障害	2
E41	栄養性消耗症<マラスムス>	1
E51	チ<サイ>アミン欠乏症	1
E86	体液量減少(症)	34
E87	その他の体液,電解質及び酸塩基平衡障害	9
E88	その他の代謝障害	1
V	(F00-F99)精神及び行動の障害	265
F00	アルツハイマー<Alzheimer>病の認知症	32
F02	他に分類されるその他の疾患の認知症	1
F03	詳細不明の認知症	19
F05	せん妄,アルコールその他の精神作用物質によらないもの	5
F06	脳の損傷及び機能不全ならびに身体疾患によるその他の精神障害	3
F10	アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害	5
F20	統合失調症	83
F22	持続性妄想性障害	1
F23	急性一過性精神病性障害	2
F25	統合失調感情障害	4
F28	その他の非器質性精神病性障害	6
F29	詳細不明の非器質性精神病	1
F31	双極性感情障害<躁うつ病>	23
F32	うつ病エピソード	59
F41	その他の不安障害	2
F42	強迫性障害<強迫神経症>	1
F43	重度ストレスへの反応及び適応障害	9
F44	解離性[転換性]障害	1
F48	その他の神経症性障害	4
F79	詳細不明の知的障害<精神遅滞>	3
F99	精神障害,詳細不明	1
VI	(G00-G99)神経系の疾患	49
G03	その他及び詳細不明の原因による髄膜炎	4
G06	頭蓋内及び脊椎管内の膿瘍及び肉芽腫	1
G12	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	9
G20	パーキンソン<Parkinson>病	5
G21	続発性パーキンソン<Parkinson>症候群	1
G23	基底核のその他の変性疾患	1
G31	神経系のその他の変性疾患,他に分類されないもの	2
G40	てんかん	13
G45	一過性脳虚血発作及び関連症候群	2
G47	睡眠障害	8
G52	その他の脳神経障害	1
G71	原発性筋障害	1
G90	自律神経系の障害	1
VII	(H00-H59)眼及び付属器の疾患	233
H02	眼瞼のその他の障害	9
H25	老人性白内障	186
H26	その他の白内障	32
H30	網脈絡膜の炎症	2
H33	網膜剥離及び裂孔	1

ICD-10	中分類名	件数
H35	その他の網膜障害	1
H43	硝子体の障害	1
H46	視神経炎	1
VIII	(H60-H95)耳及び乳様突起の疾患	17
H81	前庭機能障害	15
H91	その他の難聴	2
IX	(I00-I99)循環器系の疾患	258
I11	高血圧性心疾患	1
I20	狭心症	35
I21	急性心筋梗塞	12
I25	慢性虚血性心疾患	8
I26	肺塞栓症	2
I27	その他の肺性心疾患	1
I30	急性心膜炎	1
I31	心膜のその他の疾患	1
I33	急性及び亜急性心内膜炎	1
I35	非リウマチ性大動脈弁障害	1
I42	心筋症	1
I44	房室ブロック及び左脚ブロック	5
I46	心停止	2
I47	発作性頻拍(症)	4
I48	心房細動及び粗動	2
I49	その他の不整脈	3
I50	心不全	87
I61	脳内出血	3
I63	脳梗塞	69
I69	脳血管疾患の続発・後遺症	6
I71	大動脈瘤及び解離	2
I85	食道静脈瘤	2
I86	その他の部位の静脈瘤	2
I88	非特異性リンパ節炎	1
I95	低血圧(症)	2
I98	他に分類される疾患における循環器系のその他の障害	4
X	(J00-J99)呼吸器系の疾患	489
J01	急性副鼻腔炎	1
J02	急性咽頭炎	5
J03	急性扁桃炎	13
J06	多部位及び部位不明の急性上気道感染症	1
J10	その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	17
J12	ウイルス肺炎, 他に分類されないもの	7
J13	肺炎連鎖球菌による肺炎	41
J15	細菌性肺炎, 他に分類されないもの	17
J18	肺炎, 病原体不詳	149
J20	急性気管支炎	56
J21	急性細気管支炎	1
J43	肺気腫	2
J44	その他の慢性閉塞性肺疾患	9
J45	喘息	28
J46	喘息発作重積状態	13
J69	固形物及び液状物による肺臓炎	70
J82	肺好酸球症, 他に分類されないもの	1
J84	その他の間質性肺疾患	18
J86	膿胸(症)	1
J90	胸水, 他に分類されないもの	4
J93	気胸	19
J96	呼吸不全, 他に分類されないもの	14
J98	その他の呼吸器障害	2
X I	(K00-K93)消化器系の疾患	340
K21	胃食道逆流症	1
K22	食道のその他の疾患	4
K25	胃潰瘍	6
K26	十二指腸潰瘍	7
K29	胃炎及び十二指腸炎	3
K31	胃及び十二指腸のその他の疾患	5

ICD-10	中分類名	件数
K35	急性虫垂炎	32
K40	そけい<鼠径>ヘルニア	28
K41	大腿<股>ヘルニア	1
K43	腹壁ヘルニア	3
K44	横隔膜ヘルニア	1
K51	潰瘍性大腸炎	2
K52	その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎	1
K55	腸の血行障害	25
K56	麻痺性イレウス及び腸閉塞, ヘルニアを伴わないもの	42
K57	腸の憩室性疾患	23
K59	その他の腸の機能障害	7
K60	肛門部及び直腸部の裂(溝)及び瘻(孔)	2
K61	肛門部及び直腸部の膿瘍	1
K62	肛門及び直腸のその他の疾患	7
K63	腸のその他の疾患	1
K64	痔核及び肛門周囲静脈血栓症	3
K65	腹膜炎	4
K66	腹膜のその他の障害	1
K70	アルコール性肝疾患	4
K71	中毒性肝疾患	1
K72	肝不全, 他に分類されないもの	6
K74	肝線維症及び肝硬変	1
K75	その他の炎症性肝疾患	3
K76	その他の肝疾患	5
K80	胆石症	61
K81	胆のう<嚢>炎	10
K83	胆道のその他の疾患	15
K85	急性膵炎	14
K86	その他の膵疾患	1
K92	消化器系のその他の疾患	9
X II	(L00-L99)皮膚及び皮下組織の疾患	40
L02	皮膚膿瘍, せつ<フルンケル>及び よう<カルブンケル>	1
L03	蜂巣炎<蜂窩織炎>	22
L04	急性リンパ節炎	1
L27	摂取物質による皮膚炎	1
L50	じんま<蕁麻>疹	1
L51	多形紅斑	1
L57	非電離放射線の慢性曝露による皮膚変化	1
L60	爪の障害	1
L72	皮膚及び皮下組織の毛包のう<嚢>胞	2
L89	じよく<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域	6
L98	皮膚及び皮下組織のその他の障害, 他に分類されないもの	3
X III	(M00-M99)筋骨格系及び結合組織の疾患	56
M00	化膿性関節炎	1
M06	その他の関節リウマチ	1
M11	その他の結晶性関節障害	3
M13	その他の関節炎	2
M17	膝関節症[膝の関節症]	2
M25	その他の関節障害, 他に分類されないもの	1
M30	結節性多発(性)動脈炎及び関連病態	6
M31	その他のえ<壊>死性血管障害	1
M34	全身性硬化症	1
M35	その他の全身性結合組織疾患	4
M48	その他の脊椎障害	4
M51	その他の椎間板障害	4
M54	背部痛	4
M62	その他の筋障害	15
M70	使用, 使い過ぎ及び圧迫に関連する軟部組織障害	1
M72	線維芽細胞性障害	1
M86	骨髄炎	1
M87	骨え<壊>死	2
M96	処置後筋骨格障害, 他に分類されないもの	2
X IV	(N00-N99)腎尿路生殖器系の疾患	216
N10	急性尿管間質性腎炎	54

ICD-10	中分類名	件数
N12	尿細管間質性腎炎, 急性又は慢性と明示されないもの	1
N13	閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	2
N17	急性腎不全	10
N18	慢性腎不全	6
N20	腎結石及び尿管結石	20
N21	下部尿路結石	1
N30	膀胱炎	1
N31	神経因性膀胱(機能障害), 他に分類されないもの	2
N36	尿道のその他の障害	1
N39	尿路系のその他の障害	42
N40	前立腺肥大(症)	44
N43	精巣<睾丸>水腫及び精液瘤	2
N80	子宮内膜症	5
N81	女性性器脱	7
N85	子宮のその他の非炎症性障害, 子宮頸(部)を除く	4
N87	子宮頸(部)の異形成	14
X V	(O00-O99)妊娠, 分娩及び産じょく<褥>	202
O00	子宮外妊娠	3
O01	胞状奇胎	1
O02	受胎のその他の異常生成物	10
O03	自然流産	5
O04	医学的人工流産	9
O13	妊娠高血圧(症)	2
O14	子かん<痛>前症	1
O20	妊娠早期の出血	2
O21	過度の妊娠嘔吐	6
O36	その他の既知の胎児側の問題又はその疑いのための母体ケア	1
O41	羊水及び羊膜のその他の障害	1
O44	前置胎盤	1
O47	偽陣痛	17
O80	単胎自然分娩	100
O81	鉗子分娩及び吸引分娩による単胎分娩	12
O82	帝王切開による単胎分娩	31
X VI	(P00-P96)周産期に発生した病態	84
P00	現在の妊娠とは無関係の場合もありうる母体の病態により影響を受けた胎児及び新生児	11
P07	妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの	9
P08	遷延妊娠及び高出産体重に関連する障害	2
P22	新生児の呼吸窮<促>迫	40
P28	周産期に発生したその他の呼吸器病態	2
P39	周産期に特異的なその他の感染症	2
P59	その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸	3
P70	胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	3
P92	新生児の哺乳上の問題	12
X VII	(Q00-Q99)先天奇形, 変形及び染色体異常	3
Q21	心(臓)中隔の先天奇形	1
Q52	女性性器のその他の先天奇形	1
Q70	合指<趾>(症)	1
X VIII	(R00-R99)症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	85
R06	呼吸の異常	1
R07	咽喉痛及び胸痛	1
R09	循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候	3
R10	腹痛及び骨盤痛	5
R11	悪心及び嘔吐	6
R13	えん<嚔>下障害	6
R15	便失禁	1
R18	腹水	8
R19	消化器系及び腹部に関するその他の症状及び徴候	2
R33	尿閉	2
R40	傾眠, 昏迷及び昏睡	16
R42	めまい<眩暈>感及びよろめき感	7
R50	その他の原因による熱及び不明熱	9
R51	頭痛	2
R53	倦怠(感)及び疲労	1
R54	老衰	4

ICD-10	中分類名	件数
R56	けいれん<痙攣>,他に分類されないもの	3
R60	浮腫,他に分類されないもの	2
R63	食物及び水分摂取に関する症状及び徴候	3
R68	その他の全身症状及び徴候	2
R91	肺の画像診断における異常所見	1
X IX	(S00-T98)損傷,中毒及びその他の外因の影響	291
S00	頭部の表在損傷	3
S06	頭蓋内損傷	2
S22	肋骨,胸骨及び胸椎骨折	20
S27	その他及び詳細不明の胸腔内臓器の損傷	3
S30	腹部,下背部及び骨盤部の表在損傷	2
S32	腰椎及び骨盤の骨折	48
S36	腹腔内臓器の損傷	2
S42	肩及び上腕の骨折	11
S52	前腕の骨折	10
S61	手首及び手の開放創	1
S62	手首及び手の骨折	3
S70	股関節部及び大腿の表在損傷	1
S72	大腿骨骨折	89
S80	下腿の表在損傷	3
S82	下腿の骨折,足首を含む	19
S92	足の骨折,足首を除く	9
T00	多部位の表在損傷	2
T01	多部位の開放創	1
T17	気道内異物	3
T18	消化管内異物	3
T23	手首及び手の熱傷及び腐食	1
T25	足首及び足の熱傷及び腐食	1
T43	向精神薬による中毒,他に分類されないもの	1
T50	利尿薬,その他及び詳細不明の薬物,薬剤及び生物学的製剤による中毒	1
T60	農薬の毒作用	2
T62	食物として摂取されたその他の有害物質による毒作用	24
T67	熱及び光線の作用	8
T68	低体温(症)	2
T78	有害作用,他に分類されないもの	5
T79	外傷の早期合併症,他に分類されないもの	1
T81	処置の合併症,他に分類されないもの	2
T82	心臓及び血管のプロステーシス,挿入物及び移植片の合併症	4
T85	その他の体内プロステーシス,挿入物及び移植片の合併症	2
T88	外科的及び内科的ケアのその他の合併症,他に分類されないもの	2
X X	(Z00-Z99)健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	9
Z03	疾病及び病態の疑いに対する医学的観察及び評価	2
Z43	人工開口部に対する手当て	2
Z51	その他の医学的ケア	5

### 15. 分娩統計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
分娩数		9	12	8	9	13	16	8	15	18	15	10	10	143
年齢	～ 19		1	1			1	1	2	1				7
	20 ～ 24		4		2	1	3	1	1	1		2	1	16
	25 ～ 29	4	3		1	6	2	3	3	4	5	2	2	35
	30 ～ 34	1	2	3	3	3	5	2	5	4	7	2	3	40
	35 ～ 39	2	1	4	2	3	4	1	3	7	3	2	2	34
	40 ～	2	1		1		1		1	1		2	2	11
初経産	初産	5	6	4	3	6	4	4	9	5	7	4	7	64
	経産(2回目)	2	3	2	2	5	8	2	6	11	6	5	1	53
	経産(3回目)	1	2	2	4	2	4	2		1	2	1	1	22
	経産(4回目～)	1	1							1			1	4
在胎週数	～ 36					1	1		1			2	1	6
	37 ～ 41	9	12	8	9	12	15	8	14	18	15	8	9	137
	42 ～													0
分娩様式	正常分娩	5	6	7	7	10	11	5	11	14	10	6	8	100
	吸引分娩	1	2	1		1	1	1		1	1	1		10
	鉗子分娩	1												1
	帝王切開	2	4		2	2	4	2	4	3	4	3	2	32
	その他													0
単双胎	単胎	9	12	8	9	13	16	8	15	18	15	10	10	143
	双胎													0
出産体重	～ 1999											1		1
	2000 ～ 2499	1	2	1			1	1					1	7
	2500 ～ 2999	2	2	1	4	5	6	2	7	9	9	6	5	58
	3000 ～ 3499	5	7	4	5	8	7	2	6	3	5	2	3	57
	3500 ～ 3999	1		2			2	3	2	5	1	1	1	18
	4000 ～		1							1				2
性別	男児	3	6	4	6	6	8	4	8	9	11	5	6	76
	女児	6	6	4	3	7	8	4	7	9	4	5	4	67
Aps	～ 7							1	1	1	1		1	5
	8 ～ 10	9	12	8	9	13	16	7	14	17	14	10	9	138

\*分娩様式・その他：急速分娩等 死産は含まない Aps：アップガール スコアー 1分後

### 16. 診療科別悪性新生物退院患者数

	総数	(比率)	内科	外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科
総数	計	353	161	117	1	3	57	14
	男	211 (40.0%)	110	48		2	51	
	女	142 (26.9%)	51	69	1	1	6	14
食道	計	12 (2.3%)	11	1				
	男	12 (2.3%)	11	1				
	女							
胃	計	32 (6.1%)	20	12				
	男	19 (3.6%)	11	8				
	女	13 (2.5%)	9	4				
結腸	計	29 (5.5%)	12	17				
	男	20 (3.8%)	10	10				
	女	9 (1.7%)	2	7				
直腸S状結腸移行部	計	2 (0.4%)		2				
	男							
	女	2 (0.4%)		2				
直腸	計	14 (2.7%)	5	9				
	男	7 (1.3%)	2	5				
	女	7 (1.3%)	3	4				
肝臓	計	33 (6.3%)	31	2				
	男	22 (4.2%)	20	2				
	女	11 (2.1%)	11					
胆嚢・胆管	計	27 (5.1%)	25	2				
	男	23 (4.4%)	23					
	女	4 (0.8%)	2	2				
膵臓	計	34 (6.4%)	29	5				
	男	17 (3.2%)	14	3				
	女	17 (3.2%)	15	2				
気管支・肺	計	9 (1.7%)	9					
	男	8 (1.5%)	8					
	女	1 (0.2%)	1					
皮膚	計	3 (0.6%)				3		
	男	2 (0.4%)				2		
	女	1 (0.2%)				1		
乳房	計	34 (6.4%)		34				
	男							
	女	34 (6.4%)		34				
子宮	計	1 (0.2%)						1
	男							
	女	1 (0.2%)						1
卵巣	計	5 (0.9%)						5
	男							
	女	5 (0.9%)						5
前立腺	計	32 (6.1%)	1				31	
	男	32 (6.1%)	1				31	
	女							
膀胱	計	13 (2.5%)	1				12	
	男	8 (1.5%)	1				7	
	女	5 (0.9%)					5	
血液・造血器	計	3 (0.6%)	3					
	男	1 (0.2%)	1					
	女	2 (0.4%)	2					
部位不明・続発	計	38 (7.2%)	6	31	1			
	男	22 (4.2%)	4	18				
	女	16 (3.0%)	2	13	1			
その他	計	32 (6.1%)	8	2			14	8
	男	18 (3.4%)	4	1			13	
	女	14 (2.7%)	4	1			1	8

### 17. 死亡退院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
死亡患者数	15	14	15	13	15	13	18	12	16	19	18	18	186
粗死亡率	6.0%	5.5%	5.3%	5.1%	5.0%	4.9%	6.1%	4.5%	5.0%	6.8%	6.9%	8.3%	5.7%
精死亡率	5.6%	5.1%	4.2%	4.3%	4.7%	4.2%	5.1%	4.1%	4.7%	6.1%	5.3%	7.3%	5.0%

## II. 診療機能概要

\*\*\* 内科 \*\*\*

常勤医師

氏名	役職・専門分野
大野 恒夫	名誉院長 日本内科学会認定医／日本糖尿病学会専門医／日本医師会産業医／臨床研修指導医
後藤 章友	副院長兼臨床研修部長 日本内科学会総合内科専門医／日本内科学会指導医／日本循環器学会専門医／日本医師会産業医／臨床研修指導医
堀尾 亨	健康管理科部長 日本内科学会認定医／日本循環器学会専門医／日本医師会産業医／臨床研修指導医
服部 孝平	第1診療部長兼内科部長 日本内科学会総合内科専門医／日本消化器病学会専門医／日本消化器内視鏡学会専門医／日本肝臓学会専門医／臨床研修指導医
浅田 馨	医療安全・感染制御部長兼循環器内科部長 日本内科学会総合内科専門医／日本循環器学会専門医／臨床研修指導医
谷本 功	一般内科部長 日本内科学会総合内科専門医／日本内科学会認定医／日本神経学会神経内科専門医／日本医師会産業医／日本医師会健康スポーツ認定医
勝野 哲也	第二循環器内科部長 日本内科学会総合内科専門医／日本内科学会認定医／日本循環器学会専門医／ICLS インストラクター／臨床研修指導医／地域災害医療コーディネーター
濱野 真吾	消化器内科部長 日本内科学会認定医／臨床研修指導医
佐橋 秀典	消化器内科医長 ※2019年12月退職 日本内科学会認定医／日本消化器病学会専門医／消化器内視鏡専門医
百瀬 佑紀	医員
浜田 けい子	医員 ※2019年3月退職
松波 舞衣子	医員 ※2019年3月退職
三輪 千尋	呼吸器内科部長 日本呼吸器学会専門医／日本呼吸器学会指導医／日本がん治療認定医／日本禁煙学会認定指導医／日本アレルギー学会専門医／日本内科学会総合内科専門医／日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医
式守 克容	内科医長

## 主な検査

1. 上部消化管内視鏡検査
2. 大腸内視鏡検査
3. 腹部超音波検査
4. 心臓超音波検査
5. 心臓カテーテル法検査（左心、右心、冠動脈造影）
6. トレッドミル
7. ホルター心電図

## 主な入院疾患

腸管感染症（ex. 胃腸炎）  
胃の悪性新生物  
結腸の悪性新生物  
肝および肝内胆管の悪性新生物  
気管支および肺の悪性新生物  
インスリン非依存性糖尿病  
狭心症  
急性心筋梗塞  
心不全  
肺炎  
胆石症

## 主な手術

食道・胃静脈瘤硬化療法  
内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術  
経皮的冠動脈ステント留置術  
ペースメーカー移植術  
血管塞栓術  
内視鏡的胃ポリープ・粘膜切除術  
内視鏡的消化管止血術  
胃瘻造設術  
経皮的胆管ドレナージ術  
内視鏡的乳頭切開術  
内視鏡的胆道ステント留置術  
肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法  
内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術  
内視鏡的大腸ポリープ切除術

### \*\*\* 精神科 \*\*\*

#### 常勤医師

氏名	役職・専門分野
河邊 真好	精神科部長代理 精神保健指定医/日本精神神経学会指導医・専門医/臨床研修指導医
廣田 知之	精神科医長 精神保健指定医/日本精神神経学会専門医/臨床研修指導医
式守 克容	医員 ※2019年3月～内科 日本精神神経学会専門医
小澤 太嗣	医員 精神保健指定医
木下 貴文	医員 精神保健指定医/日本精神神経学会専門医

#### 2019年度の状況

＜合併症患者受入の維持、地域のニーズにそった医療の提供＞

当院は精神科病棟を有する総合病院であり、大学病院を除くと有床総合病院は愛知県に3病院しかない。当院の一番の特徴は、大学病院ほど専門性が高くない合併症患者の受け入れを行うことができる点であり、以前より合併症受け入れ基準を明確化し、近隣医療機関に周知している。地域柄、認知症患者も多く、積極的に認知症関連の診療も行っている。合併症患者と認知症患者は重なる部分が大きく、当院の強みとしてそのような患者さんを中心に、病棟稼働率の維持に努めている。2019年度より精神科急性期医師配置加算を取得し、一年間通して、取得基準の維持ならびに昨年度と比較しても安定した病棟稼働を行う事ができた。

#### 主な検査

1. 心理検査、知能検査、各種高次脳機能検査（WAIS-III、ADAS-Jcog など）
2. 頭部MRI およびVSRAD、CT

#### 主な入院疾患

総件数 267 件

（統合失調症圏 99 件、認知症圏 53 件、気分障害圏 85 件、その他 30 件）

### \*\*\* 小児科 \*\*\*

#### 常勤医師

氏名	役職・専門分野
江崎 まり	小児科部長 日本小児科学会専門医／臨床研修指導医
外山 順三	医員 日本小児科学会専門医／臨床研修指導医

#### 主な検査

1. 脳波
2. CT、MRI
3. 心エコー
4. 腹部エコー
5. 成長ホルモン負荷テスト

#### 主な入院疾患

腸管感染症 (ex. 胃腸炎)  
ウイルス感染 (ex. アデノウイルス感染症、RS ウイルス感染症)  
肺炎  
急性気管支炎  
喘息  
痙攣

### \*\*\* 外科 \*\*\*

#### 常勤医師

氏名	役職・専門分野
眞下 啓二	名誉院長 日本外科学会指導医・専門医／日本消化器外科学会指導医・専門医／臨床研修指導医
伊藤 浩一	院長 日本外科学会指導医・専門医／日本消化器外科学会指導医・専門医／臨床研修指導医
長谷川 毅	消化器外科部長 日本外科学会指導医・専門医／日本消化器外科学会指導医・専門医／日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医／臨床研修指導医
高山 宗之	外科部長兼手術センター長 日本外科学会専門医／臨床研修指導医

#### 2019年度の状況

令和元年度は前年度から1名交替、半年間1名増員となりましたが、基本4人体制での診療となりました。今までと同様消化器外科を中心に、一般外科として幅広く、地域に対応できる診療を行っています。

また乳腺外科非常勤医は2名となり、近藤直人、上本康明両医師により乳腺外科外来診療をほぼ毎週行っております。それにより乳腺患者数と手術件数も増加傾向にあります。

平成31年度の手術症例数は181件（局所麻酔手19件、腰椎麻酔手術8件、全身麻酔154件）でした。胃癌の腹腔鏡手術症例は減少しましたが、結腸直腸癌は可能な限り腹腔鏡を選択しております。成人単径ヘルニアは患者さんの希望や全身状態により腹腔鏡や前方手術法を選択できるようにしております。また小児単径ヘルニアの腹腔鏡手術も藤田医科大学小児外科学鈴木教授ご指導のもとで行いました。

#### 主な検査

1. CT
2. MR
3. 腹部超音波検査
4. 上・下部消化管造影
5. 乳腺撮影
6. 乳腺超音波検査

## 主な入院疾患

胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、直腸の悪性新生物、乳房の悪性新生物、急性虫垂炎、胆石症、鼠径ヘルニア

## 主な手術

胃全摘術 2、胃切除術 5 (2)、虫垂切除術 15 (14)、結腸切除術 16 (13)、直腸切除・切断術 7 (7)、胆嚢摘除術 25 (25)、肝切除 2 (1)、膵頭十二指腸切除 1、成人鼠径部ヘルニア根治術 26 (11)、小児鼠径部ヘルニア 2 (2) その他ヘルニア 4

肺部分切除術（自然気胸） 1 (1)、乳腺悪性腫瘍手術 26

※ ( ) は腹腔鏡下手術件数

### \*\*\* 整形外科 \*\*\*

#### 常勤医師

氏名	役職・専門分野
加藤 哲司	副院長兼整形外科部長 日本整形外科専門医／脊椎脊髄病医／リウマチ学会専門医／リハビリテーション学会認定医／臨床研修指導医
山岸 逸郎	第二整形外科部長 日本整形外科専門医／臨床研修指導医
河村 文徳	リハビリテーション科部長 日本整形外科学会専門医／日本整形外科学会認定リウマチ医／日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医／臨床研修指導医
吉岡 靖子	整形外科医長

#### 2019年度の状況

##### ※専門外来

骨粗鬆症外来（木曜日）

リウマチ外来（金曜日）

脊椎・脊髄外来（木曜日）

2019年1月からは吉岡先生の産休・育休にともない再び3名体制で診療を行っておりましたが2020年2月から吉岡先生に時短ではありますが復職いただきました。

手術の多くは大腿近位部骨折ですが、以前と比べますと件数は減少傾向です。病院全体としましても外科医は減少傾向で、夜間救急の外科2次の日数も減少しておりますのでこの影響もあるかと思っております。日勤帯においては基本的には救急受け入れを断らないようにし、また夜間においても他科の先生にもご協力いただき可能な限り救急対応を行いたいと思っております、今後とも地域に密着しながら、今後とも背伸びせずに身の丈に合った堅実な治療を心掛けていきます。

### \*\*\* 脳神経外科 \*\*\*

#### 常勤医師

氏名	役職・専門分野
杉山 尚武	脳神経外科部長 日本脳神経外科学会専門医／日本脳卒中学会専門医／臨床研修指導医

#### 主な検査

1. MRI
2. CT

#### 主な入院疾患

- ・脳腫瘍
- ・脳血管障害
- ・出血性脳血管障害  
(脳内出血、未破裂脳動脈瘤)
- ・閉塞性脳血管障害  
(脳血栓、脳塞栓、TIA、その他)
- ・その他  
  頭部外傷  
  (急性硬膜下血腫、慢性硬膜下血腫・水腫、脳挫傷、外傷性くも膜下出血、その他)  
  てんかん、その他

### \*\*\*\* 皮膚科\*\*\*\*

#### 常勤医師

氏名	役職・専門分野
坂井田 高志	医員

#### 主な検査

ダーモスコピー検査（ほくろなどの色素性病変）  
超音波検査（皮下腫瘍）  
皮膚生検による病理組織学検査

#### 主な入院疾患

帯状疱疹[帯状ヘルペス]  
蜂巣炎<蜂窩織炎>  
じょく<褥>瘡性潰瘍

### \*\*\* 泌尿器科 \*\*\*

#### 常勤医師

氏名	役職・専門分野
畦元 将隆	第2診療部長兼泌尿器科部長兼臨床研修科部長 日本泌尿器科学会指導医・専門医／臨床研修指導医

#### 主な入院疾患

前立腺癌

膀胱癌

腎癌

腎盂尿管癌

前立腺肥大症

尿路感染症

#### 主な手術

尿管ステント留置術

前立腺生検術

膀胱内血腫除去術

経尿道的膀胱腫瘍切除術

経尿道的前立腺切除術

尿管損傷整復術

膀胱部分切除術

陰のう水腫根治術

包茎手術

### \*\*\* 産婦人科\*\*\*

#### 常勤医師

氏名	役職・専門分野
渡辺 修	産婦人科部長 日本産婦人科学会専門医／母性保護法指定医／臨床研修指導医
竹内 一郎	医員 日本産婦人科学会専門医／母性保護法指定医／臨床研修指導医
谷貝 顯博	医員 日本産婦人科学会専門医／母性保護法指定医／臨床研修指導医
加藤 綾美	医員

#### 主な入院疾患

子宮の悪性新生物  
卵巣の悪性新生物  
子宮平滑筋腫  
卵巣の良性新生物  
単胎自然分娩  
帝王切開による単胎分娩

#### 主な手術

膣ポリープ切除術  
子宮脱手術  
子宮頸管ポリープ切除術  
子宮頸部（膣部）切除術  
子宮全摘術（腹腔鏡下膣式）  
子宮附属器腫瘍摘出術（開腹、腹腔鏡）  
吸引娩出術  
帝王切開（緊急、選択）  
流産手術（妊娠 11 週までの場合）

### \*\*\* 眼科 \*\*\*

#### 常勤医師

氏名	役職・専門分野
所 真由美	眼科部長 日本眼科学会専門医／臨床研修指導医
川村 美穂子	医員

#### 2019 年度の状況

昨年に引き続き医師 2 名体制で眼科領域全般にわたり診療を行いました。4 月に医師の異動がなかったため 1 年を通じて安定した医療が提供できたと考えます。

外来には結膜炎、緑内障、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性の方が多く来られました。抗 VEGF 硝子体内注射を行う機会が増えました。

外来手術は、糖尿病網膜症や網膜裂孔に対する網膜光凝固術や後発白内障に対するレーザー治療を中心に、入院では白内障手術や硝子体手術などに対応してきました。

近隣の眼科医や他科の医師とも連携を図り、また重篤な疾患の場合には名古屋市立大学病院などの高次医療機関へ紹介を行うなど、患者さんの視機能維持に努めました。

#### 主な検査

1. 視野検査
2. 蛍光眼底撮影
3. 精密眼球運動検査
4. CT、MRI
5. 網膜電位検査
6. 斜視・弱視検査
7. メガネ処方

#### 主な入院疾患

白内障

#### 主な手術

水晶体再建術、網膜光凝固術、後発白内障手術、虹彩光凝固術、眼瞼下垂症手術、硝子体茎頭微鏡下離断術、抗 VEGF 硝子体内注射

### \*\*\* 放射線科 \*\*\*

#### 常勤医師

氏名	役職・専門分野
三毛 壯夫	放射線科部長 日本医学放射線学会専門医／臨床研修指導医

#### 2019 年度の状況

放射線科関連の主な出来事

##### 1. 一般診療読影

基本的に CT、MR、マンモグラフィや一部胸部単純写真の読影

##### a. 読影：PSP 社 iReporter による、レポートシステム

読影レポートは電子カルテ上で web 配信している。

音声入力 Amivoice 使用、ヘッドセットマイク Acoustical Innovations 社製

##### 2. 検査

CT 造影；造影条件の RIS への指示出し。主に看護師による造影

MR 造影；肝（主に EOB）、前立腺、乳腺などダイナミック造影

ZIO ワークステーションによる、3D（頭部 MRA など）、MIP、MPR などの画像作成。

血管造影：基本的に施行していない

##### 3. 検診業務

胸部単純写真；塵肺健診

胸部 CT

脳ドック

などの読影を行っている。

##### 4. 病診連携（平成 15 年 1 月より開始）

検査前問診は午前；外科、午後；内科外来で施行

CT・MR 検査施行し読影報告書作成。医療情報部に印刷依頼

##### 5. 非常勤医師

平成 15 年 4 月から非常勤医週 1 回（平成 16 年度からは火曜午後）派遣開始

平成 19 年 4 月から金曜午後派遣枠追加

平成 24 年 4 月より医局人員減少のため、火曜枠休止

平成 30 年夏より金曜午後が午前派遣となる

##### 6. 所見のある注意すべき症例などのメール報告：2013 春頃より開始し、現在に至る

### Ⅲ. 部署別業務実績

## \*\*\* 放射線技術科 \*\*\*

### <はじめに>

2019年度は、技師長が替わり新体制で臨んだ一年で“働き方改革”と放射線技術科の目標を念頭に置き業務改善を中心に取り組みました。

### <活動報告及び実施事項>

- ・農水省からの指摘事項に則り、取り扱い説明書及びマニュアルを作成、設置した。また個人データ流出防止策の強化とその活動報告を医療安全全体研修会”スモールウィン発表会”にて行った。
- ・マンモグラフィ検診施設画像認定の更新を行った。(2019.9.1~2022.8.31)
- ・腎障害患者における造影剤使用に関するガイドライン改訂に伴い院内ガイドライン、説明・承諾書、及び開業医用説明書を改訂した。また、厚生連放射線技師会新人講習会にて講演、及び科内勉強会を開催した。
- ・地域の開業医との連携強化及び施設利用件数の向上の為、時間外CT・MRI検査を導入した。また、医師等の業務負担軽減として施設利用CT・MRIオーダーの代行入力を請け負った。
- ・放射線機器保守管理費用軽減のため、消費税増税前に機器定期点検を繰り上げ実施した。また、以前より機器サービスメーカーから指摘されていた高額消耗部品交換を施設課の協力を得て、実施し故障の未然防止対策を行った。
- ・放射線科医からのMRI画像改善要求に対しパラメーター、位相方向の変更等で改善を行った。
- ・FCR画像処理装置の老朽化に伴い装置の更新、ポータブル撮影のFPD化を実施し、それに伴うマスターの作成、画像処理の改善を行った。

### <業務内容>

一般撮影検査・マンモグラフィ検査・ポータブル撮影・骨密度測定検査・X線TV透視検査・血管撮影検査・X線CT検査・MRI検査・ワークステーションによる画像処理・画像ファイリング・保健事業関連の画像情報を提供しております。

### <人員体制>

常勤放射線科医師1名（非常勤医師1名）、診療放射線技師10名（男性5名、女性5名）、看護師（救急外来、内視鏡室兼務）、受付業務（第3外来受付事務員）

### <業務実績資料>

- ・撮影件数

	一般撮影	X線TV	血管撮影	CT	MRI	骨密度測定	合計
4月	3,221	145	13	729	272	62	4,442

5月	3,300	187	9	734	307	66	4,603
6月	3,071	230	16	752	328	72	4,469
7月	3,177	248	5	804	322	59	4,615
8月	2,823	335	5	789	262	63	4,277
9月	2,856	349	7	690	269	45	4,216
10月	2,735	376	7	791	284	65	4,258
11月	2,819	257	13	772	334	50	4,245
12月	2,633	226	8	699	285	46	3,897
1月	2,737	224	10	766	267	45	4,049
2月	2,448	188	7	648	293	55	3,639
3月	2,431	141	8	684	288	62	3,614
合計	34,251	2,906	108	8,858	3,511	690	50,324

・共同利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CT	19	18	26	34	28	25	32	27	15	26	16	16	282
MRI	29	26	33	28	22	27	28	24	27	21	25	17	307
合計	48	44	59	62	50	52	60	51	42	47	41	33	589

・健診撮影件数

	ドック 胸部	ドック マンモ	ドック 骨密度	ドック 脳	ドック 胃	ドック CT 胸部	ドック 体脂肪	検診 健診 胸部	検診 健診 塵肺	検診 健診 骨密度	検診 健診 胃	住民 検診 胸部	住民 検診 マンモ	住民 検診 胃	合計
4月	710	31	7	0	60	20	8	10	0	0	0	0	0	0	846
5月	279	14	5	14	102	5	0	272	0	0	0	173	38	0	902
6月	253	47	1	11	146	9	8	62	1	0	0	220	48	0	806

7月	304	55	3	10	162	13	3	14	1	0	0	241	58	0	864
8月	242	53	1	9	147	5	10	6	0	0	0	253	54	113	893
9月	250	47	1	18	148	3	6	10	1	0	0	336	65	122	1,007
10月	277	63	3	22	157	3	8	9	0	0	0	0	0	93	635
11月	300	59	6	41	147	8	7	10	0	0	0	0	0	0	578
12月	236	39	4	34	126	5	4	11	0	0	0	0	0	0	459
1月	203	32	1	40	112	24	2	7	0	0	0	0	0	0	421
2月	210	37	10	35	116	30	5	11	28	0	0	0	0	0	482
3月	186	39	5	29	63	42	5	9	0	0	0	0	0	0	378
合計	3,450	516	47	263	1,486	167	66	431	31	0	0	1,223	263	328	8,271

#### <資格更新>

マンモグラフィ検診施設画像認定更新 (2019. 9. 1~2022. 8. 31)

#### <機器新規・更新>

- ・ポータブル FPD システム カルネオスマートシステム DR-ID 1200 (新規)
- ・一般撮影画像処理装置 コンソールアドバン DR-ID 300CL (6, 7 撮影室更新)

## \*\*\* 臨床検査技術科 \*\*\*

### <基本方針>

「迅速」「正確」「安全」「チーム医療」「スキルアップ」の更なる充実を図る

### <業務体制>

- ・技師数： 13名（男性技師6名、女性技師7名）
- ・組織体制： 技師長1名、係長3名体制
- ・業務部門： 5部門（外来検査、生理検査、検体検査、細菌検査、病理検査）

### <稼働状況>

- ・過去3年間の業務実績を次ページに掲載

### <実績>

#### 1. 学会発表 2演題

第68回 日本医学検査学会：1演題、第58回 日本臨床細胞学会：1演題

#### 2. 愛知県技師会学術班員 3名

生物化学分析検査班：1名、一般検査班：1名、血液検査班：1名

#### 3. 認定資格取得者 14名

細胞検査士：2名、国際細胞検査士：1名、認定病理検査技師：1名、認定心電検査技師：1名、認定血液検査技師：1名、二級臨床検査士（病理学）：1名、日本糖尿病療養指導士：1名、緊急臨床検査士：2名、心電図検定3級：1名、心電図検定4級：1名、上級健康食品管理士：1名、特定化学物質・四アリキル鉛等作業主任者：1名

#### 4. 業務改善

ヒヤリ・ハット事例業務改善を実施：2019年度改善策7例実施

#### 5. コスト削減

試薬、材料、外部委託検査において昨年度実績換算で218万円削減

#### 6. 参加精度管理（正確度の保障を得るため外部精度管理調査に参加）

愛知県臨床検査技師会精度管理調査、日本臨床検査技師会精度管理調査、日本医師会精度管理調査

### \*固定資産、更新検査機器

- ・血液ガス分析装置 ラピッドポイント500：1台 シーメンス
- ・多項目自動血球分析装置 アドヴィア2120i：2台 シーメンス
- ・脳波測定装置 EEG-1206：1台 日本光電

業務実施集計資料	件数			点数		
	2017年度	2018年度	2019年度	2017年度	2018年度	2019年度
尿検査	34,660	35,316	35,877	1,006,394	1,025,565	1,045,373
糞便検査	8,455	9,098	8,882	346,655	373,018	364,162
体液検査	151	137	136	9,852	8,931	8,854
血液検査	121,791	125,935	122,526	3,198,147	3,308,814	3,227,106
輸血検査	3,401	3,151	2,780	157,248	152,392	139,424
生化学Ⅰ	728,109	724,713	742,958	9,610,452	9,748,146	9,913,206
生化学Ⅱ	18,782	20,357	21,301	2,362,871	2,488,339	2,604,994
血液ガス	1,808	1,987	2,213	260,352	278,180	309,820
細菌検査	11,084	11,829	12,081	1,413,256	1,455,659	1,552,856
抗酸菌核酸検査	359	298	450	147,190	122,180	170,090
免疫検査	53,623	54,043	53,830	2,900,895	2,900,935	2,834,044
病理検査	2,086	1,840	1,861	1,793,960	1,582,400	1,600,460
細胞診	3,196	2,921	2,934	432,740	417,050	411,170
心電図	9,115	9,599	9,575	1,435,700	1,541,310	1,518,810
脳波	126	110	87	91,500	104,760	83,420
肺機能	3,463	3,886	3,882	346,300	388,600	388,200
超音波	3,585	4,015	3,885	2,309,340	2,566,850	2,499,700
その他生理検査	2,033	1,553	1,291	750,315	483,768	424,050
病理解剖	2	0	2	*****	*****	*****
採血	28,203	28,599	28,814	702,570	854,504	861,798
輸血製剤管理	580	466	506	*****	*****	*****
合計 ①	1,034,612	1,040,733	1,056,768	29,275,737	29,819,821	29,979,496
増減比率(H29基準)	100.0%	100.6%	102.1%	100.0%	101.9%	102.4%
検体検査判断料	78,451	80,551	81,232	10,448,031	10,704,950	10,835,982
病理診断料・診断加算	1,549	1,508	1,521	882,930	859,560	866,970
輸血管理・適正使用	239	181	175	40,630	30,770	29,750
入院初回加算	351	347	347	7,020	6,940	6,940
時間外加算	2,420	2,660	2,113	484,000	532,000	422,600
管理加算Ⅰ	32,375	32,323	32,059	1,295,000	1,292,920	1,282,360
管理加算Ⅱ	679	697	747	67,900	69,700	74,700
外来迅速加算	27,816	27,615	27,905	1,181,790	1,189,440	1,205,560
合計 ②	143,880	145,882	146,099	14,407,301	14,686,280	14,724,862
増減比率(H29基準)	100.0%	101.4%	101.5%	100.0%	101.9%	102.2%
総合計 ①+②	1,178,492	1,186,615	1,202,867	43,683,038	44,506,101	44,704,358
増減比率(H28基準)	100.0%	100.7%	102.1%	100.0%	101.9%	102.3%

## \*\*\* リハビリテーション技術科 \*\*\*

### <はじめに>

2019 年度度は、院内での業務として、1) 新患処方数の増加 2) 小児発達外来患者獲得 3) 指導料(退院時リハビリテーション指導料)算定率向上に向け、取り組みました。院外での業務として、1) 訪問リハビリテーション開始 2) 出前講座では講師を務めました。

### <人員体制>

- ・理学療法士 13 名
- ・作業療法士 10 名
  - (身障部門 6 名)
  - (精神部門 4 名)
- ・言語聴覚士 4 名
- ・補助 2 名

### <活動報告>

#### 1. 出前講座

日時：2019 年度 4 月 17 日 (水)

場所：堀田団地集会所

テーマ：認知症予防

講師：島田美紀代

日時：2019 年度 6 月 17 日 (月)

場所：祖父江支所

テーマ：認知症予防

講師：島田美紀代

日時：2019 年度 11 月 30 日 (土)

場所：大里東市民センター

テーマ：人生 100 年時代に備えて ～健康寿命を延ばすには～

講師：島田美紀代・長谷健司

#### 2. 地域密着 WG による活動

日時：2019 年度 10 月 19 日 (土)

場所：JA 愛知西 産直広場

内容：体力測定

担当者：太田倫・伊藤憲司・犬飼尚史

・実施単位数

理学療法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳血管リハ料	498	543	460	451	370	356	300	324	428	344	215	297	4,586
運動器リハ料	1,796	1,769	1,640	1,633	1,367	1,451	1,708	1,733	1,928	1,636	1,348	1,386	19,395
呼吸器リハ料	550	612	585	628	409	525	643	683	709	745	773	739	7,601
廃用リハ料	939	1,049	1,049	1,194	1,237	1,131	895	770	781	639	734	963	11,381
合計	3,783	3,973	3,734	3,906	3,383	3,463	3,546	3,510	3,846	3,364	3,070	3,385	42,963
作業療法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳血管リハ料	725	695	602	703	603	575	637	516	640	635	471	574	7,376
運動器リハ料	538	660	686	745	569	696	631	664	819	743	519	790	8,060
呼吸器リハ料	277	207	98	96	123	160	250	311	376	343	387	235	2,863
廃用リハ料	426	426	441	435	320	247	339	328	283	250	298	353	4,146
合計	1,966	1,988	1,827	1,979	1,615	1,678	1,857	1,819	2,118	1,971	1,675	1,952	22,445
言語聴覚療法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳血管リハ料	342	325	358	351	299	281	314	274	301	236	227	316	3,624
廃用リハ料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器リハ料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摂食療法 (医療)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	342	325	358	351	299	281	314	274	301	236	227	316	3,624

\*摂食機能療法は、単位数換算のため1.5倍の値

発達障害 (再掲)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作業療法部門	369	363	308	398	301	340	401	358	367	366	305	350	4,226
言語聴覚療法部門	269	248	239	249	226	223	265	221	219	215	186	237	2,797
訪問	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医療	86	99	85	110	122	115	126	129	120	119	120	133	1,364
介護						4	9	15	33	41	42	64	208
合計	86	99	85	110	122	119	135	144	153	160	162	197	1,572

・実施単位数 前年度対比、目標達成率

理学療法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
前年度	3,826	3,868	3,909	3,953	4,191	3,372	4,003	3,741	3,630	3,912	4,084	3,765	46,254
今年度	3783	3973	3734	3906	3383	3463	3546	3510	3846	3364	3070	3385	42,963
前年比 (%)	98.9	102.7	95.5	98.8	80.7	102.7	88.6	93.8	106.0	86.0	75.2	89.9	92.9
目標達成率 (%)	95.0	95.7	100.2	94.1	85.9	87.9	85.0	88.4	96.9	89.3	86.1	81.1	90.4
作業療法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
前年度	1,986	2,006	2,146	1,961	2,112	1,703	1,907	1,971	2,081	1,906	1,909	2,078	23,766
今年度	1,966	1,988	1,827	1,979	1,615	1,678	1,857	1,819	2,118	1,971	1,675	1,952	22,445
前年比 (%)	99.0	99.1	85.1	100.9	76.5	98.5	97.4	92.3	101.8	103.4	87.7	93.9	94.4
目標達成率 (%)	91.9	92.9	85.4	92.5	75.5	86.9	86.8	89.4	104.1	102.1	91.7	91.3	93.5
言語聴覚療法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
前年度	702	812	1,045	1,152	1,209	1,014	1,221	1,185.5	1,200	1,073	1,229	1,315	13,155
今年度	1,185	1,158	1,194	1,101	841	749	877	812.5	844	788	866	1,026	11,439
前年比 (%)	168.8	142.5	114.3	95.6	69.5	73.9	71.8	68.5	70.4	73.5	70.5	78.0	87.0
目標達成率 (%)	82.3	80.4	82.9	76.5	58.4	57.7	60.9	59.3	61.7	60.7	70.5	71.3	70.8

・精神科作業療法 取り扱い患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総患者数	318	367	334	387	351	358	453	408	393	370	391	368	4,498
平均患者数	14.5	17.1	16.7	17.6	17.6	17.9	19.7	19.4	18.7	18.5	20.6	16.7	17.9

### \*\*\* 臨床工学技術科 \*\*\*

#### <はじめに>

臨床工学技士は1988年に誕生した医療職種です。平成20年に臨床工学技術科開設。医療機器の安全管理はとても重要な位置を占める。中規模病院で可能な医療の質向上、コスト削減を図ることを目的とし、主に生命維持管理装置の操作及び保守点検等を行っています。

#### <実績報告>件数

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
保守管理	医療機器点検	院内	当年	221	206	302	266	158	215	231	240	246	215	181	254	2735
			前年	258	222	256	307	289	208	235	244	256	252	254	217	2998
		院外	当年	49	64	71	71	48	64	69	72	65	58	57	63	751
			前年	54	57	59	59	54	59	71	66	64	63	50	54	710
	医療機器修理	院内	当年	22	39	25	32	20	28	24	22	22	15	15	15	279
			前年	11	25	21	16	15	12	12	30	22	23	17	17	221
		院外	当年	13	9	8	7	11	18	9	12	9	16	12	13	137
			前年	16	6	10	6	15	10	8	11	10	7	11	9	119
診療支援	心臓カテテル業務	CAG・PCI	当年	8	3	11	1	2	5	3	6	3	0	4	3	49
			前年	9	3	6	5	6	8	11	6	6	6	3	5	74
		ペースメーカー(インプラント)	当年	0	2	2	2	0	0	0	3	0	0	2	0	11
			前年	2	0	1	0	1	2	1	4	1	0	1	0	13
		ペースメーカー(チェック)	当年	31	21	33	35	36	21	33	18	34	12	12	25	311
			前年	13	24	22	27	39	32	34	49	36	37	36	30	379
	血液浄化業務	特殊血液浄化	当年	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	10
			前年	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	手術室業務	硝子体手術関連	当年	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	2	6
			前年	1	1	0	0	1	2	0	2	1	0	0	1	9
	人工呼吸器管理	ラウンド点検・指導	当年	94	65	40	116	148	118	83	139	102	154	162	186	1407
			前年	67	114	91	125	56	50	85	106	91	140	121	127	1173
		内視鏡	当年	44	64	71	70	48	64	69	68	65	58	57	63	741
			前年	54	56	59	59	54	56	71	66	64	63	50	54	706
	腹水濾過	当年	1	2	0	4	3	4	1	2	3	5	5	1	31	
		前年	1	0	1	2	1	5	5	5	1	1	2	1	25	
	RFA	当年	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	4	
		前年	0	0	0	1	0	0	0	1	0	4	0	0	6	
教育	医療機器安全研修	当年	8	2	3	7	4	0	11	0	3	4	0	0	42	
		前年	3	2	5	4	2	1	8	0	0	0	8	0	33	

※臨床工学技術科が介入した業務で、実際の件数とは異なります。

### <業務内容>

- ・機器管理・・・人工呼吸器・麻酔器・保育器・インフアントウォーマ・輸液ポンプ  
シリンジポンプ・低圧持続吸引器・除細動器・モニタ・電気メス等の保守点検を行っています。
- ・臨床業務・・・血液透析・血漿交換療法・血液吸着・腹水濾過濃縮再静注法・ラジオ波焼灼術・  
眼科硝子体手術・心臓カテーテル、心臓ペースメーカー、内視鏡等の機器操作を行っています。

### <人員体制>

2名

### <資格>

呼吸療法認定士、消化器内視鏡技師、心血管インターベンション技師、臨床検査技師、第一種衛生管理者、特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者

## \*\*\*栄養科\*\*\*

### <はじめに>

2019年度は3名の新職員が入職し、要員が充足しました。昨年度より見直した給食材料や消耗備品類の管理方法を継続して実践しコスト削減の成果を得ることができただけでなく、業務量や業務動線の見直しにも取り組みました。その結果、拘束時間が短縮し、有給休暇の取得率も上昇しました。また、増え続ける食物アレルギーに対して他職種で情報共有できるよう、電子カルテの運用方法を見直し、対応基準を明確にしました。

学会等での発表(管理栄養士4題)や研修会、勉強会にも積極的に参加して、各自が専門性のスキルを磨きました。

### <人員体制>

2019年4月1日付

管理栄養士5名、栄養士5名(準職員)、調理師6名、調理員(障害者雇用含む)8名、事務員1名

### <業務内容>

#### ○給食管理業務(業務実績参照)

提供食は患者食(入院)、患者食(外来)、賄食、その他(収入外)の4区分に分けて管理されています。患者食(入院)は一般食と特別食に区分され、特別食加算算定割合は21.3%でした。特別食のうち加算対象外に含まれるミキサー食、ソフト食、やわらか食などの食事形態を考慮した食種はその他の食事を除く全体の30.0%を占めニーズの高い食種となっています。食物アレルギーは年代を問わず対応が必要で安全で安心な食事提供ができるよう細かく対応しています。2019年4月よりメニューを充実させ選択メニューの加算を開始しました。

#### ○栄養管理業務(業務実績参照)

管理栄養士はNST、褥瘡、摂食・嚥下、緩和などのチーム医療に参画し、臨床栄養管理に取り組んでいます。

栄養指導業務では個人指導と集団指導に関わり、個人指導の実績は前年比114.2%で増加しました。糖尿病や脂質異常症についての指導が圧倒的に多いが、「がん、低栄養、摂食嚥下障害」の指導にも力を注ぎました(その他項目に計上)。2019年12月より訪問栄養指導も開始しました。

集団指導では食べて学ぶ糖尿病教室(以下糖尿病教室)や母親教室に携わりました。糖尿病教室は6月・9月・12月・3月の年4回開催し、テーマに添ったメニュー作りを管理栄養士と調理師が共同で行ってきましたが、新型コロナウイルスの影響で3月は中止となりました。

#### ○地域密着WGによる活動

2019/6/30(日) JA愛知西 夏の感謝祭(愛知県稲沢市)

「あなたの舌(ベロ)メーター試してみませんか～塩分濃度の体験型クイズ」

「大人向け、子供向けの栄養クイズ」「子供用ボール投げ」

鈴木祥子（管理栄養士）、加藤郁美（栄養士）、山室遼果（栄養士）

2019/8/17（土）JA 愛知西 産直広場出店（愛知県稲沢市）

「あなたの舌（ペロ）メーター試してみませんか、脱水予防のおいしい水飲んでみませんか」

塩分濃度の体験型クイズ

鈴木祥子（管理栄養士）、可兒桃子（栄養士）、渡邊真一（事務）

【個人栄養指導実績（外来および入院）】

指導内容	2017 年度		2018 年度		2019 年度	
	指導件数	比率 (%)	指導件数	比率 (%)	指導件数	比率 (%)
糖尿病	388	47.8	477	54.6	549	55.0
脂質異常症	135	16.6	116	13.3	123	12.3
心臓・高血圧	60	7.4	71	8.1	62	6.2
高尿酸血症	7	0.9	5	0.6	5	0.5
腎臓病	26	3.2	27	3.1	19	1.9
肝臓病	12	1.5	12	1.4	20	2.0
膵臓病	3	0.4	1	0.1	3	0.3
肥満／減量	14	1.7	33	3.8	28	2.8
胃・十二指腸潰瘍	26	3.2	18	2.1	26	2.6
低残渣	5	0.6	0	0.0	0	0.0
その他（がん／低栄養／嚥下他）	135	16.8	113	12.9	157	15.7
訪問栄養指導	0	0.0	0	0.0	7	0.7
合計	811	100.0	873	100.0	999	100.0

【集団栄養指導実績】

指導区分	2017 年度		2018 年度		2019 年度	
	指導件数	比率 (%)	指導件数	比率 (%)	指導件数	比率 (%)
食べて学ぶ糖尿病教室	29	35.8	39	44.8	17	27.0
母親教室	52	64.2	48	55.2	46	73.0
合計	81	100.0	87	100.0	63	100.0

<業務実績>

【年間提供給食数】

区分	食種	提供食数	比率 (%)
患者食 (入院)	常食	39,745	20.4
	軟菜食	24,417	12.6
	分粥食	3,884	2.0
	流動食	1,813	0.9
	離乳食	177	0.1
	幼児食	1,337	0.7
	易消化食	1,874	1.0
	エネルギーコントロール食	30,283	15.6
	肝不全食/肝コントロール食	1,404	0.7
	ミキサー食	6,731	3.5
	たんぱく質コントロール食	855	0.4
	ソフト食	14,245	7.3
	術後食	1,694	0.9
	脂質コントロール食	1,483	0.7
	やわらか食	37,793	19.4
	遅食	126	0.1
	低残渣・炎症性腸疾患食	1,086	0.5
	嚥下食	309	0.2
	検査食	445	0.2
	特C食	1,103	0.6
濃厚流動食	14,190	7.3	
患者食 (外来)	精神デイケア食	6,487	3.3
賄食	職員食	1,767	0.9
	付添食	165	0.1
	保育食	1,152	0.6
合計		194,565	100.0
給食 区分別 食数	患者食(入院)	184,994	94.4
	患者食(外来)	6,487	3.3
	賄食	3,084	1.6
	その他(人間ドック食)	1,388	0.7
合計		195,953	100.0

## \*\*\*臨床心理科\*\*\*

### <はじめに>

病院における臨床心理士の役割は、心につらさを抱えた患者様に寄り添い、困難の中でも自分らしく生きることができるように援助するものである。関わりにおいては心理的側面のみでなく、生物的・社会的視点も含め患者様を総合的に理解することが必須であり、問題解決の援助に加え予防的援助の視点も重要である。また、援助の対象は患者様、およびそのご家族や地域の方々等の関係者も含まれ、包括的な支援が可能である。院内においてはメンタルヘルス相談窓口にもなっており、職員の心理的健康への配慮・啓発活動も担っている。また、院外では地域連携を大切にし、学校や行政機関からの相談や講習会の依頼を積極的に引き受けている。

2019年度は心理職初の国家資格である「公認心理師」が誕生し、今後は診療報酬や院内での協働に公認心理師の要件が加わると思われることから、当院でも公認心理師資格取得を励行し、2019年度時点で2名の臨床心理士・公認心理師資格の両資格保持者が在籍している。職務に大きな違いはないものの、公認心理師は多職種との連携や、心の健康に関する知識の普及を図ることが強調されており、チームとしての協働や情報の発信にもさらに力を入れて患者・職員の皆様の心の健康に貢献していきたい。

### <人員体制>

臨床心理士（正職員3名 準職員1名）

臨床心理士有資格者4名（うち公認心理師有資格者2名）

公認心理師試験合格者1名（登録は令和2年4月～）

### <業務内容と重点取り組み>

- ・心理面接
- ・心理アセスメント
- ・精神科デイケア
- ・行動制限最小化委員会
- ・事例検討、心理検査勉強会
- ・メンタルヘルス相談
- ・ソーシャルスキルトレーニング
- ・ペアレントトレーニング講習
- ・糖尿病教室
- ・院内カンファレンス（病棟、デイケア、小児科発達外来）
- ・多職種勉強会講師
- ・臨床心理その他の実習生指導 他

\*従来は精神科担当、小児科担当と縦割りで担っていた業務を、3人の外来スタッフそれぞれが精神科と小児科のケースを担当することで、技術の向上、知識の共有、業務量の分担を図った。

\*2018年度よりデイケア運営会議へ外来担当心理士が参加することによって、医師・デイケアスタッフ・心理士の協働でデイケア利用者を増やす試みに取り組んでいる。

\*小児科外来では、一般外来、発達外来とも家庭環境が複雑で子どもへの支援と同時に親への支援が必要となる事案や、児童相談所や保健センターや学校など外部機関との連携が必要な事案が複数あり、小児科医師、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカーとの協働や、外部機関との連携

に力を入れた。

\*小児科発達外来ではリハビリの月次カンファレンスに新たに参加することで、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士の多職種間での情報・問題の共有が可能となり、患者様に必要と思われる支援を提案・提供しやすい枠組みができた。

<取扱総件数>

9,898 件

## \*\*\*薬剤部\*\*\*

### <はじめに>

2019年度は、薬剤師16名体制のところ、育児休暇者2名と欠員1名でスタートしました。12月途中に1名が産休育休で11名の体制となり、門前薬局1店舗撤退や分業率の低下もあって昨年に引き続き複雑な1年となりました。年度を通じてマンパワー不足や病棟時間の確保が困難な状況で薬剤管理指導件数が300件を超える状況にはなりませんでした。

院外発表では、5月に幕張メッセで開催された、第13回日本緩和医療薬学会年会において、「稲沢厚生病院での緩和ケアチームにおける薬剤師の介入調査」のタイトルで発表しました。9月に当院で開催された厚生連薬剤師会相互啓発研修会において、「当院精神科病棟における薬剤師の活動」のタイトルで報告を行い、精神科病棟について他院の薬剤師にとっては興味深い内容であったと思います。11月には福岡で開催された第29回日本医療薬学会年会において、「プロトコールで有害事象を回避させるための取り組みの第一歩」、「Clostridioides difficile infection (CDI) 治療アルゴリズム作成とその評価」の2題について発表しました。又同11月には浜松で開催された第67回日本化学療法学会西日本支部総会において、「抗菌薬適正使用支援チーム (AST) 活動と評価」のタイトルで発表しました。各自、業務が複雑な中よくまとめてくれました。

2019年度も後発品の導入を継続し後発品使用体制加算3を取得しているため、目標の後発品比率70%~80%を確保しました。「2020年9月までに使用割合80%」という政府目標に向けて、今後も後発品への切り替えを行っていきます。

### 1. 薬剤部の概要 (2019年4月1日付)

薬剤師15名、事務1名、作業職3.5名

### 2. 処方箋枚数

2019年度は、院内処方と院外処方を合わせた処方箋枚数が98,678枚で前年度より微減であったが、院内処方は1,745枚増加しました。分業率も前年度より2%低下、院外処方箋枚数は2,068枚減少しました。平均処方日数は院内処方では月平均前年比0.7日、院外処方では1.2日伸びました。特に年度末はCOVID-19の影響もあって長期処方が増加しました。

入院処方箋枚数については、前年に比べて826枚の減少、注射処方箋枚数も月平均48.2枚の減少となり、入院患者数の減少が大きな要因となっています。

### 3. 分業率

(院外処方箋発行率) 32.2% (前年 34.2%)

### 4. 無菌処理業務

化学療法件数587件(前年対比126.2%)と122件増加、特に外来化学療法の件数は増加しています。TPN調製件数は834件(前年対比92.8%)と65件減少しました。

### 5. 薬剤情報提供料

薬剤情報提供料は年間9,795件、お薬手帳への情報提供件数61,272件となっています。患者さんの安全のため病院としてお薬手帳の積極的活用に向けており件数は増加しております。

## 6. 薬剤管理指導業務

請求件数は、月平均 236.5 件（前年比 63.5%）で前年月平均 382 件から大きく減少しました。先にも記したように、マンパワー不足と調剤業務の増加など複雑な状況で薬剤管理指導に費やせる時間を確保することが困難であったことが要因です。

### <薬剤部関連資料>

No. 1 処方せん・調剤関連データ

平成30年度 調剤集計表		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
診療日数		22	22	23	23	24	20	24	22	21	21	21	22.0	265	22.1	
外来	処方箋枚数*	5,619	5,709	5,617	5,874	6,251	5,459	6,148	5,790	6,406	6,631	5,413	5,799.0	70,716	5,893.0	
	病院D	5,228	5,311	5,213	5,365	5,767	5,020	5,678	5,309	5,844	6,115	4,980	5,317.0	65,147	5,428.9	
	差%	-7.0%	-7.0%	-7.2%	-8.7%	-7.7%	-8.0%	-7.6%	-8.3%	-8.8%	-7.8%	-8.0%	-8.3%	-7.9%		
	1日当りの処方箋(枚)	255.4	259.5	244.2	255.4	260.5	273.0	256.2	263.2	305.0	315.8	257.8	263.6		267.5	
	前年度	259.5	264.2	237.8	257.6	271.1	263.0	259.1	263.3	262.5	301.8	269.1	264.8		264.5	
	前年対比	▲ 4.1	▲ 4.7	6.5	▲ 2.2	▲ 10.7	9.9	▲ 3.0	▲ 0.1	42.5	14.0	▲ 11.3	▲ 1.2		3.0	
	調剤数*	15,056	15,372	14,772	15,335	16,351	14,401	16,460	15,590	16,934	17,544	14,465	15,325.0	187,605	15,633.8	
	総調剤延数*	480,234	484,169	474,693	493,649	505,579	458,776	531,527	483,184	519,152	503,530	451,758	489,648.0	5,875,899	489,658.3	
	平均投与日数(日)	31.9	31.5	32.1	32.2	30.9	31.9	32.3	31.0	30.7	31.2	28.7	31.2	32.0		31.4
	前年度	31.7	31.3	31.4	31.0	31.4	31.0	30.7	31.6	31.9	28.8	29.3	31.0		30.9	
前年対比	0.2	0.2	0.7	1.2	▲ 0.5	0.9	1.6	▲ 0.6	▲ 1.3	▲ 0.1	1.9	1.0		0.4		
院外	処方箋枚数*	2,892	2,964	2,805	2,892	2,877	2,558	2,992	2,833	2,940	2,951	2,630	2,859.0	34,193	2,849.4	
	病院D	2,875	2,933	2,779	2,860	2,849	2,531	2,959	2,797	2,909	2,927	2,604	2,831.0	33,854	2,821.2	
	差%	-0.6%	-1.0%	-0.9%	-1.1%	-1.0%	-1.1%	-1.1%	-1.3%	-1.1%	-0.8%	-1.0%	-1.0%	-1.0%		
	1日当りの処方箋(枚)	131.5	134.7	122.0	125.7	119.9	127.9	124.7	128.8	140.0	140.5	125.2	130.0		129.2	
	前年度	136.2	142.1	126.7	133.0	140.5	135.3	128.0	137.0	135.5	140.6	134.5	138.0		135.6	
	前年対比	▲ 4.8	▲ 7.4	▲ 4.8	▲ 7.3	▲ 20.6	▲ 7.4	▲ 3.3	▲ 8.3	4.5	▲ 0.1	▲ 9.3	▲ 8.0		▲ 6.4	
	調剤数*	7,156	7,078	6,724	6,901	6,999	6,013	7,251	6,856	7,210	7,153	6,346	6,943.0	82,630	6,885.8	
	総調剤延数*	273,372	276,269	264,541	279,275	285,840	238,682	291,558	265,912	283,939	273,092	246,239	261,108.0	3,239,827	269,985.6	
	平均投与日数(日)	38.2	39.0	39.3	40.5	40.8	39.7	40.2	38.8	39.4	38.2	38.8	37.6		39.2	
	前年度	39.0	39.1	39.2	38.4	39.7	39.7	37.7	40.2	38.4	37.8	37.7	38.2		38.8	
前年対比	▲ 0.8	▲ 0.1	0.1	2.1	1.1	0.0	2.5	▲ 1.4	1.0	0.3	1.1	▲ 0.6		0.5		
診療日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	
入院	処方箋枚数*	2,195	2,104	2,088	2,315	2,470	2,172	2,456	2,335	2,185	2,286	2,328	2,076.0	27,010	2,250.8	
	1日当りの処方箋(枚)	99.8	95.6	90.8	100.7	102.9	108.6	102.3	106.1	104.0	108.9	110.9	94.4		102.1	
	前年度	105.9	105.5	96.6	108.4	108.6	106.2	103.0	110.1	109.7	113.8	104.8	109.2		106.8	
	前年対比	▲ 6.1	▲ 9.9	▲ 5.8	▲ 7.7	▲ 5.6	2.4	▲ 0.7	▲ 4.0	▲ 5.6	▲ 4.9	6.0	▲ 14.8		▲ 4.7	
	調剤数*	5,307	5,321	4,978	5,618	5,787	5,355	6,084	5,750	5,435	5,951	6,095	5,226.0	66,907	5,575.6	
	総調剤延数*	37,203	37,442	34,809	37,090	38,980	36,989	39,839	38,580	40,760	40,500	43,253	37,638.0	463,083	38,590.3	
	平均投与日数(日)	7.0	7.0	7.0	6.6	6.7	6.9	6.5	6.7	7.5	6.8	7.1	7.2		6.9	
	前年度	7.4	7.4	6.9	6.9	7.3	7.1	7.1	6.9	7.4	7.1	7.1	6.8		7.1	
	前年対比	▲ 0.4	▲ 0.4	0.1	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 0.2	▲ 0.5	▲ 0.2	0.1	▲ 0.3	▲ 0.0	0.4		▲ 0.2	
	注射処方箋(枚)*	4,393	4,312	4,122	5,020	5,046	4,435	4,243	4,566	4,191	4,730	4,293	4,125.0	53,476.0	4,456.3	
前年度	5,708	4,982	4,542	4,714	5,293	4,718	4,382	4,787	4,847	5,327	4,218	4,729.0	58,247.0	4,853.9		
前年対比	▲ 1,315	▲ 670	▲ 420	306	▲ 247	▲ 283	▲ 139	▲ 221	▲ 656	▲ 597	75	▲ 604.0		▲ 397.6		

注意)薬剤科部門システムから抽出したデータより資料を作成しています。削除・中止についても減算されずに、システムから出力された全データをカウントしておりますのでご了承ください。

No. 2 薬剤情報提供・薬剤管理指導・無菌製剤処理データ

平成30年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計												
全診療日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365												
薬剤情報提供料	10点	922	944	914	876	845	747	780	729	731	720	620	653	9,481												
情報提供	手帳13点	4,375	4,405	4,436	4,674	5,010	4,469	4,963	4,734	5,340	5,587	4,459	4,814	57,266												
無菌製剤処理加算	40点	39	54	59	91	91	29	133	133	45	56	70	99	899												
	45点	36	47	39	38	31	34	42	41	36	38	41	42	465												
薬剤管理指導料	325点	211	217	207	227	243	150	191	196	160	157	107	140	2,206												
	380点	179	180	206	181	225	198	220	193	135	170	206	166	2,259												
	350点	2	0	11	14	19	5	13	17	17	16	0	0	114												
退院時薬剤情報管理指導料加算	90点	91	86	72	72	65	59	63	52	54	39	34	33	720												
麻薬管理加算	50点	10	7	8	8	14	8	16	4	3	3	5	2	88												
入院実患者数		436	426	410	485	501	470	439	466	457	457	461	459	5,467												
指導患者数		267	274	293	322	323	261	307	317	262	276	237	236	3,375												
合計点数		215,260	217,995	227,208	229,207	256,290	199,707	236,224	223,867	194,410	208,666	185,177	186,612	2,580,623												
外来診療日数		22	21	23	23	24	20	24	22	22	21	21	23	266												
内科		39	54	58	71	91	29	96	100	45	53	54	85	775												
精神科												6		6												
外科				1	20			37	33		3	10	14	118												
無菌製剤処理加算	40点	39	54	59	91	91	29	133	133	45	56	70	99	899												
前年度		116	31	28	6	78	79	26	25	46	54	38	66	593												
前年対比無菌製剤処理加算	40点	33.6%	174.2%	210.7%	1516.7%	116.7%	36.7%	511.5%	532.0%	97.8%	103.7%	184.2%	150.0%	151.6%												
		外来	入院	外来	入院	外来	入院																			
内科		3	2	7	4	4	3	5	5	6	3	5	4	6	5	9	9	10	6	9	7	9	8	130		
外科		12	6	24	2	17	4	12	7	15	5	15	8	25	3	24	4	20	2	14	4	17	2	18	3	263
産婦人科		9	1	7		11		9		2		2		1	2	3		3		1		3		3		60
泌尿器科			3	3																	3		2		1	12
無菌製剤処理加算	45点	36	47	39	38	31	34	42	41	36	38	41	42	465												
前年度		33	37	40	37	35	36	32	36	33	37	30	45	431												
前年対比無菌製剤処理加算	45点	109.1%	127.0%	97.5%	102.7%	88.6%	94.4%	131.3%	113.9%	109.1%	102.7%	136.7%	93.3%	107.9%												
		内訳	外来																							
		24	41	32	26	23	22	32	36	32	25	29	30	352												
		12	6	7	12	8	12	10	5	4	13	12	12	113												

## \*\*\*看護部\*\*\*

### <看護部理念>

『私達は地域の人々に信頼される安全な看護を提供します』

### <看護部基本方針>

1. 専門職として質の高い看護を提供します。
2. 医療チームの一員として看護職の責任と役割を果たします。
3. 個々のキャリア開発を支援します。
4. 看護のやりがいや、喜びを共感できる職場環境を整えます。

### <看護部目標>

1. 質の高い看護を提供する。
  - 1) 看護実践能力を高める。
  - 2) 高齢者看護、認知症看護の教育を強化する。
  - 3) 倫理的視点に立った看護が提供出来る。
  - 4) 安全な看護が提供出来る。
2. 働きやすい職場環境作りを行う。
  - 1) 他部署・他職種と連携し業務改善する。
  - 2) 労働環境を整える。
3. 病院経営に参画する。
  - 1) 安定した病床管理。
  - 2) 経費削減・修繕費を削減する。
  - 3) 地域に根ざした看護を展開する。

### <主な活動報告>

#### 1. 質の高い看護への取り組み

##### 1) 院内研修

##### ・クリニカルラダーについて

教育計画通り実施できた。また視聴覚教材を取入れた院内研修を実施した。

レベルⅠ受講者数 61 名 認定申請者 31 名中 26 名到達 (到達率 83.8%)

レベルⅡ受講者数 41 名 認定申請者 17 名中 15 名到達 (到達率 88.2%)

レベルⅢ受講者数 38 名 認定申請者 10 名中 10 名到達 (到達率 100%)

レベルⅠ未到達では、協働する力・意思決定を支える力・ケアする力が「3」評価であった。レベルⅡ組織的遂行能力が到達できない結果であった。

・クリニカルラダー外研修について

高齢者看護、認知症看護の教育を強化

精神科リエゾンチーム、認知症ケアチームと連携し患者看護の質向上に努めた。

認知症看護の勉強会を6回実施。述べ146名の参加があった。

2) 主な院外研修参加

学会 17名

看護協会主催研修 62名

認定看護管理者教育課程 ファーストレベル1名 セカンドレベル1名

臨地実習指導者講習会2名(1名は特定分野)

2. 患者の安全についての取り組み

1) 身体拘束について

ナースステーション、談話室で、塗り絵や袋作り等の作業・新聞を読む・毎日の整容動作の実施・昼の嚥下体操(集団)・ラジオ体操第一動画(リハビリテーション科に作成協力依頼したもの)・歩行訓練を兼ねた気分転換(夕暮れ症候群)等を実施した。

抑制実施率 25.9%(2018年度)→12.7%(2019年度)

身体拘束平均実施率日数 14.9日(2018年度)→9.9日(2019年度)

両上肢の抑制やミトンの使用は低減できてきているが、柵ベルトやセンサーマットの使用が退院時まで継続していることもあった。

2) リスク発生状況

転倒・転落 2018年度 55件(4月～8月) 49件(9月～12月)

2019年度 52件(4月～8月) 31件(9月～12月)

針刺し・切創、皮膚粘膜汚染発生件数9件/年(前年比81.8%)

		ヒヤリハット		医療事故		影響レベル件数・発生率			合計		発生件数累計	
		件数	発生率	件数	発生率	3	4	5	件数	発生率	R1	H30
1	薬剤	253	3.43	0	0.00	0	0	0	253	3.43	253	220
2	輸血	4	0.05	0	0.00	0	0	0	4	0.05	4	0
3	治療・処置	17	0.23	0	0.00	0	0	0	17	0.23	17	32
4	医療機器等	10	0.14	0	0.00	0	0	0	10	0.14	10	16
5	ドレーン・チューブ	122	1.65	0	0.00	0	0	0	122	1.65	122	92
6	検査	30	0.41	0	0.00	0	0	0	30	0.41	30	37
7	療養上の世話	293	3.97	2	0.03	2	0	0	295	4.00	295	312
8	その他	24	0.33	0	0.00	0	0	0	24	0.33	24	29
	計	753	10.21	2	0.03	2	0	0	755	10.24	755	738

3. 働きやすい職場環境への取り組み

1) 他部署・他職種との業務調整会議の実施

6部門、合計10回/年の業務調整会議を実施

検査科による採血管等の在庫管理業務の拡大

リハビリテーション科による訓練時の患者の送迎、車椅子点検

D i N Q Lデータ入力への協力(医事課)等

2) 労働環境への取り組み

計画的有給付与の実施。違反者 0 名、有給取得平均 10.1 日/人  
勤怠管理システム導入、稼働。

4. 病院経営への参画

1) チーム活動への支援

精神科リエゾンチーム、認知症ケアチーム、排尿自立チーム等の活動を支援し、実績件数が増加。

2) 施設基準の維持

入院基本料の施設基準を維持できた。

3) 物品・備品等の適正管理

薬剤部と連携し余剰在庫削減に取り組んだ。

混注ミス 33 件（前年比 149%） 破損 29 件（前年比 85%）

期限切れ、破損、混注ミス等での損失は 2564639.83 円（前年比 104%）

4) 地域活動

J A産直での活動 2 回実施（10 月に感染・手洗い、2 月に認知症相談）

認定看護師による院外講師依頼 5 件

4 月～9 月 いきいきヨカ`開催実施 20 人程度/回参加があった。

## \*\*\* 医療安全・感染制御室\*\*\*

### <はじめに>

医療安全・感染制御室では「医療安全管理課」と「感染制御課」で構成され、それぞれの担当で発生する問題や予測される安全対策に対し業務を担う部署である。

### <人員体制>

医師 1 名（専任）・看護師 2 名（医療安全専従・感染対策専従）

### <活動・実績報告>

#### 【医療安全管理課】

#### 1. 医療安全に関する情報収集と必要な情報の提供

- ・医療機関内・外の情報はリスク委員会（病院・部門）を通じて提供・・・ 毎月
- ・インシデント・アクシデントレポート集計報告・・・ 毎月
- ・広報紙による提供（ノンテク NEWS）・・・ 2 回発行
- ・医療安全強化テーマ・・・ 10 回発行
- ・日本医療評価機構からの情報提供・・・毎月
- ・マニュアルの周知や見直し・・・ 適宜

#### 2. 職員への教育研修の実施

- ・職員全体研修・・・ 1 回

##### 第 1 回 医療安全全体研修会

日時：2019 年 7 月 5 日（水）17 時 30 分～18 時 30 分

内容：職員間のコミュニケーション

講師：SONPO リスクケアマネジメント株式会社

医療・介護コンサルティング部 主任コンサルタント 星野智史氏

参加者数：159 名

医師 6 名、研 1 名、看護部 60 名、協助 68 名、事務員 24 名

##### 第 2 回 医療安全全体研修会

日時：2019 年 12 月 4 日（水）17：30～19：00

内容：テーマ スモールウイン発表会（発表 7 部署）

参加者数：129 名

医師 8 名、研 0 名、看護部 35 名、協助 65 名、事務 21 名

- ・看護部ラダー研修（医療安全）・・・ 1 回

#### 3. 医療安全対策状況の把握・分析・業務改善の推進

- ・院内巡視・・・ 管理室による院内巡視・・・ 適宜
- ・部内カンファレンスの実施・・・ 1 回/週

4. 患者・地域への情報提供

- ・ 広報による情報提供・・・ 「ギプスの患者さんへ」説明用紙の配布  
「患者さんの安全を守る3つのお願い」掲示

5. 事故防止マニュアルの整備

- ・ マニュアル改訂・・・ 医療安全管理規定の一部改正  
患者誤認防止について（全部署見直し）  
気管切開時の運用

6. 地域連携相互ラウンド

・ 連携加算 1

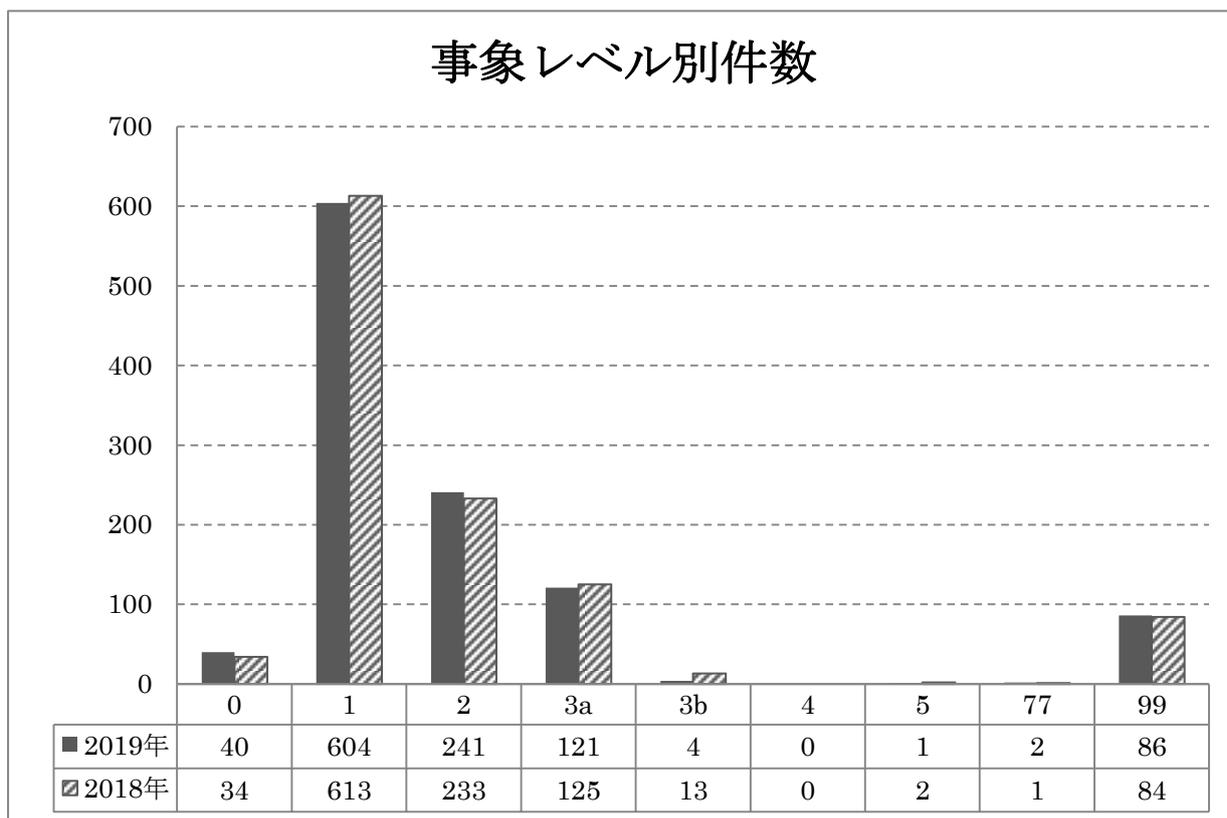
海南病院 : 2019年6月6日、2020年2月13日

稲沢厚生病院 : 2019年7月17日、2020年2月19日

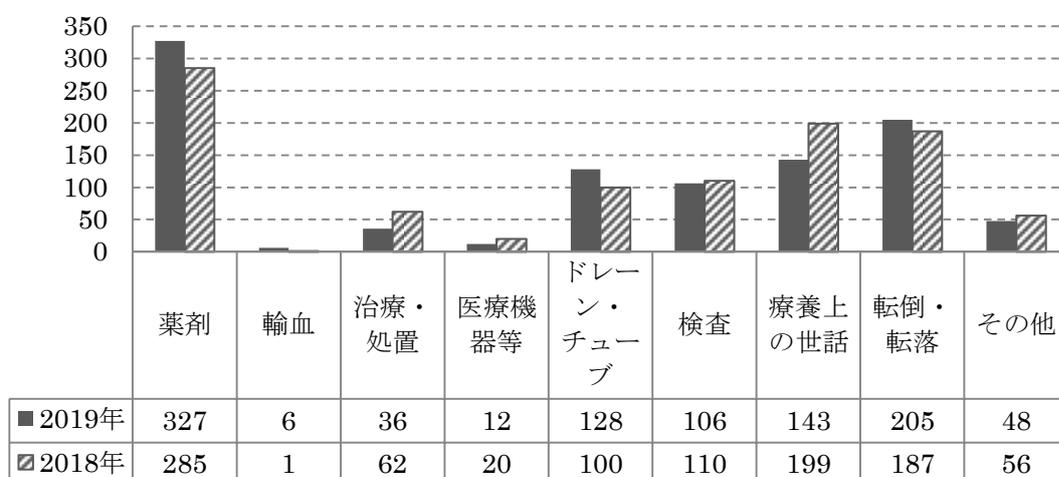
・ 連携加算 2

北津島病院 : 2019年9月9日

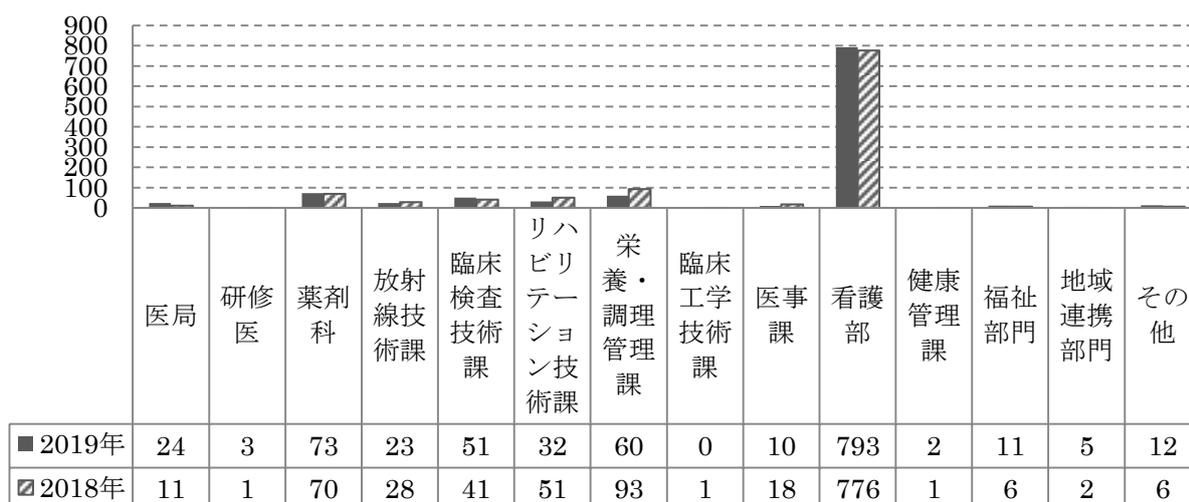
6. 2019年リスク報告書



## 内容分類別件数



## 提出部署別件数



### <業務内容>

- ・医療安全に関する情報収集と必要な情報の提供
- ・職員への教育研修の実施
- ・医療安全対策状況の把握・分析・業務改善の推進
- ・事故防止マニュアルの整備
- ・患者・家族からの相談、調査
- ・医療紛争対応

### 【感染制御課】

1. 院内感染防止対策の実施状況の把握および管理上の問題点の明確化  
院内巡視（ラウンド）

2. サーベイランスの実施
  - 手術部位感染サーベイランス
  - 中心静脈カテーテル関連血流感染サーベイランス
  - 尿道留置カテーテル関連尿路感染サーベイランス
  - 人工呼吸器関連肺炎サーベイランス
  - 微生物サーベイランス
  - 手指衛生サーベイランス
3. 院内感染対策マニュアルの作成および改訂
  - 院内感染対策委員会の指針および規定の改訂
  - アウトブレイク時の対応に関するマニュアル改訂
  - 針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露時の対応と防止対策に関するマニュアル改訂
  - 感染症の届出に関するマニュアル改訂
4. アウトブレイクの予兆の把握と対応
5. 針刺し・血液・体液曝露事例の検討と対策の普及
6. 感染に関する各種コンサルテーション
7. 院内感染防止対策の教育
  - 全職員に対する研修会 : 2回
  - 新入職者に対する研修会 : 1回
  - 看護師に対する研修会 : 3回
  - 看護助手に対する研修会 : 2回
8. 最新の感染情報や感染予防策など職員への情報提供
  - ICT ニュース発行
9. 地域連携
  - 地域連携感染防止対策協議会（相互ラウンド） : 各1回
  - 地域施設とのカンファレンス : 12回

### \*\*\*健康管理センター\*\*\*

#### <はじめに>

2019年度においては、閑散期の受診者増加を図る為に、昨年に続きJA組合員や職員に対して人間ドック、脳ドック、肺ドック等を引き続き実施期間を延長するなどして実施しました。新たな追加オプションとしてMC I（軽度認知症リスク検査）、LOX-index（脳・心筋梗塞リスク検査）を導入し、また脳ドックに関しても、水曜日、金曜日と週2日間代務医師より実施可能となりました。来年度は週休2日制導入に伴い件数・収入共に減少予想されるので、新規検査項目・オプション導入を含め、今後の受診者数増加と収入アップに努めていき、地域住民の健康とご家族の幸せを守る為に、ドック・健診おける質の向上に努めていきたい。

#### <業務の概要と実績>

- ① 企業健診・その他健診
- ② 各種人間ドック
- ③ 稲沢市国保特定健診・その他ガン検診
- ④ 協会けんぽ(生活習慣予防健診)
- ⑤ 特定健康診査
- ⑥ 特定保健指導
- ⑦ 予防接種

		件数		収入	
		2018	2019	2018	2019
①	アイコクアルファ	1,325	1,259	10,414,702	9,709,396
	山田ドビー	156	169	1,308,636	1,489,712
	帝人テクロス	3	4	32,400	43,600
	朝日荘	18	19	194,400	209,000
	稲沢市ロータリークラブ	9	10	90,000	103,000
	職員健診	690	619	7,077,240	6,017,540
	その他	549	635	7,227,048	11,251,736
	小計	2,750	2,715	26,344,426	28,823,984
②	個人ドック	319	324	12,488,536	12,834,108
	共済ドック	693	659	27,775,640	21,713,360
	JAドック	526	513	17,000,890	18,223,110
	小計	1,538	1,496	57,265,066	52,770,578
③	稲沢市国保特定健診・その他ガン検診	2,379	2,138	28,913,588	23,634,857
④	協会けんぽ(生活習慣予防健診)	868	922	17,196,513	22,334,723
⑤	特定健康診査	221	215	1,655,020	1,549,909
⑥	特定保健指導	87	109	1,097,489	1,321,887
⑦	予防接種	546	568	2,133,880	2,253,430
	合計	8,389	8,163	134,605,982	132,689,368

### <総括と 2020 年度に向けて>

2019 年度は JA 組合員ドックは年々増加傾向にあることから実施期間を 5 月までと 1 か月延長実施しました。また JA 海部東組合員ドックも JA と連携して受診者の増加に努めていく。

職員の健康を守る為にも職員健診 100% 実施率を目指して、安全衛生委員会と協力して実施していく。また新規検査項目・オプション等を導入して件数・収入増加に努めていく。

## \*\*\*地域医療連携課\*\*\*

<2019年に取り組んだ主な業務>

### 1) 地域の医療機関等との連携について

(1) 地域の医療機関の先生から紹介された患者の症例検討会(ミニレクチャー含む) 5回開催した

① 4月17日・・・「過活動膀胱について」 畦元 将隆 医師

② 6月19日・・・「ベンゾジアゼピン系薬剤を中心とした抗不安薬、睡眠薬の種類・調整」

河邊 真好 医師

③ 9月18日・・・「高齢女性の婦人科疾患について」

渡辺 修 医師

④ 11月20日・・・「慢性頭痛に対する基礎知識」

谷本 功 医師

⑤ 2月19日・・・「疥癬について」

坂井田 高志 医師

(2) 稲沢市民病院との病診連携

稲沢市民病院の地域医療連携スタッフと一緒に「看護・介護研究会」を実施。

① 5月27日・・・「認知症と摂食嚥下」

② 6月10日・・・「認知症と摂食嚥下」

③ 8月05日・・・「施設との情報交換会」

④ 11月18日・・・「終末期の緩和・看取りについて考えてみよう」

⑤ 12月 2日・・・「終末期の緩和・看取りについて考えてみよう」

(3) 稲沢市在宅医療・介護連携推進協議会等に参加。

(4) 尾張西部の地域医療連携室の情報交換会に参加。

(5) 夏期・冬期を中心に地域の医療機関を訪問し、当院の情報を提供。

(6) 毎月、月末に地域の医療機関に診療担当医表・当直表等を配信。

(7) 各医療機関からの研修会等の案内をPDFに取り込み、掲示板にて配信。

(8) 地域の医療機関からの意見、質問等の対応と報告

### 2) 紹介・逆紹介・施設利用予約について

(1) 施設利用案内ファイルの内容、ホームページの変更。

(2) 2019年4月に紹介窓口の開設。

(3) 2019年12月より時間外施設利用の開始。

### 3) 入退院支援センターについて

(1) 入院前から退院後の状況・生活を見据えて、継続的に安心して療養生活ができる病院をめざし、入院・退院に関する基本的な情報提供と相談業務を一元化・標準化した。

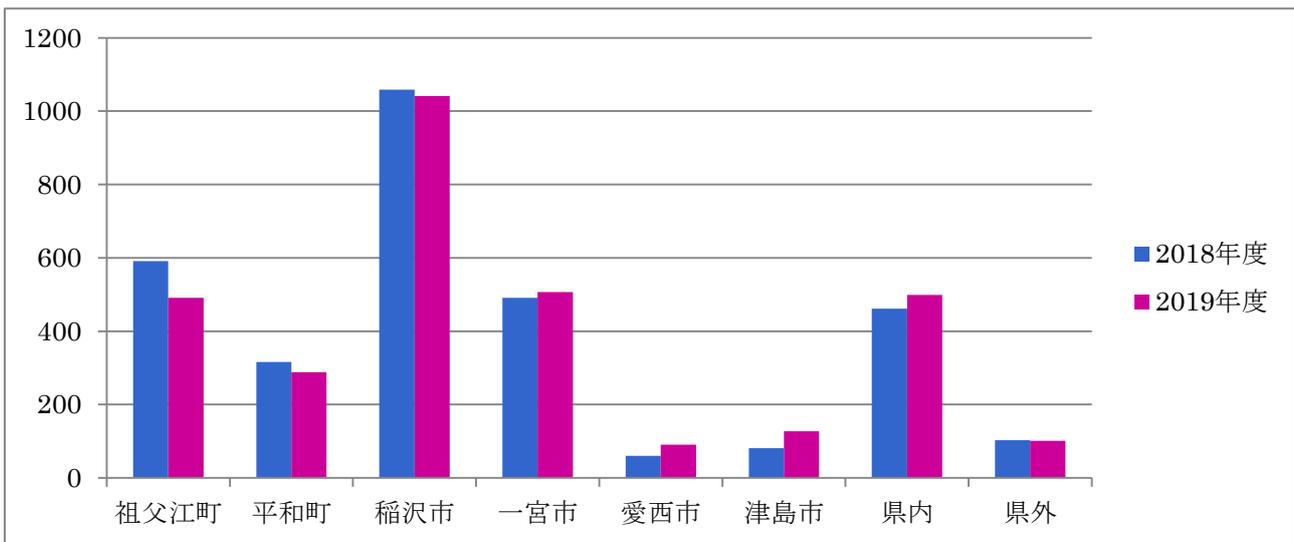
(2) 入退院支援看護師による退院支援

退院支援看護師がソーシャルワーカー・病棟看護師等と定期的にカンファレンスを行い、退院支援を実施。

<地域医療連携状況>

1) 紹介患者数地域別

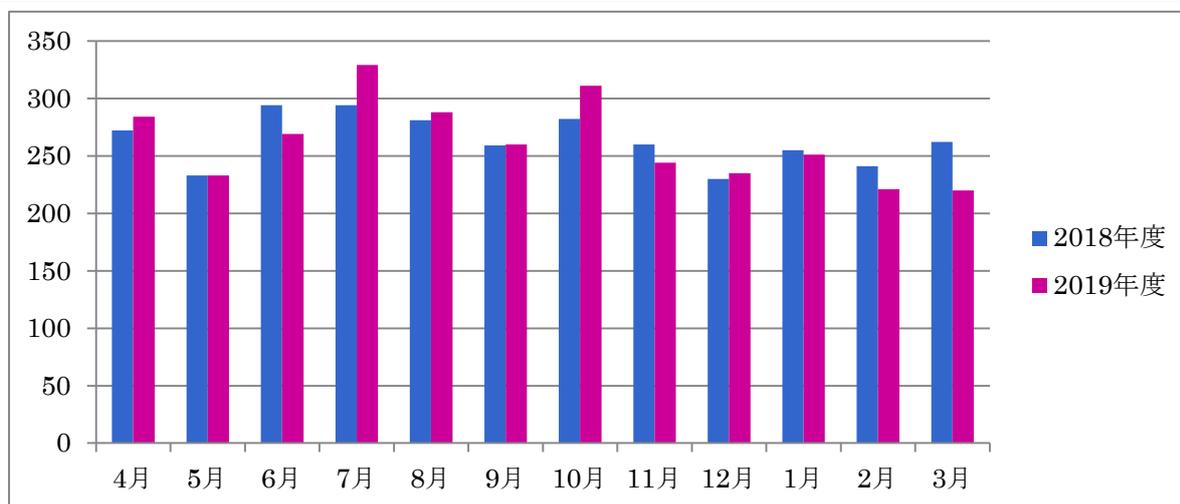
	祖父江町	平和町	稲沢市	一宮市	愛西市	津島市	県内	県外	合計
2018年度	591	316	1059	491	60	81	462	103	3,163
2019年度	491	288	1041	507	91	127	499	101	3,145
前年対比	83.1	91.1	98.3	103.3	151.7	156.8	108	98.1	99.4



紹介患者数は3,145件で昨年度の3,163件に比べ前年対比99.4%と減少している。  
紹介件数が多い地域は稲沢市、一宮市、祖父江町が上げられる。

## 2) 紹介患者数月別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	272	233	294	294	281	259	282	260	230	255	241	262	3,163
2019年度	284	233	269	329	288	260	311	244	235	251	221	220	3,145
前年対比	104.4	102.4	91.5	111.9	102.5	100.4	110.3	93.8	102.2	98.4	91.7	84	99.4

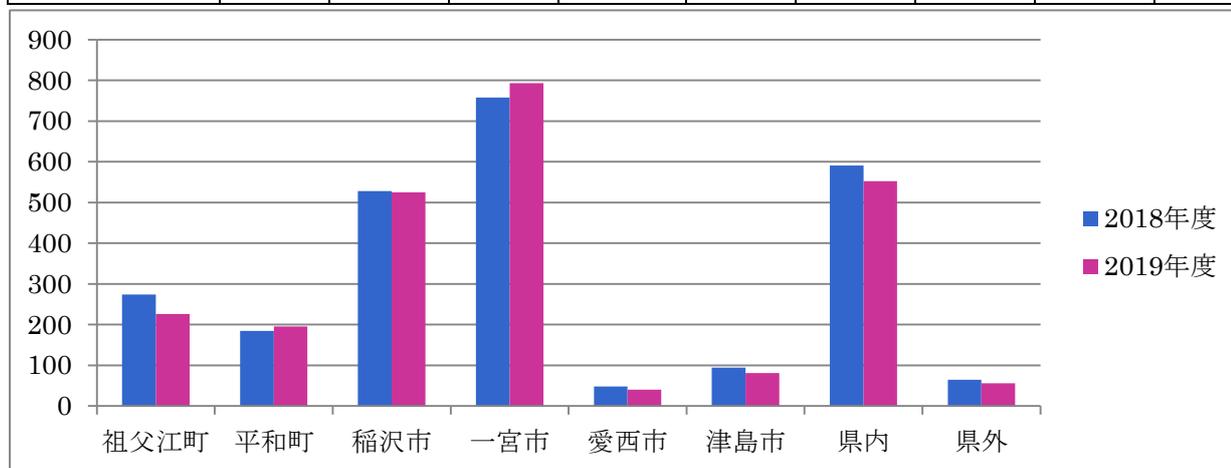


月別にみると、7月、10月が昨年度に比べて増加している。

紹介件数が多い月は7月の329件で少ない月は3月の220件となっている。

## 3) 逆紹介患者地域別

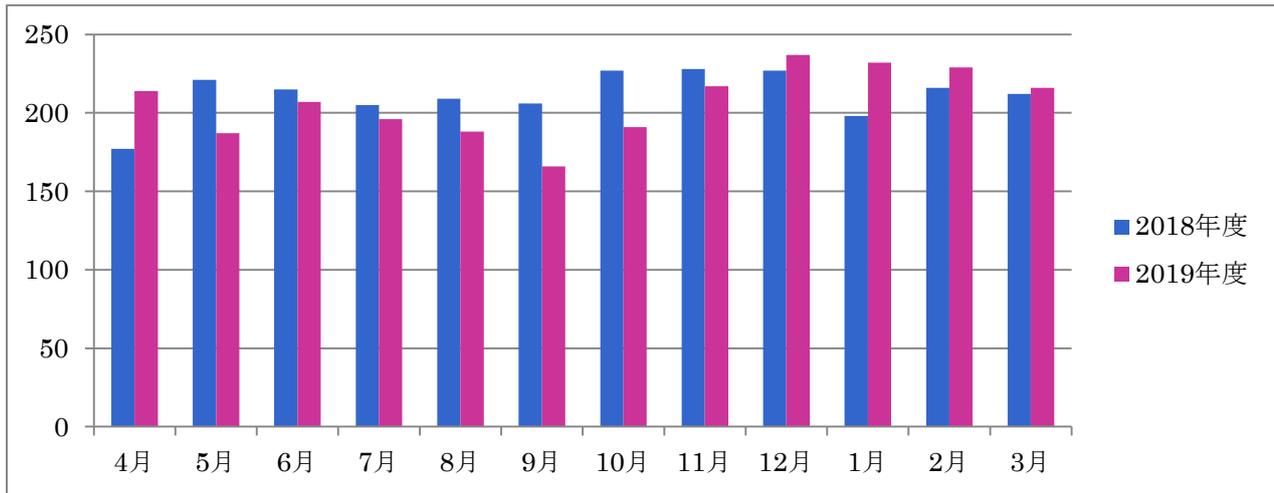
	祖父江町	平和町	稲沢市	一宮市	愛西市	津島市	県内	県外	合計
2018年度	274	184	528	758	48	94	591	64	2,541
2019年度	226	195	525	793	40	81	552	56	2,468
前年対比	82.5	106	99.4	104.6	83.3	86.2	93.4	87.5	97.1



逆紹介患者数は2,468件で昨年度の2,541件に比べて前年対比97.1%と減少している。  
逆紹介患者数が多い地域は一宮市、稲沢市が上げられる。

#### 4) 逆紹介患者月別

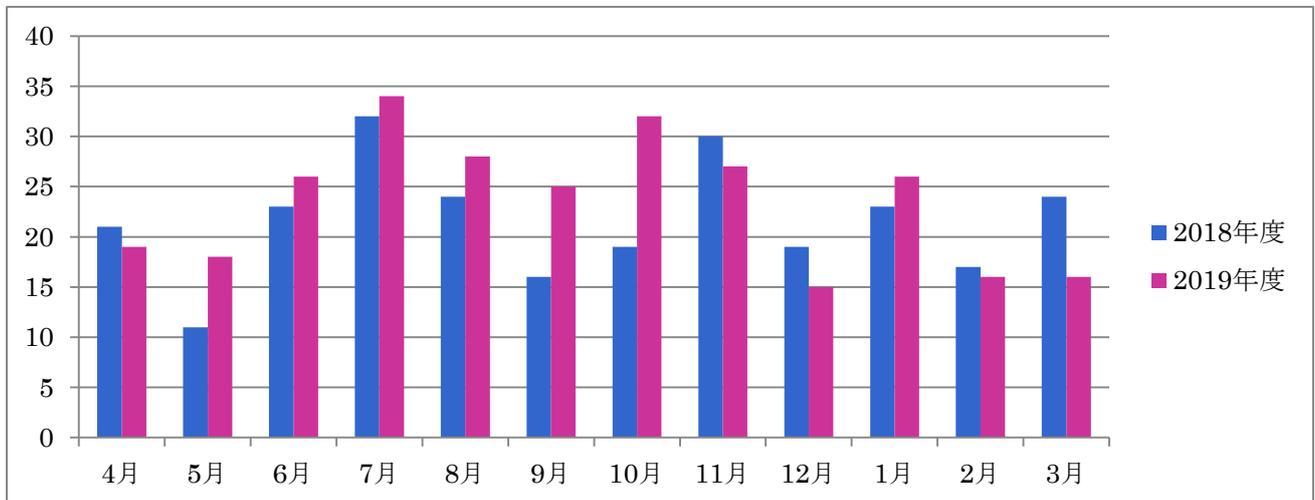
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	177	221	215	205	209	206	227	228	227	198	216	212	2,541
2019年度	214	187	207	196	188	166	191	217	237	232	229	216	2,468
前年対比	120.9	100.8	99.2	98.3	96.6	93.9	92.4	92.8	94.2	96.3	106	101.9	97.1



月別にみても昨年度に比べて6月～1月まで100%を下回っている。  
逆紹介件数が一番多い月は12月で237件。一番少ない月は9月で166件である。

#### 5) 施設利用 (CT)

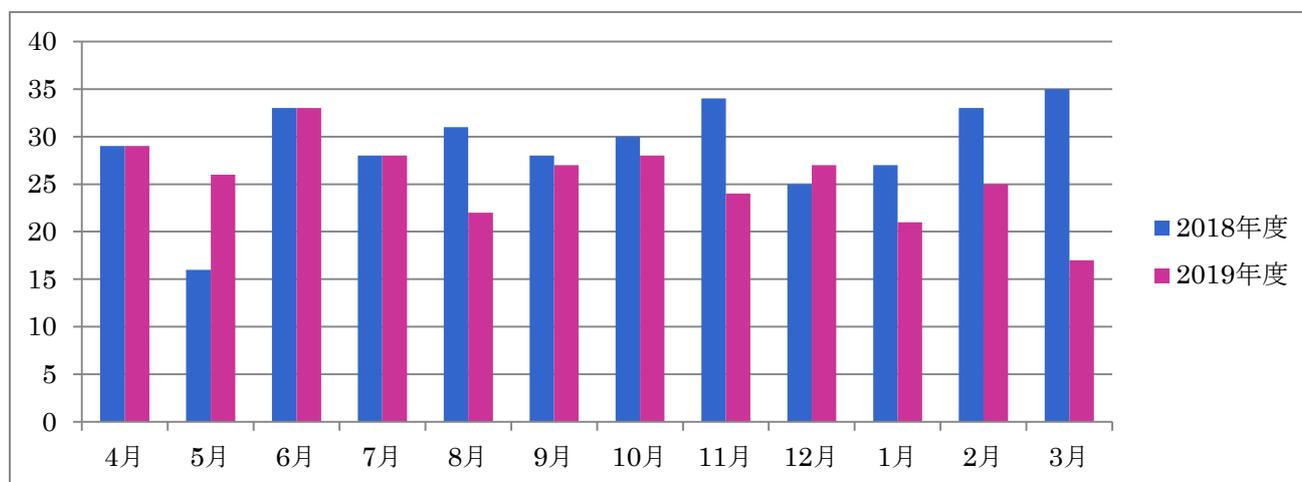
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	21	11	23	32	24	16	19	30	19	23	17	24	259
2019年度	19	18	26	34	28	25	32	27	15	26	16	16	282
前年対比	90.5	163.6	113	106.3	116.7	156.3	168.4	90	78.9	113	94.1	66.7	108.9



CTの施設利用は282件で昨年度の259件に比べて前年対比108.9%と増加している。  
 昨年度に比べて5月、6月、7月、8月、9月、10月、1月は前年対比100%を超えている。  
 紹介件数が多い月は7月の34件で、少ない月は2月、3月の16件である。

#### 6) 施設利用 (MRI)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	29	16	33	28	31	28	30	34	25	27	33	35	349
2019年度	29	26	33	28	22	27	28	24	27	21	25	17	307
前年対比	100	162.5	100	100	71	96.4	93.3	70.6	108	77.8	75.8	48.6	88



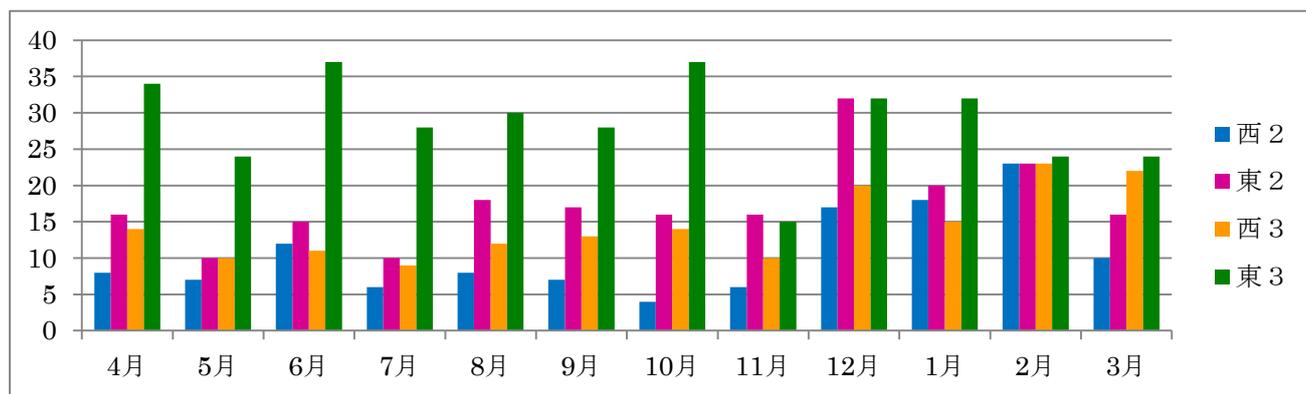
MRIの施設利用は307件で昨年度の349件に比べて前年対比88%と減少している。  
 紹介件数が一番多い月は6月の33件で少ない月は3月の17件である。

・地域医療支援病院紹介率・逆紹介率（新計算式）

2019 年度	初診紹介 患者数	初診 患者数	休日夜間 の初診 患者数	救急車 来院数	③と④の 重複	診療情報 提供書	紹介率	逆紹介率
	①	②	③	④	⑤	⑥	$\frac{①}{② - ③ - ④ + ⑤}$	$\frac{⑥}{② - ③ - ④ + ⑤}$
4月	176	1,269	220	35	19	185	17.0%	17.9%
5月	117	1,243	270	55	31	178	12.3%	18.8%
6月	148	1,214	242	26	26	202	15.2%	20.8%
7月	183	1,310	236	34	27	208	17.2%	19.5%
8月	117	1,077	214	57	15	158	14.3%	19.2%
9月	97	1,024	178	31	13	150	11.7%	18.1%
10月	119	1,058	164	43	18	150	13.7%	17.3%
11月	105	1,011	196	25	13	172	13.1%	21.4%
12月	90	1,136	295	68	16	175	11.4%	22.2%
1月	103	1,160	379	91	14	152	14.6%	21.6%
2月	83	865	187	34	15	165	12.6%	25.0%
3月	78	690	114	19	14	170	13.7%	29.8%
合計	1,416	13,057	2,695	518	221	2,065	14.1%	20.5%

7) 病棟カンファレンス 件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
西2	8	7	12	6	8	7	4	6	17	18	23	10	126
東2	16	10	15	10	18	17	16	16	32	20	23	16	209
西3	14	10	11	9	12	13	14	10	20	15	23	22	173
東3	34	24	37	28	30	28	37	15	32	32	24	24	345
合計	72	51	75	53	68	65	71	47	101	85	93	72	853

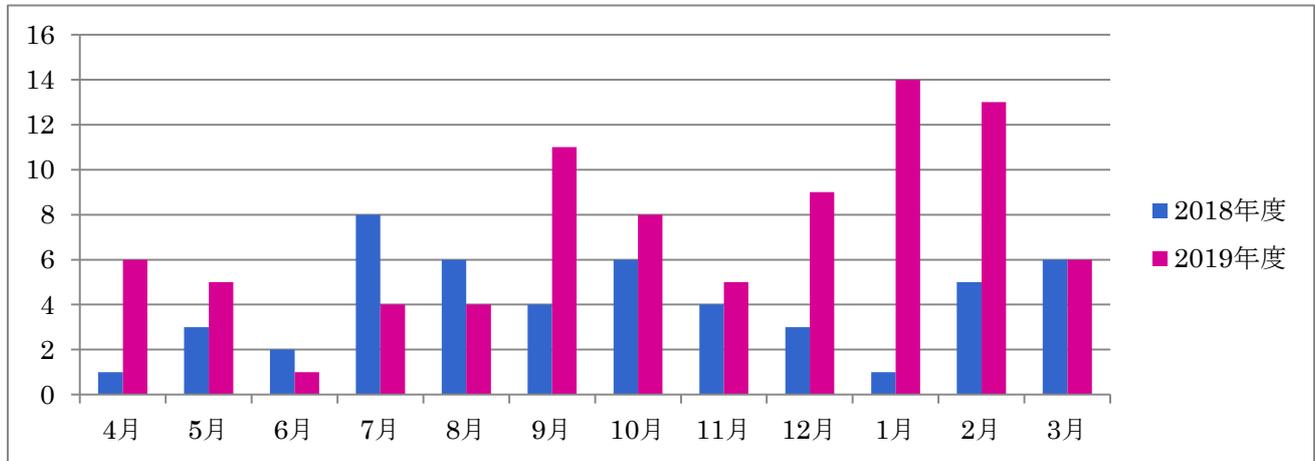


8) 入退院支援加算 病棟別 件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
西2	8	7	12	6	8	7	4	6	17	18	23	10	126
東2	16	10	15	10	18	17	16	16	32	20	23	16	209
西3	14	10	11	9	12	13	14	10	20	15	23	22	173
東3	34	24	37	28	30	28	37	15	32	32	24	24	345
合計	72	51	75	53	68	65	71	47	101	85	93	72	853

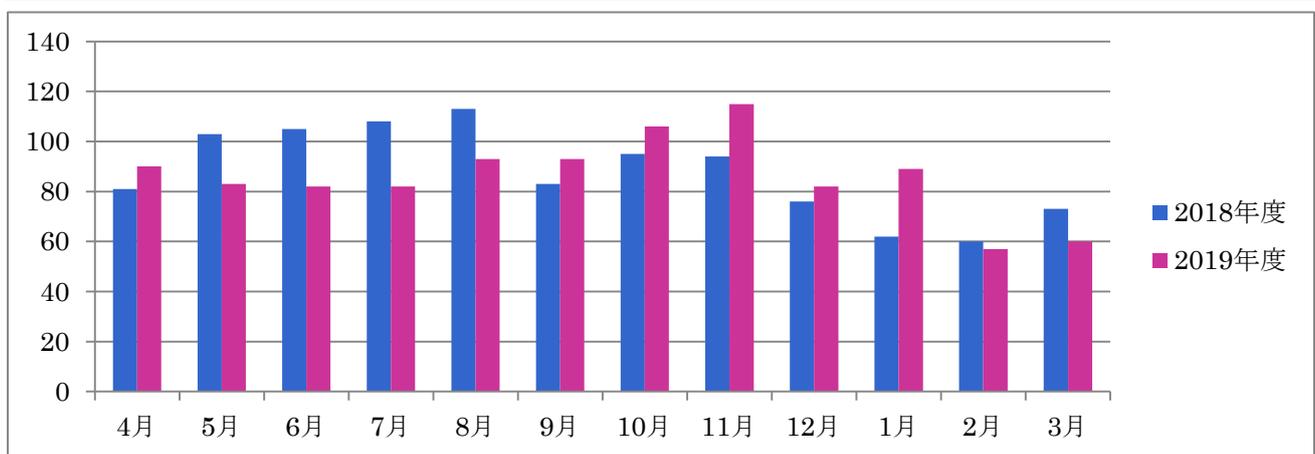
9) 入院時支援加算 月別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	1	3	2	8	6	4	6	4	3	1	5	6	49
2019年度	6	5	1	4	4	11	8	5	9	14	13	6	86



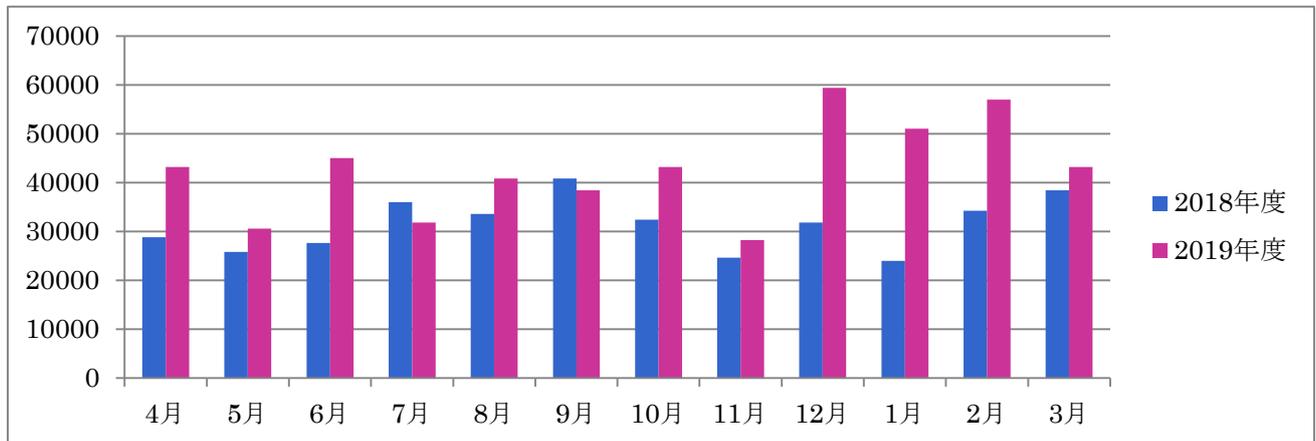
10) 入退院支援センター 患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	81	103	105	108	113	83	95	94	76	62	60	73	1053
2019年度	90	83	82	82	93	93	106	115	82	89	57	60	1032
前年対比	111	80.6	78.1	75.9	82.3	112	111.6	122.3	107.9	143.5	95	82.2	98



11) 支援加算 前年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年度	28800	25800	27600	36000	33600	40800	32400	24600	31800	24000	34200	38400
2019年度	43200	30600	45000	31800	40800	38400	43200	28200	59400	51000	57000	43200
前年対比	14400	4800	17400	-4200	7200	-2400	10800	3600	27600	27000	22800	4800



### \*\*\*医療福祉相談課\*\*\*

#### <はじめに>

医療福祉相談課では、療養に伴って、患者様、ご家族、関係機関などから寄せられるさまざまな相談への対応をソーシャルワーカーが行なっている。

相談内容は社会情勢を反映したものが多く、「もう退院と言われたが、在宅介護をどうしたらよいか」「共働きで在宅介護ができないので施設を紹介してほしい」「医療費の支払いに困っている」といった相談が多く寄せられている。2018年度末に療養病棟が休床され、入院患者の動きも変わらざるを得ない状況となった。そのため他の医療機関、各種施設、地域の関係機関との連携を今まで以上に密にしていく必要がある。

こうした医療福祉相談課の機能を充実させていくことは、ますます複雑化してゆく医療・福祉情勢の中で、不可欠なものと認識をしている。

#### <人員体制>

精神科担当（PSW） 3名 ※うち1名は産休・育休  
一般科（精神科以外）担当（MSW） 3名

#### <重点実施事項> ※前年度より継続

- ・各種福祉サービス、社会資源の利用支援
- ・退院支援システム（病棟カンファレンス）への参加
- ・レスパイト入院受け入れのための院内システムの構築
- ・地域の関係機関や院内の介護保険事業部門との連携
- ・精神科身体合併症症例の転院相談窓口
- ・精神科訪問看護の実施
- ・精神科デイケアの利用者増に向けた活動
- ・認知症ケアサポートチームの一員としての活動

#### <取扱総件数>

11,641件

## \*\*\*訪問看護ステーション「そぶえ」\*\*\*

### <はじめに>

その人らしさを尊重し、生涯に寄り添う療養支援を目指した訪問看護サービスの提供に取り組んでいる。利用者の大半を高齢者が占めるようになり、地域の高齢化の進展が強く感じられる。悪性腫瘍の終末期の利用者が増え、医療的ケアや人生の最終段階を支える密度の高い看護が求められるようになっている。24時間・365日の対応がよりスムーズになるよう看護体制を整備し、自宅での看取り支援に力を入れた。また、リハビリテーション科の協力が得られ、リハビリ機能が拡充できたことにより、地域のリハビリニーズにもより多く応えられるようになった。精神科訪問看護への取り組みも継続し、利用者、訪問件数ともに実績を伸すことができた。今後も当院の福祉部門として存在することを強みとして、病院と地域をつなぐ役割が果たせるよう、当院および地域関係機関との連携活動、地域住民への情報発信、看護師・看護学生等への教育活動などにも取り組み、地域から選ばれる訪問看護ステーションを目指していきたい。

### <人員体制>

保健師 1名（管理者）、看護師 6名、准看護師 1名  
理学療法士 2名、言語聴覚士 1名（病院リハビリ兼務）  
事務員（福祉部門兼務）

### <事業報告>

#### 1. 事業実績

年間延べ利用者数：医療 351名、介護 647名  
年間延べ訪問件数：医療 2,399件、介護 4,081件  
年間の利用者実人数：149人（新規受け入れ：70人、利用終了：66人）  
在宅看取り：19名

#### 2. 研修・会議等参加

##### 1) 研修参加

内容	主催者等
精神科訪問看護基本療養費算定要件研修 3日間	愛知県訪問看護ステーション協議会
経営セミナー	愛知県訪問看護ステーション協議会
災害対策研修	愛知県訪問看護ステーション協議会
小児訪問看護研修	愛知県訪問看護ステーション協議会
介護保険指定事業者講習会	愛知県
意思決定支援と倫理	看護協会
高齢者のスキンケア	看護協会
高齢者の看護 ～持てる力を活かしたケア～	看護協会

臨地実習指導者講習会（特定分野）	愛知県立総合看護専門学校
日本看護学会 慢性期看護	日本看護協会
日本在宅医療連合学会大会	日本在宅医療連合学会
稲沢市在宅医療・介護連携推進協議会 研修会 3回	稲沢市在宅医療・介護連携推進協議会
愛知県厚生連 高齢者福祉研究会	愛知県厚生連本部
稲沢市訪問看護ステーション会 研修会 3回	稲沢市訪問看護ステーション会
認知症、面接技法、意思決定支援	福祉部門企画研修
災害時の対応、食中毒・感染の対策および事例検討、 コンプライアンス、倫理、事例報告会	訪問看護ステーション企画研修

## 2) 連携会議等

稲沢市在宅医療・介護連携推進協議会 研修部会  
 難病対策地域会議  
 小児慢性特定疾病児童関係機関連携会議  
 稲沢市訪問看護ステーション会

## 3) その他

介護サービス情報の公表

## 3. 教育活動

稲沢市在宅医療・介護の普及啓発 出前講座（訪問看護について）  
 看護部研修 ラダーレベルⅡ 訪問看護同行研修  
 愛知県看護協会 退院調整看護師養成研修 実習指導  
 臨地実習指導（在宅看護論）：名古屋医専、弥富看護専門学校、日本福祉大学  
 インターンシップ 日本福祉大学生（2名）

## \*\*\*祖父江地域包括支援センター\*\*\*

### <業務内容>

稲沢市より委託を受け、高齢者の「よろず相談窓口」として祖父江地区の住民を対象に下記の事業を行っている。

- ①介護予防ケアマネジメント業務
- ②総合相談・支援業務
- ③権利擁護業務
- ④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### <人員体制>

社会福祉士 1 名、主任介護支援専門員 1 名、保健師 1 名、看護師 1 名

### <重点実施事項>

- ・生活支援体制整備推進協議会の会議や合同研修会への参加
- ・稲沢市在宅医療・介護連携推進協議会の連携推進部会への参加
- ・民生委員協議会での事例発表、支援センターだよりの発行などを通じた、地域包括支援センター機能についての周知活動
- ・利用者入退院時の MSW や退院調整看護師との連携
- ・年次有給休暇の計画的取得
- ・消費税率変更や元号変更に伴って必要な書類の改訂作業。利用者への説明  
自動車事故および個人情報漏洩事故の防止。定められた手順の遵守

### <地域包括支援センター業務実績>

#### ■プラン作成件数

センター直接担当分	1401 件
委託分	1229 件

#### ■総合相談支援業務（延べ件数）

年間合計件数	5252 件
--------	--------

### <総合相談支援業務内訳>

#### ・相談者別

本人・親族	3242 件
民生委員	104 件
介護支援専門員	479 件
介護事業者	845 件

医療機関	285 件
市	156 件
その他	141 件

・対応手段別

訪問	1712 件
電話	3101 件
来所	439 件

・相談内容別

介護保険利用援助（制度説明、申請援助など）	1042 件
新予防給付ケアマネジメント	3784 件
福祉サービス（市の在宅福祉サービスの相談・調査・申請代行など）	38 件
権利擁護関係（高齢者虐待・成年後見制度・消費者被害など）	34 件
実態把握、安否確認（高齢者の実態把握、様子伺い、安否確認など）	139 件
その他	215 件

<今後の課題>

- ・地区内の高齢者人口増加に伴ってプラン件数増加傾向あり。地域包括支援センターは、プラン作成による収入が過剰になると稲沢市からの委託金を一部返還する仕組みとなっているため、プラン作成を他の居宅介護支援事業所になるべく委託するなど、適切な対応を考えていく必要がある。
- ・今後、相談者の個別支援に留まらず、地域づくりという視点での業務展開をさらに進めていく必要がある。

### \*\*\*介護保険事業所\*\*\*

#### <はじめに>

要介護認定を受けた方がその能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、在宅サービスの適切な利用が可能となるよう要介護者本人の身体機能や生活環境等を勘案してケアプランを作成し、そのプランに基づくサービスの円滑な実施のためにサービス提供事業者等との連絡調整や様々な便宜の提供を行っている。

地域包括ケアシステム充実に向けて地域との連携・研修なども積極的に取り組んでいる。

#### <人員体制>

介護支援専門員 5 名 （常勤専従 5 名）

#### <業務報告>

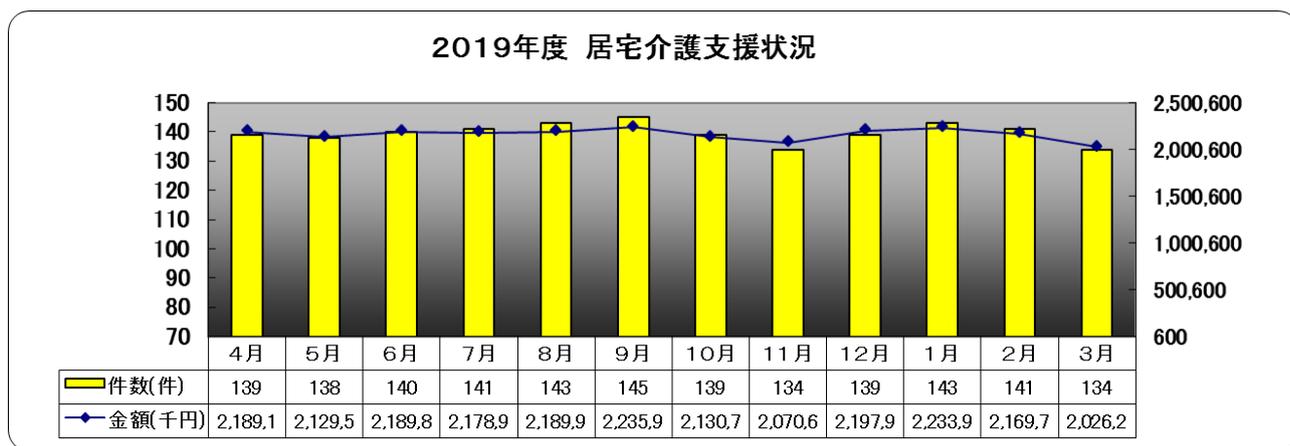
##### ●要介護認定訪問調査件数

（市町村からの依頼で介護保険の要介護認定のため行う調査）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	10	14	9	10	12	9	9	12	12	11	8	8	124

##### ●給付管理票作成件数(ケアプラン件数)

（在宅で1ヶ月間に利用したサービス内容を記載した給付管理票を利用者一人につき一枚ずつ作成し国保連に提出）



\*2014年度より特定事業所加算取得

##### ●実習指導 介護支援専門員実務研修実習 実習生 0 名

##### ●会議等への参加

- ・介護保険担当者カンファレンス（院内）

- ・ケアマネカンファレンス週 1 回
- ・事業所内事例検討会（年回 8 回）
- 他法人の居宅支援事業所と行う事例検討・研修会参加（年間 3 回）

### <介護保険事業所研修実績>

目的：稲沢厚生病院介護保険事業所の現任者により質の向上も目的として研修を行う。

研修内容	院内／院外
認知症ケアと地域との共存	愛知県認知症グループホーム連絡協議会
稲沢ケアマネ会総会 自立支援にむけて 在宅でのリハビリテーション	稲沢ケアマネ会
介護支援専門員のための事例検討の進め方	稲沢市介護支援専門員研修
認知症とは「食べられないの 食べないの 認知症の種類を知って対応しよう」	稲沢地域・看護・介護研究会
在宅での看取り ケアマネジャーの役割と課題	多職種協働の実践事例研究会
地域包括ケアシステムの構築に向けて	在宅医療・介護連携推進協議会
愛介連アセスメントシート活用研修会	愛知県居宅支援事業者連絡協議会
認知症について	福祉部門合同研修
介護保険指定事業者講習会	愛知県福祉局高齢福祉課介護保険指定・指導グループ
H30 年度地域健康課題対応事業研修会	一宮保健所
在宅医療と ACP	愛知県看護協会尾張西部地区支部
身寄りのない方への支援について	稲沢ケアマネ会
稲沢ケアマネ会研修会 事例検討会	稲沢ケアマネ会 主任部会
大転子部重度褥瘡改善に向けて ～多職種連携の取り組み～	多職種協働の実践事例研究会
面接技法の勉強会	福祉部門合同研修
小地域情報交換会 事例検討・意見交換会	地域包括支援センター 主任ケアマネ部会
高齢者福祉研究会	JA 厚生連本部
パーキンソン病の ON・OFF 現象	稲沢ケアマネ会 主任部会
エンドオブライフケア看取りについて考えよう	稲沢地域 看護・介護研究会
みんなで楽しもうモシバナゲーム	福祉部門合同研修
多職種合同研修会 地域での災害対策について	稲沢ケアマネ会

## IV. 学会・論文発表

## 内科

### 【学会発表】

2019/4/25（木）～2019/4/28（日） 第116回日本内科学会総会（名古屋）

「当院肝疾患患者の職業の実態と両立支援の必要性」

浜田 けい子、井上 貴子、服部 孝平、浅田 馨、勝野 哲也、濱野 真吾、佐橋 秀典、田中 靖人、後藤 章友、是永 匡紹

愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院 内科

2019/10/17（木）～2019/10/18（金） 第68回日本農村医学会学術総会（十勝）

「肝血管筋脂肪腫の1例」

杉原 雅大、服部 孝平、森 洋一郎

愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院 内科

2019/10/6（日） 日本内科学会東海支部第239回例会（岐阜）

「大腸内視鏡検査による脾損傷と腹腔内出血を認めた1例」

杉原 雅大、勝野 哲也、百瀬 佑紀、谷本 功、服部 孝平、後藤 章友

愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院 内科

2020/2/16（日） 第240回東海地方会

「肺サルコイドーシスと特発性血小板減少性紫斑病を合併した1例」

式守 克容

## 整形外科

### 【学会発表】

2019/10/17（木）～2019/10/18（金） 第68回日本農村医学会学術集会（帯広）

「ピロリン酸カルシウム結晶沈着による腸恥滑液包炎の1例」

加藤 哲司、山岸 逸郎、河村 文徳、吉岡 靖子

## 眼科

### 【学会発表】

2019/12/6（金）～2019/12/8（日） 第58回日本網膜硝子体学会（長崎）

「両眼性後天性卵黄様病変の1例」

川村 美穂子

## 臨床検査技術科

### 【学会発表】

2019/5/18（土）～2019/5/19（日） 第68回日本医学検査学会（下関生涯学習プラザ）

「LBC用溶血剤適正使用量の検討～Wise Prep Duet を使用して～」

蜂須賀 大輔、蒲澤 康晃、土井 昭夫、伊藤 肇、山田 滝彦

2019/11/16 (土) ~2019/11/17 (日) 第58回日本臨床細胞学会

(岡山シティミュージアム)

「Wise Prep Duet 用溶血剤 適正使用時間の検討」

蜂須賀 大輔、土井 昭夫

**【講演】**

2019/7/6 (土) 公益社団法人愛知県臨床検査技師会

生物化学分析検査研究班 研究会 (株式会社スズケン名古屋支店)

「脂質の摂取～吸収について」

中島 裕人

2019/11/3 (日) 公益社団法人愛知県臨床検査技師会

一般検査研究班 基礎講座 (藤田医科大学)

「尿沈渣の異型細胞の見方」

蜂須賀 大輔

2020/2/8 (土) 公益社団法人愛知県臨床検査技師会

一般検査研究班 愛臨技精度管理事業 (名城病院)

「2019年度愛臨技一般検査部門精度管理報告」

蜂須賀 大輔

2020/2/15 (土) 公益社団法人愛知県臨床検査技師会

血液検査研究班 愛臨技精度管理事業 (株式会社スズケン名古屋支店)

「2019年度愛臨技血液検査部門精度管理報告」

蒲澤 康晃

**【座長】**

2019/7/7 (日) 第19回愛知県医学検査学会 (サンプラザシーズンズ)

「一般検査部門」

蜂須賀 大輔

**リハビリテーション技術科**

**【学会発表】**

2019/10/20 (金) 尾張北西部作業療法研究会 (稲沢厚生病院)

「活動につなげるためのポジショニング」

坂井田 悟

## 栄養科

### 【学会発表】

2019/7/14（日） 第7回日本在宅栄養管理学会年次学術集会（東京都稲城市）

「在宅緩和ケアにおけるカルニチン補給方法と課題の検討」

森 茂雄、鈴木 祥子

2019/9/6（土）第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会（新潟県新潟市）

「多職種・多施設間での嚥下調整食における連携の活性化を目指してー栄養情報をどう繋ぐかー  
連携して取り組むこと 専門職として取り組むことー在宅訪問管理栄養士の立場からー」

森 茂雄

2019/9/21（土）日本在宅栄養管理学会東海・北陸ブロック研修会（愛知県名古屋市）

「食べていないのに太ると訴えたクモ膜下出血後遺症 糖尿病患者の一例」

森 茂雄

2019/2/27（木）第35回日本臨床栄養代謝学会（京都府京都市）

「介護保険施設における看取り介護の現状～終末期の栄養管理に関するアンケートより～」

森 茂雄、中島 里奈、鈴木 祥子

### 【講演】

2019/4/13（土）～14（日）（大阪府大阪市）

2019/5/11（土）～12（日）（東京都千代田区）

「初心者栄養士にもよくわかる水分・電解質の基本と臨床でのあつかい方」

森 茂雄

2019/6/9（日）（東京都千代田区）

「ひとり職場の栄養士のためのうまくいく栄養ケアのコツとポイント」

森 茂雄

2019/6/22（土）（青森県青森市）

「看取りの栄養ケア」

森 茂雄

2019/8/10（土）～11（日）（大阪府大阪市）

2019/9/22（土）～23（日）（東京都千代田区）

「高齢者ケア施設の栄養科スタッフのための基礎から学ぶ栄養サポート」

森 茂雄

2019/10/9（水）（兵庫県姫路市）

「綱島会厚生病院 NST 勉強会」

森 茂雄

2019/11/28（木）日本福祉大学中央福祉専門学校（愛知県名古屋市）

「栄養士の役割と連携」

森 茂雄

2019/12/8（日）（東京都千代田区）

2019/12/22（日）（大阪府大阪市）

「よくあるケース別に学ぶ栄養トラブルへの対応の仕方 病院版」

森 茂雄

2020/1/25（土）～26（日）（東京都千代田区）

2020/2/8（土）～9（日）（大阪府大阪市）

「よくあるケース別に学ぶ栄養トラブルへの対応の仕方 リニューアル2日拡大版」

2019/2/2（土）～3（日）名古屋学芸大学臨床研究所

実務者のための栄養管理プロセス（臨床栄養学）研修会（愛知県名古屋市）

「高齢者の経腸・静脈栄養」

森 茂雄

2019/2/18（火）稲沢市スポーツ推進委員会（愛知県稲沢市）

「スポーツと栄養」

森 茂雄

#### 【執筆】

2019/4～2019/3 ニュートリションケア 2019年4月号より連載 メディカ出版

「超 実践!!高齢者の栄養ケア 介護保険施設の栄養士・管理栄養士のためのスキルアップ講座」

森 茂雄

2019/4 ニュートリションケア 2019年春季増刊 メディカ出版

「栄養ケア・マネジメント Q&A40+栄養強化おやつレシピ 25」

森 茂雄、鈴木 祥子、中島 里奈

2020/2

「わかりやすい疾患別栄養ケア・マネジメント-献立から指導まで-」第1版第3刷 学建書院

森 茂雄

## 薬剤部

### 【学会発表】

2019/5/31（金）～2019/6/2（日）第13回日本緩和医療薬学会年会（幕張メッセ）

「稲沢厚生病院での緩和ケアチームにおける薬剤師の介入調査」

宇佐美 初雄

2019/9/7（土）第2回相互啓発研修会（JA愛知厚生連 稲沢厚生病院）

「当院精神科病棟における薬剤師の活動」

加藤 洋介

2019/11/2（土）～2019/11/4（月）第29回日本医療薬学会年会

（福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリメッセ福岡・ホテル日航福岡）

「プロトコールで有害事象を回避させるための取り組みの第一歩」

宇佐美 初雄

「Clostridioides difficile infection (CDI) 治療アルゴリズム作成とその評価」

久田 瑛吉

2019/11/7（木）～2019/11/9（土）第67回日本化学療法学会西日本支部総会（アクトシティ浜松）

「抗菌薬適正使用支援チーム（AST）活動と評価」

久田 瑛吉

## 看護部

### 【学会発表】

2019/10/17（木）～2019/10/18（金）第68回日本農村医学会学術総会（北海道 とかちプラザ）

「終末期癌患者・家族と病棟看護師の関係性の変化に関する一事例」

東2階病棟 山口 法子

2019/11/30（土）第19回固定チームナーシング中部地方会発表（名古屋市）

「看護補助者チームによる環境整備の取り組み」

東3階病棟 大鹿 里実・薫田 志津子

2019/11/23（土）第45回厚生連看護師会研修会（名古屋市）

「術前外来から関わりを持つことでの看護師の思い」

手術室 義見 いづみ

## V. 委 員 会

## 保育所運営委員会

### 1. 目的

保育所の効率的且つ円滑な運営管理を図る。

### 2. 内容

保育所の円滑な運営を行うため、運営に関する内容を協議する。

### 3. 委員構成

所長（病院長）、事務部長、看護部長、小児科医師、栄養科技師長、保育士、保護者代表  
総務課長、庶務係長（係員）

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
8月8日	<ul style="list-style-type: none"><li>・医師の子の預かりについて</li><li>・2019年度の収支状況について</li><li>・保育所利用状況について</li></ul>

## 診療報酬適正管理委員会

### 1. 目的

診療報酬請求を適正に行うことにより、病院の運営ならびに医療の質の向上に寄与する。

### 2. 内容

- ①診療報酬の適正な請求
- ②診療収入の向上
- ③医療の質の向上
- ④新規施設基準の取得
- ⑤査定・返戻の減少対策
- ⑥DPC 分析の推進

### 3. 委員構成

医師、看護師、薬剤師、リハビリ技師、放射線技師、検査技師、管理栄養士、事務

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
定例報告	・各種算定状況一覧 ・査定報告 ・月刊査定
4月17日	・前年度査定件数と詳細の報告 ・退院じれハビリテーション指導料の算定数推移 ・TDM 実施件数集計報告 ・施設基準届出一覧報告
5月15日	・手術期等の口腔機能管理の概要について
6月19日	・手術期等の口腔機能管理の運用報告
7月17日	・中規模病院間のベンチマーク運用検討
8月 (文書開催)	・定例報告のみ
9月18日	・中規模病院ベンチマーク事業の取り組み項目について
10月16日	・特定薬剤治療管理料の要件まとめ ・上半期の査定状況
11月20日	・在宅寝たきり患者処置指導管理料について
1月15日	・特定薬剤治療管理料算定対象患者へのフセン貼付け開始について ・科毎の指導料まとめ
2月19日	・診療報酬改定の概要について

## 資材委員会

### 1. 目的（下記①～③を協議する）

- ①新規医薬品、試薬及び医療材料の採否に関すること
- ②医薬品及び医療の情報に関すること
- ③医薬品、試薬及び医療材料等の効率的活用に関すること

### 2. 内容

- ①報告事項 医業収入と資材費、医薬品上位 30 品目、医療材料消費明細  
前月分の実績を報告（4月・10月は前半期分も合わせて報告）
- ②医薬品の期限切迫品提示
- ③新規医薬品、試薬及び医療材料の採否審議

### 3. 委員構成

院長、副院長、第1診療部長、第2診療部長、医療安全・感染制御部長、看護部長、診療協同部長、事務部長、薬剤部長、その他委員長が特に必要と認めた者

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容						
	医薬品品目数		試薬品目数		医療材料品目数		その他
	採用	中止	採用	中止	採用	中止	
4月26日	4	5	0	0	0	0	自主回収1件
5月31日	14	6	31	28	0	0	
6月28日	8	17	2	2	6	0	
7月26日	8	9	0	0	0	0	
8月30日	14	10	0	0	0	0	
9月25日	14	12	3	0	2	0	
10月23日	24	18	0	0	0	0	
11月27日	18	16	0	0	0	0	
12月25日	23	19	0	0	0	0	
1月29日	15	15	6	8	3	0	
2月26日	20	10	10	10	0	0	自主回収1件
3月25日	6	7	0	0	1	0	自主回収1件

※規格違いも品目数としてカウント（仮採用もその他の採用も全て含む）

※後発医薬品指数 80%を目標に後発品への切り替えを行った。

4月 74.7%、5月 73.2%、6月 74.3%、7月 73.0%、8月 74.7%、9月 75.7%

10月 75.4%、11月 76.2%、12月 77.0%、1月 80.2%、2月 81.5%、3月 83.2%

2020年4月より後発医薬品使用体制加算2を取得する。

## 院外処方箋連絡会

### 1. 目的

院外処方箋発行に関する事項について協議

### 2. 内容

稲沢厚生病院院外処方箋に関わる諸問題について協議を行う。

### 3. 委員構成

委員長：副院長

委員：病院側－眼科医師、薬剤部長、医事課、薬剤部（事務局）

薬剤師会側－稲沢市薬剤師会会長

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
6月14日	<ul style="list-style-type: none"><li>・資材委員会（薬審）の報告（3～5月）</li><li>・院外処方状況の報告（2～5月）前回間に合わなかった分も含めて報告。5月は長期連休の影響もあり33%後半であったが他は通常と同様の34～35%であった。</li><li>・疑義照会報告（3～5月）後発品への切り替えに伴う投与量についての疑義照会がありその分いつもより報告数の増加がみられたと思われる。</li><li>・調剤事故：過誤報告1件（5月）、バルプロ酸徐放性顆粒40%のところ過去に遡り3回に渡ってバルプロ酸ナトリウム細粒40%で調剤していたことが発覚。患者の体調に変化はなく報告以降は医師へ確認をしてバルプロ酸徐放錠の指示に変更。</li></ul>
9月13日	<ul style="list-style-type: none"><li>・資材委員会（薬審）の報告（6～8月）</li><li>・院外処方状況の報告（6～8月）33%前後と昨年度に比べ分業率が低くなっている。</li><li>・疑義照会報告（6～8月）分業率の低下も影響してか照会件数も減少している。</li><li>・調剤事故：過誤報告1件（8月）、眼科プロナックNa点眼液0.1%の指示が1日に2回両目であったが右目で薬袋を作成。診察時に発覚した。</li></ul>
12月13日	<ul style="list-style-type: none"><li>・資材委員会（薬審）の報告（9～11月）別紙にて報告した。</li><li>・院外処方状況の報告（9～11月）：別紙にて報告した。処方件数としては横這い。11月の分業率は祝祭日の影響か30.8%と低下、他の月は32%台。</li><li>・疑義照会報告（9～11月）：別紙にて報告した。外用薬の入力間違いに対して上限設定を警告量として設定した。</li><li>・調剤事故・過誤報告1件（9月10日 発覚） 当院耳鼻咽喉科からイソバイドシロップ（20mL）3本/日で処方され、調剤薬局でイソバイドシロップ（30mL）3本/日で調剤して対応。最終的に調剤薬局から4回分（1日分と1回分）服用してからの交換対応となったと報告を受けた。</li></ul>

## 医療安全管理委員会

### 1. 目的

稲沢厚生病院における医療安全に関する諸問題を協議するとともに、各委員会の適正な運営の指導を行う。

### 2. 内容

- ①医療事故の分析（レベル 4～5）及び再発防止策の検討に関すること
- ②医療事故防止のための職員に対する指示命令に関すること
- ③医療事故発生防止のため啓発・教育・広報及び資料発行に関すること
- ④医療事故報告及び公開に関すること
- ⑤医療安全管理に関する各委員会に対し適切な指示、活動状況の確認、各委員会から上がってくる事案に対し意思決定を行う

また医療安全管理に問題を生じた時、協議のうえ各委員会を指導し、各委員会の間に発生した諸問題の検討・調整をする

（安全管理に関する各委員会は下記の通りとする）

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. リスクマネジメント委員会    | 2. 手術部・麻酔安全管理委員会 |
| 3. 医薬品安全管理委員会      | 4. 医療機器等安全管理委員会  |
| 5. 治験・臨床研究等倫理審査委員会 | 6. 院内感染対策委員会     |
| 7. 輸血療法委員会         | 8. 医療ガス安全管理委員会   |
| 9. 医療廃棄物管理委員会      | 10. 災害対策委員会      |

- ⑥その他、医療安全管理に関すること

### 3. 委員構成

管理者、安全管理に関する各委員会の長、

医療安全推進者（医療安全・感染制御室長（課長））、事務管理室長（事務局）

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
4月11日	・休会
5月9日	・各委員会報告
6月13日	・各委員会報告 愛知県厚生連医療安全管理規定の制定について
7月11日	・各委員会報告
8月16日	・各委員会報告
9月12日	・各委員会報告
10月10日	・休会
11月14日	・各委員会報告
12月12日	・各委員会報告
1月9日	・各委員会報告
2月13日	・各委員会報告
3月13日	・各委員会報告

## 医療安全推進委員会

### 1. 目的

稲沢厚生病院における医療事故の防止及び対策などの推進を図り、患者、患者家族に安全で質の高い医療を提供することを目的とする。

### 2. 内容

- ①リスク報告書の集計報告
- ②医療事故内容報告及び共有、分析、対策の検討
- ③医療安全に関する情報の提供及び共有
- ④医療安全に関するマニュアルの改訂

### 3. 委員構成

診療部門（医療安全管理責任者を含む）4名、臨床研修部門（研修医）1名、看護部門1名、診療協助部門7名、事務部門1名、医療安全管理部門1名

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
4月10日	・各委員会報告
5月15日	・各委員会報告
6月12日	・各委員会報告
7月10日	・各委員会報告・医療安全管理委員会の規程確認・委員会の名称変更について
8月16日	・各委員会報告
9月11日	・各委員会報告
10月9日	・各委員会報告・診療放射線に係る安全管理体制に関するガイドラインについて
11月13日	・各委員会報告
12月11日	・各委員会報告
1月15日	・各委員会報告
2月12日	・各委員会報告・人工呼吸器の停止事案について ・誤接続防止の国際基準への切替について
3月11日	(文書開催)・各委員会報告

## 手術部・麻酔安全管理委員会

### 1. 目的

手術センターの円滑な運営と安全な麻酔管理を図ることによって、適切な手術医療の提供体制を確立し維持する。

### 2. 内容

- ①手術スケジュールに関する事
- ②手術材料管理に関する事
- ③手術センターの医療器機管理に関する事
- ④手術センターの環境衛生管理に関する事
- ⑤手術センターの安全管理に関する事
- ⑥麻酔の体制および安全に関する事

### 3. 委員構成

医師部門 手術センター部長（外科）・各科診療責任者（整形外科・産婦人科・泌尿器科・眼科・皮膚科）

医療安全・感染制御室 室長・施設部門・協助部門 臨床工学技術科技師長・看護部門  
手術センター課長

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
5月22日	<ul style="list-style-type: none"><li>・委員構成員追加・・・皮膚科</li><li>・麻酔管理に関して・・・現行のまま継続</li><li>・手術中のレントゲン撮影に関して・・・放射線科技師長に確認 レントゲン撮影は、レントゲン技師が撮影できる体制に変更。</li><li>・医療安全・感染制御室リスク報告より・・・麻酔器の設定変更場面にて、波形が現れず。要因は、最終確定手順の忘れ。新任、転勤医師を含めたシュミレーション研修開催していく。</li></ul>
8月7日	<ul style="list-style-type: none"><li>・フットポンプ使用に関して・・・装着に関しては、評価したリスクレベル毎に推奨されている予防策を該当医師の指示の基に実施とある。現行は、使用不可能な症例以外の全身麻酔・脊椎麻酔の全症例で実施。現在まで問題の発生ないため、現行にて継続。</li><li>・危機的出血対応へのガイドライン・・・手術中に危機的出血が発生した場合、外部に緊急性が伝わりにくいのでガイドライン運用手順作成。</li><li>・働き方改革による委員会開催の見直しについて・・・円滑な運営と安全な麻酔管理を図るために、年4回の委員会は現行通り開催。</li></ul>
11月20日	<ul style="list-style-type: none"><li>・危機的出血への対応ガイドラインの運用説明</li><li>・手術センターに常備してある挿管に関する物品について説明</li><li>・新規搬入機器の紹介</li><li>・退室許可基準に関して確認</li></ul>

2月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術中のDVDへの録画とその後の保管について・・・保管方法に決め毎がない。録画したものは、訴訟発生時の証拠、手技の振り返り、後進への教育資料等に使用されている。他の厚生連の状況を確認しながら今後運用を決めていく。</li> <li>・一患者が同時に複数科で手術する場合について・・・運用、コスト管理方法が不明瞭であったため明確にした。</li> <li>・神経麻酔関連製品入れ換えについて・・・SPD説明</li> <li>・Wi-Fi アンテナ設置の依頼・・・アンテナが1本しかない。第3手術室は、鉛壁が使用されているので電波状況が悪い。電子カルテがLANケーブルに接続されていて移動範囲に制限がある。設置の有無は、施設科に一任する。</li> </ul>
-------	---

## 医薬品安全管理委員会

### 1. 目的

医薬品の安全使用について協議・検討する。

### 2. 内容

- ① 医薬品の安全使用のための業務手順書に関すること
- ② 各部署での業務手順書の遵守状況に関すること
- ③ 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関すること
- ④ 医薬品安全使用に関する研修に関すること
- ⑤ 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関すること
- ⑥ その他、医薬品の安全管理に関すること

### 3. 委員構成

委員長：副院長

委員：脳神経外科・内科・眼科医師、看護師、放射線技師、医療安全室長、医事課、  
薬剤部（事務局）

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
11月26日	・誤接続防止を目的とした新規格コネクタの導入について

## 医療機器等安全管理委員会

### 1. 目的

この委員会は、医療機器の安全性及び機能維持管理を行うことにより、医療の質向上を図ることを目的とする。

### 2. 内容

- ①医療機器の保守管理に関すること
- ②医療機器の安全確保に関すること

### 3. 委員構成

委員会は、病院長が委託した次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 医師部門 医療安全・感染制御部長
- (2) 協助部門 診療協同部長、各技師長、薬剤部課長、臨床工学技士
- (3) 看護部門 センター看護課長
- (4) 医療安全・感染制御部門 医療安全管理室長
- (5) 事務部門 施設課、エネルギー管理係長

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
5月16日	・委員会規程について
3月30日	・委員会規程について ・機器点検状況について ・研修の実施について ・研修室シュミレーターの追加について

## 院内感染対策委員会

### 1. 目的

院内における微生物の感染予防及び感染症発生時の適切な対応を積極的に行い、院内の衛生管理に万全を期するための審議・決定を行う。

実働的に活動する感染制御チーム（ICT）および抗菌薬適正使用支援チーム（AST）を設置、さらに ICT および AST と連携し、ICT および AST が決めたことについて協議・承認を行い、活動の充実および強化を図る。

### 2. 内容

- 1) 院内感染対策の検討および推進に関すること
- 2) 院内感染防止の対応および原因究明に関すること
- 3) 院内感染等の情報収集および分析に関すること
- 4) 院内感染防止等に関する職員の教育・研修に関すること
- 5) その他、院内感染対策に関すること

### 3. 委員構成

医師（院長を含む）、研修医、薬剤師（薬剤部長を含む）、臨床検査技師（臨床検査技師長を含む）、放射線技師、管理栄養士、理学療法士、看護師（看護部長、医療安全・感染制御室を含む）、事務（事務部長を含む、医事課・施設課より選任）、その他（委員長が必要と認めた者）

※委員長は医師より院長が選出

※事務局は医療安全・感染制御室の看護師

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
4月2日	<ul style="list-style-type: none"><li>・感染症情報報告 MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など</li><li>・針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告</li><li>・JANIS データ報告（検査部門）</li><li>・インフルエンザ発生状況報告</li><li>・AST ラウンド報告</li><li>・抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告</li><li>・院内感染対策全体講演会の研修報告</li></ul>
5月7日	<ul style="list-style-type: none"><li>・感染症情報報告 MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など</li><li>・針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告</li><li>・JANIS データ報告（検査部門）</li><li>・AST ラウンド報告</li><li>・抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告</li><li>・AST 活動報告（まとめ）</li><li>・職員の感染症罹患による就業禁止状況の報告</li></ul>

6月4日	<p>感染症情報報告</p> <p>MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告</li> <li>・ JANIS データ報告（検査部門）</li> <li>・ AST ラウンド報告</li> <li>・ 抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告</li> </ul>
7月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症情報報告</li> </ul> <p>MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告</li> <li>・ JANIS データ報告（検査部門）</li> <li>・ AST ラウンド報告</li> <li>・ 抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告</li> <li>・ 喀痰の抗酸菌兼津について検討、承認 フローチャートの作成</li> <li>・ 特定抗菌薬使用届の改訂案について検討、承認</li> <li>・ 各部門より報告</li> </ul>
8月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症情報報告</li> </ul> <p>MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告</li> <li>・ JANIS データ報告（検査部門）</li> <li>・ AST ラウンド報告</li> <li>・ 抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告</li> <li>・ 第1回 院内感染対策全体講演会の開催について提案、承認</li> <li>・ 針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露の対応と防止対策のマニュアル改訂案 について検討、承認</li> <li>・ 委員会の開催時間等の検討</li> </ul>
9月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症情報報告</li> </ul> <p>MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告</li> <li>・ JANIS データ報告（検査部門）</li> <li>・ AST ラウンド報告</li> <li>・ 抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告</li> <li>・ 指針の改訂案について検討、承認</li> <li>・ アウトブレイク時の対応の改訂案について検討、承認</li> <li>・ 感染症届出の改訂案について検討、承認</li> <li>・ 相互ラウンドについての提案、承認</li> <li>・ 各部門より連絡</li> </ul>

10月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症情報報告 MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など</li> <li>・針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告</li> <li>・JANIS データ報告（検査部門）</li> <li>・AST ラウンド報告</li> <li>・抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告</li> <li>・インフルエンザ出席停止期間についての検討、承認</li> <li>・各部門よりの連絡</li> </ul>
11月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症情報報告 MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など</li> <li>・針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告</li> <li>・JANIS データ報告（検査部門）</li> <li>・AST ラウンド報告</li> <li>・抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告</li> <li>・院内感染対策全体講演会の研修報告</li> <li>・相互ラウンドの評価報告</li> <li>・8病院比較の手指衛生サーベイランスデータ報告</li> <li>・各部門より連絡</li> </ul>
12月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症情報報告 MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など</li> <li>・針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告</li> <li>・JANIS データ報告（検査部門）</li> <li>・AST ラウンド報告</li> </ul>
1月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症情報報告 MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など</li> <li>・針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告</li> <li>・JANIS データ報告（検査部門）</li> <li>・AST ラウンド報告</li> <li>・抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告</li> <li>・インフルエンザの発生状況について報告</li> <li>・抗菌薬適正使用マニュアル改訂案の検討、承認</li> <li>・各部門より連絡</li> </ul>
2月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症情報報告 MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など</li> <li>・針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告</li> <li>・JANIS データ報告（検査部門）</li> <li>・AST ラウンド報告</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告</li> <li>・インフルエンザ発生状況について報告</li> <li>・感染症罹患患者の入院基準案について検討、承認</li> <li>・新型コロナウイルス感染症に対応した医療体制について検討、承認</li> </ul>
臨時 2月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症に対する病院の方針について （情報共有および検討）</li> <li>帰国者・接触者外来について</li> <li>入院の受け入れについて</li> <li>外来診療について</li> <li>診療等に関する問い合わせについて</li> <li>病棟の食堂利用について</li> <li>入院患者の健康管理</li> <li>職員の健康管理について</li> <li>面会について</li> <li>情報の周知について 等</li> </ul>
3月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症情報報告</li> <li>MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など</li> <li>・針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告</li> <li>・JANIS データ報告（検査部門）</li> <li>・AST ラウンド報告</li> <li>・抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告</li> <li>・インフルエンザ発生状況について報告</li> <li>・第2回 院内感染対策全体講演会の開催について提案、承認</li> <li>・新型コロナウイルス感染床症の院内感染対策について （情報共有および検討）</li> </ul>

## 5. 院内教育

全職員対象研修会（2回／年 開催）

### 1) 第1回 院内感染対策全体講演会

日時：2019年10月11日（木）17：30～18：30

内容：抗菌薬適正使用と感染対策

### 2) 第2回 院内感染対策全体講演会（e-ラーニング）

日時：2020年3月24日～3月31日

内容：新型コロナウイルス感染床の現状と対策

～水際対策から感染症延期に移行するときの注意点～

## 輸血療法委員会

### 1. 目的

厚労省「輸血療法の適正化に関するガイドライン」に従い、適正な輸血療法を推進する。

### 2. 内容

- ①血液製剤の使用状況発信
- ②血液製剤および輸血療法に関する協議
- ③その他の輸血関連検査および副作用に関する事
- ④輸血事故防止に関する事
- ⑤血液製剤適及調査に関する事

### 3. 委員構成

委員長：整形外科部長

委員：内科医師1名、産婦人科医師1名、病棟看護師1名、手術室看護師1名、  
外来看護師1名、薬剤師1名、医事課1名、臨床検査技師2名

事務局：臨床検査技術科

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
5月29日	<ul style="list-style-type: none"><li>・血液製剤使用状況</li><li>・輸血運用トラブルについて</li><li>・輸血副作用報告</li><li>・血液センター「血液製剤の使用指針」一部変更について</li><li>・事例紹介「Rh陰性の血小板減少患者に対してRH陽性の血小板輸血を実施事例」</li><li>・他院のRH陰性血オーダーについて</li><li>・自己血輸血の検査について</li><li>・院内在庫単位数見直しについて</li></ul>
7月31日 (文書開催)	<ul style="list-style-type: none"><li>・血液製剤使用状況</li><li>・輸血運用トラブルについて</li><li>・輸血副作用報告</li></ul>
9月24日	<ul style="list-style-type: none"><li>・血液製剤使用状況</li><li>・輸血運用トラブルについて</li><li>・輸血副作用報告</li><li>・血液センターからの輸血情報（非溶血性副作用について）</li><li>・「血液製剤の使用指針」2019年3月版について</li></ul>
11月26日 (文書開催)	<ul style="list-style-type: none"><li>・血液製剤使用状況</li><li>・輸血運用トラブルについて</li><li>・輸血副作用報告について</li></ul>

<p>1月28日 (文書開催)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血液製剤使用状況</li> <li>・輸血運用トラブルについて</li> <li>・輸血副作用報告について</li> <li>・輸血方法（加温する必要のある輸血について）</li> </ul>
<p>3月24日 (文書開催)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血液製剤使用状況</li> <li>・輸血運用トラブルについて</li> <li>・輸血副作用報告について</li> <li>・2020年度へ向けて検討課題提示</li> </ul>

## 臨床検査適正化委員会

### 1. 目的

臨床検査の適切な活用、質、精度の向上をめざす。

### 2. 内容

- ①臨床検査に関する状況報告と対策
- ②検査項目の導入および廃止等に関する協議
- ③その他、臨床検査に関する承認・決議

### 3. 委員構成

委員長：医師（内科部長）

委員：診療協同部長、臨床検査技術科 係長 3 名、医事課 1 名

事務局：臨床検査技術科 技師長

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
5月21日	<ul style="list-style-type: none"><li>・2018年度臨床検査技術科稼働実績報告</li><li>・2019年度臨床検査技術科固定資産取得予定について</li><li>・2019年度臨床検査技術科取組み事項（部署目標）について</li><li>・臨床検査技術科検査項目院内導入について</li><li>・臨床検査技術科試薬変更について</li></ul>
9月30日	<ul style="list-style-type: none"><li>・臨床検査技術科稼働実績報告（4月～8月）</li><li>・臨床検査技術科来年度の採用人事について</li><li>・臨床検査技術科新規採用項目について</li><li>・臨床検査技術科患者単価増収への取組みについて</li><li>・生化学・免疫検査項目基準値変更について</li></ul>
11月25日	<ul style="list-style-type: none"><li>・臨床検査技術科稼働実績報告（4月～10月）</li><li>・生化学・免疫検査項目基準値変更について</li><li>・臨床検査技術科試薬変更について</li><li>・薬物血中濃度基準値の併記について</li><li>・トロポニンI単位・基準値変更について</li></ul>
2月17日	<ul style="list-style-type: none"><li>・臨床検査技術科稼働実績報告（4月～1月）</li><li>・令和02年度臨床検査技術科固定資産取得予定について</li><li>・臨床検査技術科試薬・材料変更について</li><li>・一酸化窒素検査院内導入について</li><li>・血液ガス分析装置機種変更について</li></ul>

## 化学療法委員会

### 1. 目的

化学療法の安全かつ適正な運用を図り、医療内容の向上に寄与する。

### 2. 内容

- ①新規レジメンの検討
- ②レジメン改訂の検討
- ③化学療法の安全かつ適正な運用の検討

### 3. 委員構成

医師 4 名、看護師 3 名、薬剤師 2 名

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
7 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来化学療法の運用手順書、チェックリストの承認報告</li> <li>・血管外漏出時の対策表改訂</li> <li>・抗癌剤採用薬変更に伴うレジメン修正作業報告            ファルモルピシン RTU 注射液 50mg→エピルピシン注射液 50mg            ファルモルピシン RTU 注射液 10mg→エピルピシン注射液 10mg            内科 23 EM 療法（肝癌）            外科 03 EC 療法（乳癌）            外科 07 FEC 療法（乳癌）</li> </ul>
3 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レジメン登録承認            内科 43 ベクティビックス+ mFOLFOX6 療法（大腸癌）            内科 44-1 mFOLFIRINOX 療法インフューザー（膵癌）            内科 44-2 mFOLFIRINOX 療法（膵癌）            内科 45 CDDP+ETP 療法（小細胞肺癌）            内科 46 ネダプラチン+5-FU 療法（食道癌）            婦人科 18 キイトルーダ療法（MSI-High 固形癌）            婦人科 19 PLD+アバスチン療法（卵巣癌）            泌尿器科 10 オプジーボ療法（腎癌）            （修正）内科 20 CBDCA+ETP 療法（小細胞肺癌）</li> <li>・抗癌剤採用薬変更に伴うレジメン修正作業報告            トポテシン注射液100mg → カンプト注射液100mg            トポテシン注射液40mg → カンプト注射液40mg            内科 03 CPT-11+CDDP 療法            内科 09 CPT-11+CDDP 療法            内科 10-1 FOLFIRI 療法（インフューザー）            内科 10-2 FOLFIRI 療法            内科 17-1 アバスチン+FOLFIRI 療法（インフューザー）</li> </ul>

内科 26-1	アービタックス+FOLFIRI 療法 (初回)
内科 26-2	アービタックス+FOLFIRI 療法 (維持)
内科 29	CPT-11 療法
内科 31	CPT-11+S-1 療法
内科 35	ベクティビックス+FOLFIRI 療法
内科 44-1	mFOLFIRINOX 療法 (インフューザー)
内科 44-2	mFOLFIRINOX 療法
外科 02-1	CPT-11 療法
外科 02-2	CPT-11 療法
外科 09	RPMI+CPT-11 療法
外科 12-1	FOLFIRI 療法 (インフューザー)
外科 12-2	FOLFIRI 療法
外科 17	CPT-11+CDDP 療法
外科 22	アバスチン+FOLFIRI 療法 (インフューザー)
外科 23	IRIS 療法
外科 29-1	アービタックス+FOLFIRI 療法 (初回)
外科 29-2	アービタックス+FOLFIRI 療法 (維持)
外科 32-1	アービタックス+CPT-11 療法 (初回)
外科 32-2	アービタックス+CPT-11 療法 (維持)
外科 36-1	ハーセプチン+CPT-11 療法 (初回)
外科 36-2	ハーセプチン+CPT-11 療法 (維持)
外科 41	ベクティビックス+FOLFIRI 療法
外科 42	SIRB 療法
外科 45	FOLFIRINOX 療法
外科 60	ベクティビックス+CPT-11 療法
外科 61	ザルトラップ+FOLFIRI 療法
産婦人科 05	CPT-11 療法 A 法
産婦人科 06	CPT-11+DTX 療法

新規レジメン緊急承認のためのメール開催

2019年5月9日、2019年8月2日、2019年8月8日、2019年12月11日  
2020年1月31日

## 放射線科運営委員会

### 1. 目的

放射線業務運営に関する事項を協議し、円滑な放射線検査体制の確立を推進すること。

### 2. 内容

- ①放射線業務運営に関すること
- ②放射線医療システムに関すること
- ③各診療科との連携に関すること

### 3. 構成委員

放射線科医師（委員長）、年度初めに管理職にて選任された医師、来看護課長、第3外来看護係長、診療協同部長、医事課代表、施設課代表、放射線科技師長（事務局）、その他（委員長が必要と認めた者）

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
6月17日 (文書開催)	<ul style="list-style-type: none"><li>・2018年度業務実績について</li><li>・2018年度高額医療機器共同利用実績について</li><li>・2018年度放射線医療機器点検実績および、2019年度点検計画について</li><li>・2019年度固定資産（高額医療機器）購入機器について</li><li>・放射線科運営委員会規程変更について</li></ul>
10月3日	<ul style="list-style-type: none"><li>・腎障害患者におけるヨード造影剤使用に関するガイドライン改定に伴い、造影剤検査方法の変更について</li><li>・次回開催内容について（医療法施行規則の一部改正）</li><li>・2019年度上半期業務実績について</li><li>・2019年度上半期機器点検状況について</li><li>・2019年度固定資産（高額医療機器）取得計画について</li></ul>

## NST 委員会

### 1. 目的

稲沢厚生病院のすべての患者を対象に、栄養状態を評価し、栄養不良が認められた場合には統一した基準で稲沢厚生病院栄養サポートチーム（以下NSTという：Nutrition Support Team）が栄養管理を実施する。

### 2. 内容

- ①NST 関連学会・研究会における発表および報告
- ②小チーム編成による活動および報告
- ③NST 回診に関すること

### 3. 委員構成

- 委員長：内科医師  
副委員長：内科医師 <TNT 医師>  
委員：外科医師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、  
管理栄養士 3 名、薬剤師、看護師 8 名、事務員 2 名

### 4. 開催日および活動内容

開催日	活動内容
4 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"><li>○学会関連 3/23 第 9 回栄養管理指導者協議会学術集会 於：東京 発表報告</li><li>○企画・運営部門<ul style="list-style-type: none"><li>・6/25 NST 院内全体講演会準備「食事におけるポジショニング(仮)」</li><li>・血清アルブミン値の集計基準に基づいた結果報告</li></ul></li><li>○実践部門<ul style="list-style-type: none"><li>【NST 活動を活性化するチーム】<ul style="list-style-type: none"><li>・NST 回診人数報告</li><li>・血清アルブミン値の集計の検討</li><li>・経腸栄養ポンプの使用状況の確認</li><li>・NST ラウンドへの患者抽出に関する課題の検討</li></ul></li><li>【誤嚥性肺炎を予防するチーム】<ul style="list-style-type: none"><li>・摂食嚥下機能判定用紙の運用変更後の確認</li><li>・ポジショニングラウンドの実施報告</li><li>・食具の管理について</li></ul></li></ul></li><li>○その他<ul style="list-style-type: none"><li>・NST 活動の運用の変更（委員会開催日、回診日、NST 委員）</li><li>・小チーム編成活動名称変更 誤嚥性肺炎を予防するチーム→摂食・嚥下チーム</li></ul></li></ul>

<p>5月16日</p>	<p>○学会関連  5/25 第31回愛知NST研究会</p> <p>○企画・運営部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6/25 NST院内全体講演会準備 「食事におけるポジショニング」  講師：飯沼知夫氏</li> <li>・血清アルブミン値の集計基準に基づいた結果報告</li> </ul> <p>○実践部門</p> <p><b>【NST活動活性化チーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NST回診人数報告</li> <li>・血清アルブミン値の集計の検討</li> <li>・経腸栄養ポンプの使用状況の確認</li> <li>・NSTラウンドへの患者抽出に関する課題の検討</li> </ul> <p><b>【摂食・嚥下チーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食嚥下機能判定用紙運用報告</li> <li>・ポジショニングラウンドの実施報告</li> <li>・食具の管理について</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とろみ付けの用具の交換について</li> </ul>
<p>6月20日</p>	<p>○学会関連  7/13~7/14 日本在宅栄養管理学会発表 於：東京 発表予定</p> <p>○企画・運営部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6/25 NST院内全体講演会準備 「食事におけるポジショニング」  講師 飯沼知夫氏</li> <li>・血清アルブミン値の集計基準に基づいた結果報告</li> </ul> <p>○実践部門</p> <p><b>【NST活動活性化チーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NST回診人数報告</li> <li>・血清アルブミン値の集計の検討</li> <li>・経腸栄養ポンプの使用状況の確認</li> <li>・NSTラウンドへの患者抽出に関する課題の検討</li> </ul> <p><b>【摂食・嚥下チーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食嚥下機能判定用紙運用報告</li> <li>・ポジショニングラウンドの実施報告</li> <li>・食具の管理について 食具等確認を行うようになった経緯</li> </ul>

7月18日	<p>○学会関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/13~7/14 日本在宅栄養管理学会発表 於：東京 発表報告</li> <li>・7/27~7/28 第3回 Medical Nutritionist セミナー 於：滋賀</li> </ul> <p>○企画・運営部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6/25 NST 院内全体講演会結果報告「食事におけるポジショニング」 講師 飯沼知夫氏</li> <li>・血清アルブミン値の集計基準に基づいた結果報告</li> </ul> <p>○実践部門</p> <p><b>【NST 活動活性化チーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NST 回診人数報告</li> <li>・血清アルブミン値の集計の検討</li> <li>・経腸栄養ポンプの使用状況の確認</li> <li>・NST ラウンドへの患者抽出に関する課題の検討</li> </ul> <p><b>【摂食・嚥下チーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食嚥下機能判定用紙運用報告</li> <li>・ポジショニングラウンドの実施報告</li> <li>・食具の管理について</li> </ul>
8月22日	<p>○学会関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8/23~8/24 日本褥瘡学会 於：京都 参加予定</li> <li>・9/6~9/7 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 於：新潟 発表予定</li> </ul> <p>○企画・運営部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月委員会にて経腸栄養剤イノラス®情報提供企画</li> <li>・12月全体講演会の内容を検討</li> <li>・血清アルブミン値の集計基準に基づいた結果報告</li> </ul> <p>○実践部門</p> <p><b>【NST 活動活性化チーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NST 回診人数報告</li> <li>・血清アルブミン値の集計の検討</li> <li>・経腸栄養ポンプの使用状況の確認</li> <li>・NST ラウンドへの患者抽出に関する課題の検討</li> </ul> <p><b>【摂食・嚥下チーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食嚥下機能判定用紙運用報告</li> <li>・ポジショニングラウンドの実施報告</li> <li>・食具の管理について</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議進行の円滑を図るための提案 アプリの活用の検討</li> <li>・売店のアクアソリタ販売</li> </ul>

<p>9月19日</p>	<p>○学会関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9/6～9/7 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 於：新潟 発表報告</li> </ul> <p>○企画・運営部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経腸栄養剤イノラス®情報提供</li> <li>・12月全体講演会の内容を検討</li> <li>・血清アルブミン値の集計基準に基づいた結果報告</li> </ul> <p>○実践部門</p> <p><b>【NST活動活性化チーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NST回診人数報告</li> <li>・血清アルブミン値の集計の検討</li> <li>・経腸栄養ポンプの使用状況の確認</li> <li>・NSTラウンドへの患者抽出に関する課題の検討</li> </ul> <p><b>【摂食・嚥下チーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食嚥下機能判定用紙運用報告</li> <li>・ポジショニングラウンドの実施報告</li> <li>・食具の管理について</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバー交代 東2階病棟 川下Ns→石井Ns</li> <li>・会議進行の円滑を図るための提案 アプリの活用の検討 Slack もしくは Microsoft Teams を一部のメンバーで試験運用検討</li> <li>・NST認定稼働施設更新申請準備</li> </ul>
<p>10月16日</p>	<p>○企画・運営部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月全体講演会はNST委員による活動内容報告を検討</li> <li>・血清アルブミン値の集計基準に基づいた結果報告</li> </ul> <p>○実践部門</p> <p><b>【NST活動活性化チーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NST回診人数報告</li> <li>・血清アルブミン値の集計の検討</li> <li>・経腸栄養ポンプの使用状況の確認</li> <li>・NSTラウンドへの患者抽出に関する課題の検討</li> </ul> <p><b>【摂食・嚥下チーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食嚥下機能判定用紙運用報告</li> <li>・ポジショニングラウンドの実施報告</li> <li>・食具の管理について</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバー交代 外科青山医師→退職、検査科中島臨床検査技師→久保田臨床検査技師</li> <li>・NST認定稼働施設の更新申請</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議進行の円滑を図るための提案 アプリの活用の検討</li> <li>・経腸栄養剤メディエフが 2020 年 3 月をもって終売 メディエフの代替品を検討</li> </ul>
11 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学会関連 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1/24～26 日本病態栄養学会 於：京都 参加予定</li> <li>・2/27～28 日本臨床栄養代謝学会 於：京都 発表予定</li> </ul> </li> <li>○企画・運営部門 <ul style="list-style-type: none"> <li>・12 月全体講演会は NST 委員による活動内容報告で準備</li> <li>・血清アルブミン値の集計基準に基づいた結果報告</li> </ul> </li> <li>○実践部門 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>【NST 活動活性化チーム】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NST 回診人数報告</li> <li>・血清アルブミン値の集計の検討</li> <li>・経腸栄養ポンプの使用状況の確認</li> <li>・NST ラウンドへの患者抽出に関する課題の検討</li> </ul> </li> <li><b>【摂食・嚥下チーム】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食嚥下機能判定用紙運用報告</li> <li>・ポジショニングラウンドの実施報告</li> <li>・食具の管理について</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・経腸栄養剤メディエフが 2020 年 3 月をもって終売 メディエフの代替品をアイソカルサポート 1.0 に決定 メディエフ 200kcal 以下とアイソカルサポート 300kcal 以上の運用決定</li> <li>・PMDA 医療安全情報 誤接続防止コネクタの導入について</li> <li>・会議進行の円滑を図るための提案 アプリの活用の検討</li> </ul> </li> </ul>

12月19日	<p>○学会関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1/24～26 日本病態栄養学会 於：京都 参加予定</li> <li>・2/27～28 日本臨床栄養代謝学会 於：京都 発表予定</li> </ul> <p>○企画・運営部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月全体講演会終了、次回結果報告</li> <li>・血清アルブミン値の集計基準に基づいた結果報告</li> </ul> <p>○実践部門</p> <p><b>【NST 活動活性化チーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NST 回診人数報告</li> <li>・血清アルブミン値の集計の検討</li> <li>・経腸栄養ポンプの使用状況の確認</li> <li>・NST ラウンドへの患者抽出に関する課題の検討</li> </ul> <p><b>【摂食・嚥下チーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食嚥下機能判定用紙運用報告</li> <li>・ポジショニングラウンドの実施報告</li> <li>・食具の管理について</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバー交代 内科 佐橋医師→退職</li> <li>・経腸栄養剤メディエフが2020年3月をもって終売 医局会で周知、次回委員会にて栄養剤の切り替えスケジュールを提示</li> <li>・会議進行の円滑を図るための提案 アプリの活用の検討</li> </ul>
1月16日	<p>○学会関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1/24～26 日本病態栄養学会 於：京都 参加予定</li> <li>・2/27～28 日本臨床栄養代謝学会 於：京都 発表予定</li> </ul> <p>○企画・運営部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月全体講演会結果報告</li> <li>・血清アルブミン値の集計基準に基づいた結果報告</li> </ul> <p>○実践部門</p> <p><b>【NST 活動活性化チーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NST 回診人数報告</li> <li>・血清アルブミン値の集計の検討</li> <li>・経腸栄養ポンプの使用状況の確認</li> <li>・NST ラウンドへの患者抽出に関する課題の検討</li> </ul> <p><b>【摂食・嚥下チーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食嚥下機能判定用紙運用報告</li> <li>・ポジショニングラウンドの実施報告</li> <li>・食具の管理について</li> </ul> <p>○その他</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経腸栄養剤メディエフが2020年3月をもって終売 3/3朝より濃厚流動食のオーダー変更予定。</li> <li>・会議進行の円滑を図るための提案 アプリの活用の検討</li> </ul>
2月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学会関連 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2/27~28 日本臨床栄養代謝学会 於：京都 発表予定</li> </ul> </li> <li>○企画・運営部門 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度NST全体講演会の検討 6月企業協賛と12月NST委員による発表にて実施。</li> <li>・血清アルブミン値の集計基準に基づいた結果報告</li> </ul> </li> <li>○実践部門 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>【NST活動活性化チーム】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NST回診人数報告</li> <li>・血清アルブミン値の集計の検討</li> <li>・経腸栄養ポンプの使用状況の確認</li> <li>・NSTラウンドへの患者抽出に関する課題の検討</li> </ul> </li> <li><b>【摂食・嚥下チーム】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食嚥下機能判定用紙運用報告</li> <li>・ポジショニングラウンドの実施報告</li> <li>・食具の管理について</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・経腸栄養剤メディエフが2020年3月をもって終売 3/3朝より濃厚流動食のオーダー変更予定。</li> <li>・会議進行の円滑を図るための提案 アプリの活用の検討</li> <li>・コロナウイルスによる感染予防</li> <li>・栄養に関する診療報酬改訂</li> </ul> </li> </ul>
3月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学会関連 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2/27~28 日本臨床栄養代謝学会 於：京都 開催中止</li> </ul> </li> <li>○企画・運営部門 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度NST全体講演会企画 6月クリニコ協賛で飲水物のとろみ付けの実演と飲水体験を企画</li> <li>・血清アルブミン値の集計基準に基づいた結果報告</li> </ul> </li> <li>○実践部門 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>【NST活動活性化チーム】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NST回診人数報告</li> <li>・血清アルブミン値の集計の検討</li> <li>・経腸栄養ポンプの使用状況の確認</li> <li>・NSTラウンドへの患者抽出に関する課題の検討</li> </ul> </li> <li><b>【摂食・嚥下チーム】</b></li> </ul> </li> </ul>

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・摂食嚥下機能判定用紙運用報告</li><li>・ポジショニングラウンドの実施報告</li><li>・食具の管理について</li></ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・経腸栄養剤メディエフが 2020 年 3 月をもって終売<br/>3/3 朝に食事オーダーを変更済み。</li><li>・会議進行の円滑を図るための提案 アプリの活用の検討</li><li>・2020 年度 NST 委員の変更<br/>内科 式守医師加入、西 3 階病棟武田看護師→委員未定<br/>栄養科 森管理栄養士 異動→委員検討中</li></ul> |
|---|

## 栄養管理委員会

### 1. 目的

病院食の質の向上と入院患者の適切な栄養管理を行うこと

### 2. 内容

- ①給食運営に関すること
- ②喫食嗜好調査結果の報告
- ③病院食におけるヒヤリ・ハット内容の把握

### 3. 委員構成

医師	2名
診療協同部長	1名
事務管理室長	1名
各病棟看護課長	5名
管理栄養士	2名
調理師	2名

### 4. 開催日および活動内容

開催日：2019年4月22日、7月22日、10月28日、2020年1月21日の4回開催

開催日	活動内容
4月22日	<ul style="list-style-type: none"><li>・病院食ヒヤリ・ハットの内容と件数報告（1～3月分）</li><li>・下膳について夕食下膳時間変更に伴う問題点の把握</li><li>・口腔ケア用コップの使用状況と配膳の運用について確認</li><li>・食物アレルギーの運用と課題の検討</li><li>・委員会開催日程の確認</li></ul>
7月22日	<ul style="list-style-type: none"><li>・病院食ヒヤリ・ハットの内容と件数、選択メニュー実施件数報告（4～6月分）</li><li>・6月嗜好調査結果報告</li><li>・夕食下膳時間について病棟との調整（早朝の回収を中止）</li><li>・食物アレルギーの運用と課題の検討</li><li>・リカバリー室誤配膳の対応について</li><li>・朝の電話連絡に関する対応の検討</li><li>・賄い食の収支に関する検討</li></ul>
10月28日	<ul style="list-style-type: none"><li>・病院食ヒヤリ・ハットの内容と件数、選択メニュー実施件数報告（7～9月分）</li><li>・食物アレルギーの運用と課題の検討</li><li>・収支を鑑みた食品管理の検討</li><li>・食事の置き置き時間について</li><li>・食事オーダ運用マニュアル（締め切り時間以降への電話連絡）について</li></ul>

1月21日	<ul style="list-style-type: none"><li>・病院食ビヤリ・ハットの内容と件数、選択メニュー実施件数報告（10～12月分）</li><li>・11月嗜好調査結果報告</li><li>・食物アレルギーの運用開始日決定（4月10日）</li><li>・収支を鑑みた食品管理の検討</li><li>・温冷配膳車からの食事の抜き間違いによるリスク防止の検討</li></ul>
-------	--

## スキンケア委員会

### 1. 目的

ストーマをはじめ褥瘡などスキンケアの予防・対策・検討及び部署への啓蒙活動を行い、質の高い看護を提供していくことを目的とする。

### 2. 内容

- ①ストーマ外来受診患者の報告と、褥瘡患者の発症報告・有症報告を行って褥瘡患者の把握を行う。
- ②発生した褥瘡のついてのリスクや治療経過、治療内容、今後の対策について報告。
- ③毎週水曜日に褥瘡回診を行い医師・看護師・栄養士がラウンドし、その場で使用薬剤や栄養面について検討する。
- ④薬剤師は、当院で採用されている薬剤の使用方法についての情報提供や勉強会開催、材料の請求と管理方法などを啓蒙する。

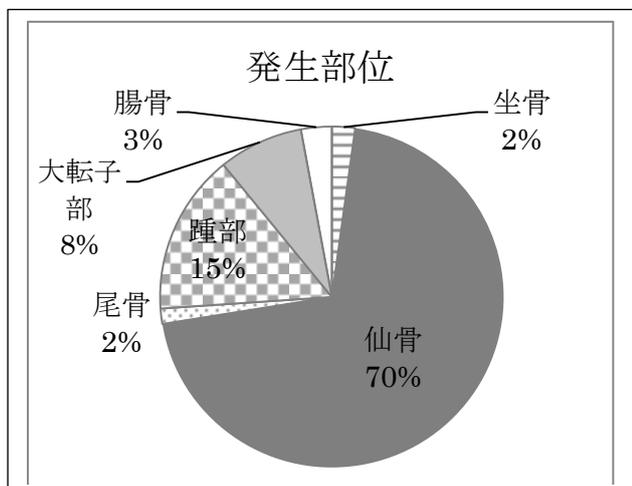
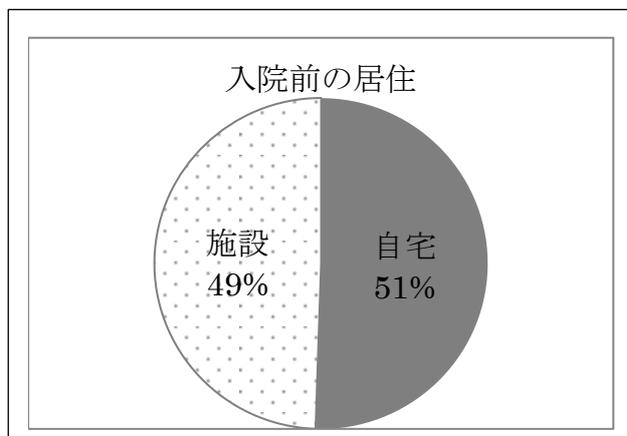
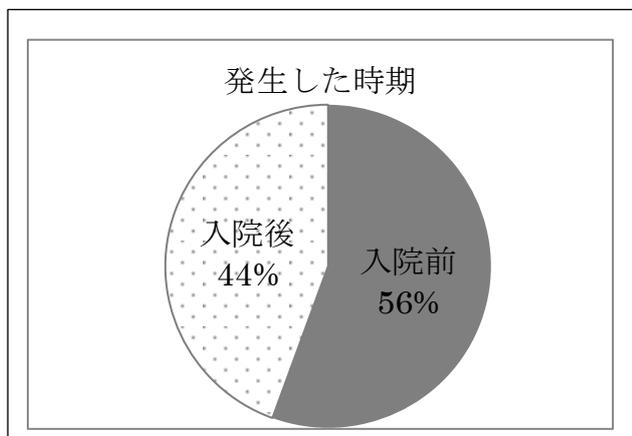
### 3. 委員構成

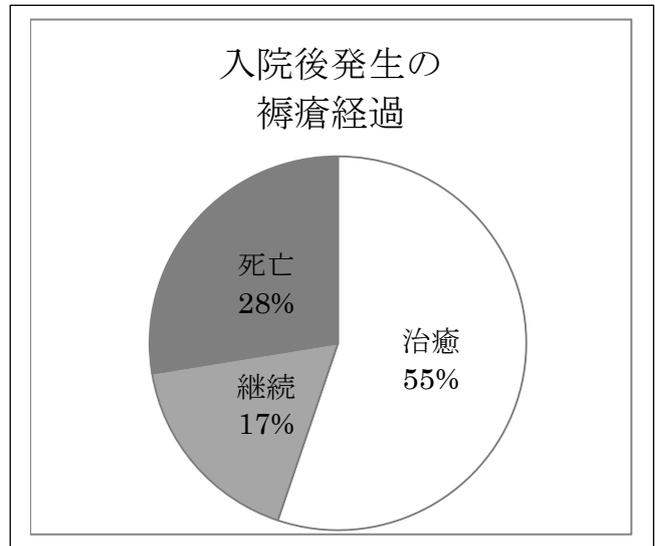
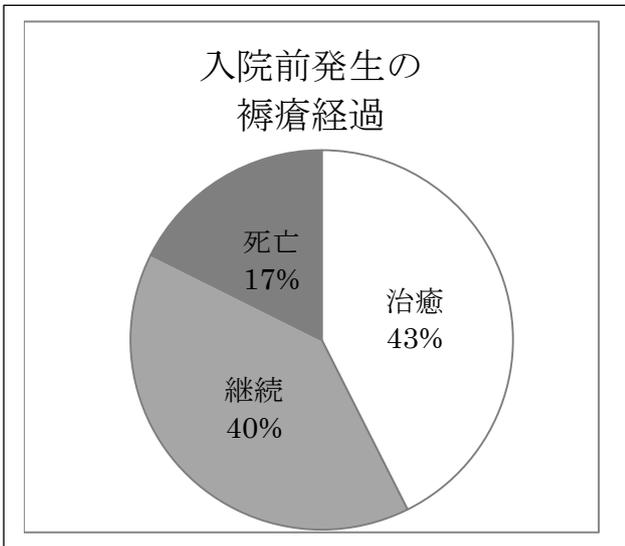
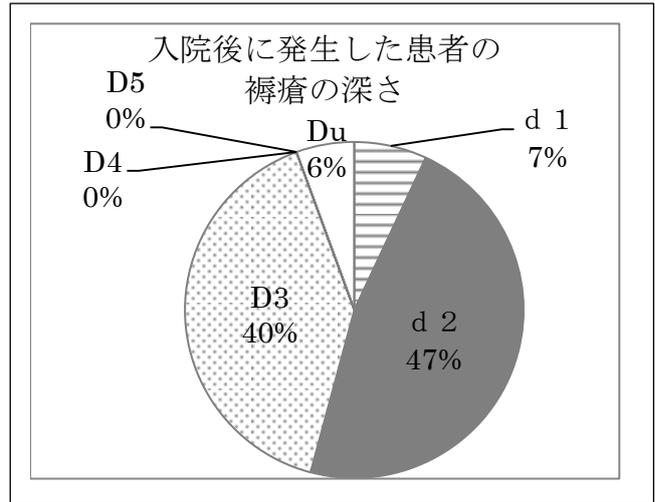
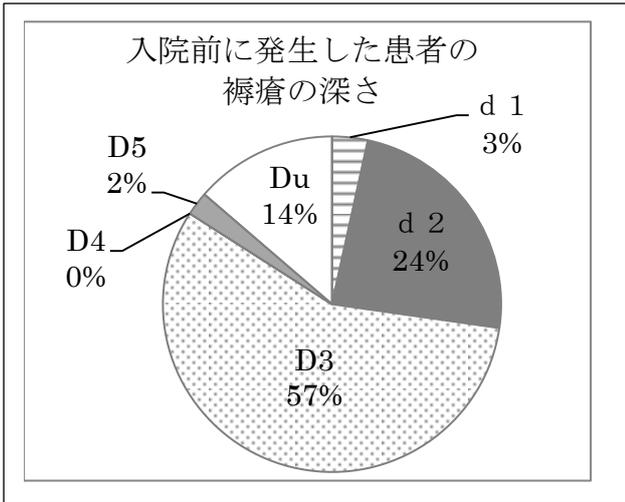
外科医師 皮膚科医師 薬剤師 栄養士 皮膚排泄ケア認定看護師 各病棟看護師 外来看護師  
手術室看護師（小委員会のみ）

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
4月3日	・褥瘡状況報告 ・院内エアマットリスト作成 院内のエアマットを有効活用できるよう啓蒙 ・パラマウントよりマットのデモ機「エバープラウド」説明 ・ライフリーよりリハビリパンツの紹介
5月1日	・褥瘡状況報告 ・マット調査（5/28実施）注意事項説明 ・マットのデモ機「エバープラウド」の評価 ・「見直そう排泄ケア」勉強会
6月5日	・褥瘡状況報告 ・マット調査（5/28実施）注意事項説明 ・マットのデモ機「エバープラウド」の評価 ・「見直そう排泄ケア」勉強会
7月3日	・褥瘡調査報告 ・エバープラウドについて 構造、使用方法の共有 ・灌流式 VAC 療法についての勉強会 ・MDRPU について勉強会
8月7日	・褥瘡調査報告 ・褥瘡の看護記録への記載方法 ・スキンケア予防のための栄養管理

9月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡調査報告</li> <li>・スキンテア発生件数中間報告</li> <li>・テープの正しい剥がし方、保湿剤塗布の必要性</li> </ul>
10月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡調査報告</li> <li>・マットの取扱い方法</li> </ul>
11月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡調査報告</li> <li>・正しいポジショニング方法 エバープラウドの管理方法</li> </ul>
12月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡調査報告</li> <li>・テープの紹介「ココロール」</li> </ul>
1月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡調査報告</li> <li>・褥瘡発生の原因について各部署の傾向の共有</li> <li>・モイスチャーチェッカーの使用方法</li> </ul>
2月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡調査報告</li> <li>・皮膚乾燥が原因となったリスクの共有</li> </ul>
3月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡調査報告</li> <li>・尿取りパットの正しい使用方法について</li> <li>・各部署からの褥瘡発生原因のアセスメントの報告</li> </ul>





## クリティカルパス・EBM 委員会

### 1. 目的

インフォームドコンセントの理念に基づいた医療の提供、医療・ケアの提供及び質の向上、計画的な業務調整・物品管理、病床運用の効率化、チーム医療の標準化について、スタッフが協同して医療に取り組めることを目的とする。

### 2. 内容

- ①クリティカルパス作成に関して注目する疾患・検査を提案して決定する
- ②現状使用しているものの使用状況と評価をしていく
- ③医療・ケアの提供や介入の結果を評価する
- ④看護記録の簡略化を検討する

### 3. 委員構成

委員長 : 産婦人科部長

事務局 : 看護部

委員 : 内科医師、整形外科医師、薬剤部、臨床検査技術科、放射線技術科、リハビリテーション技術科、栄養科、医療福祉連携室、看護部、医事課、診療情報課

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
5月20日	・委員メンバー紹介 ・今年度の委員会目標、各部門目標の確認 ・前月のクリティカルパス適用退院患者、パスの修正公開について
10月21日	・前月のクリティカルパス適用退院患者、パスの修正公開について ・各部門目標の中間評価を行う ・他院のクリティカルパス委員の活動を参考に当委員会の活動について検討し、現行通り毎月開催となった。
11月18日	・前月のクリティカルパス適用退院患者について ・パスの修正、新規パス作成公開について ・各部門目標の中間評価を行う
3月16日	・前月のクリティカルパス適用退院患者、パスの修正公開について ・2018年度の委員会目標・各部門目標の最終評価 ・2020年度メンバー変更について

## 救急医療委員会

### 1. 目的

救急医療に関する事項を協議し、円滑な救急体制の確立を推進し、プレホスピタルを含めた救急医療の充実を図ることを目的とする。

### 2. 内容

- ①救急医療システムに関すること
- ②救急隊との連携に関すること
- ③救急医療の院内、院外教育に関すること
- ④虐待問題に関すること（虐待部会にて検討し、救急医療委員会へ報告）

### 3. 委員構成

- ①診療部門
- ②診療協助部門
- ③看護部門
- ④事務部門
- ⑤委員長が必要と認めた者

### 4. 開催日と活動内容

隔月第二火曜日

開催日	活動内容
5月21日	・4月23日（火）栄養科におけるコード救急事例について検証 ・救急救命士実習について 資格を有する救急隊員の病院実習による再教育8名 5/17～11/19までの3日間 ・救急カート内の物品の定数について検討
6月3日	・普通救命講習会開催（新人看護師・ケアワーカー）
7月16日	・委員会開催時間の変更 次回より16:30から開始 ・経鼻エアウェイの使用について検討
8月19日	・第4回救急搬送症例検討会開催（稲沢市消防署12名・当院73名参加）
9月17日	・11月のコード救急招集訓練の開催について検討 ・救急カート内の物品の定数表の承認（病棟用・外来用）
10月5日	・普通救命講習会開催（15名参加）
11月19日	・コード救急招集訓練の開催 南館3F健康管理センターで実施 50名参加 ・年末年始の当直体制について検討
1月21日	・年末年始の当直状況報告
2月21日	・第5回救急搬送症例検討会開催（稲沢市消防署8名・当院24名参加）
3月17日	・救急カート内のアダラートカプセルについて検討 ・事務職員用の特にトリアージが必要な症状についてリーフレットを作成

## SPD 委員会

### 1. 目的

供給室 (SPD) に関連することを審議する。

### 2. 内容

- ①物品の選定・モニター
- ②運用規程
- ③資材委員会への申請

### 3. 委員構成

委員長：内科医師

委員：副看護部長、看護課長、看護係長

臨床工学技術科技師長、施設課員、薬剤部供給室長(事務局)、放射線技術科課長

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
5月14日	・粘着性包帯の提案 ・検診用ロールシーツの提案
9月10日	・心電図電極の提案
1月14日	・ペーパータオルの提案 ・吸水シーツの提案

## 固定資産選定委員会

### 1. 目的

事業年度における高額な固定資産（器械・備品・車輛）取得要望品を適正に審議し、効率的に固定資産取得を行なうことを目的とする。

### 2. 内容

① 定資産の取得に関する事項

### 3. 委員構成

院長・副院長・診療協同部長・薬剤部長・看護部長・事務部長・放射線技術科技師長  
臨床検査技術科技師長・臨床工学技術科技師長・企画室長・医療情報室長・施設課員  
事務局：施設課

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
12月20日	・2019年度固定資産取得結果について ・2020年度固定資産取得予定（案）について

## 認知症ケア委員会

### 1. 目的

認知症による行動・心理症状や意思疎通の困難さが見られ、身体疾患の治療への影響が見込まれる患者に対し、専門知識を有した多職種スタッフが適切に対応することで、認知症症状の悪化を予防し、身体疾患の治療を円滑に進め、安心できる療養生活を提供することを目的とする。

### 2. 内容

- ①マニュアルを作成し院内配布する。(身体拘束の実施基準、鎮静を目的とした薬物の適性使用について記載する。定期的にマニュアルの見直しを行う)
- ②患者に関わる職員を対象とした研修を定期的を開催する。
- ③依頼があった患者の入院病棟を認知症ケアチームがラウンドする。
- ④カルテを閲覧し、病棟の看護師とカンファレンスを行う。
- ⑤カンファレンス内容、提供をカルテに記載する。
- ⑥委員会を第4木曜日に開催する。

### 3. 委員構成

委員長：医師1名（精神科または神経内科の経験を5年以上有する医師または認知症治療に係わる適切な研修を終了した専任医師）

委員：薬剤師1名、社会福祉士または精神保健福祉士1名、作業療法士または理学療法士1名、看護師2名（うち、1名は研修を修了した専任看護師）、管理栄養士1名、事務2名（事務局は医事課・看護部に置く）

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
4月25日	・認知症ケア委員会構成メンバーについて確認
5月23日	・今年度認知症ケア研修会開催について確認 対象者①認知症ケアチームのコアメンバー②認知症ケアを学びたい方 期間 8月から2月第4木曜日
6月25日	・「認知症ケアチーム」「精神科リエゾンチーム」の院内掲示用ポスター作成
7月25日	・全体講演会について話し合い
8月29日	・全体講演会開催 テーマ「認知症・せん妄の基礎知識と対応方法について」 講師：河邊医師 「認知症の基礎知識について」 講師：小笠原看護師
9月26日	・認知症ケア研修会 「認知症の概念と症状、BPSDについて」
10月24日	・認知症ケア研修会 「適切なケア、基本的姿勢、抑制について」
11月28日	・認知症ケア研修会 「症状別対応、コミュニケーションについて」
12月26日	・認知症ケア研修会 「認知症の方の睡眠、薬剤について」
1月23日	・認知症ケア研修会 「認知症の方の環境整備について」 ・薬剤の使用状況報告 今後も病棟毎で状況確認、調査を行う
2月27日	・認知症ケア研修会 「認知症の方の食事について」

3月26日	<ul style="list-style-type: none"><li>・診療報酬改定について</li><li>・認知症対応病院実地指導活動報告会資料配付</li></ul>
-------	---

## 医療ガス安全管理委員会

### 1. 目的

医療ガス（医療の用に供する酸素・各種麻酔ガス・吸引・医療用圧縮空気・窒素等をいう）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。

### 2. 内容

- ①医療ガス設備について、別に定める「医療ガスの保守点検指針」に基づいて実施責任者に保守点検業務を行わせること。
- ②帳簿を備え、実施した保守点検について記録を作成し、保存すること。
- ③医療ガス設備に係わる新設及び増設工事、部分改造、修理等に当たっては、臨床各部門にその旨周知徹底を図り使用に先立って厳格な試験・検査を行い安全を確認すること。
- ④医療施設内の各部門に、医療ガスに関する知識を普及し、啓発に努めること。

### 3. 委員構成

医師、薬剤師、放射線技術科技師、臨床検査技術科技師長、臨床工学技術科技師長、看護課長、事務部長、施設課員

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
2月27日	・医療ガス設備点検結果について ・作業環境測定と吸引風量測定結果について ・その他一病室の吸引ビンホルダーについて 医療ガス全体講習会の実施について

## 医療廃棄物管理委員会

### 1. 目的

医療廃棄物管理委員会（以下「委員会」という）は、医療廃棄物ことに感染症を生ずるおそれがある廃棄物について、「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」に沿って必要な事項を検討し適正処理の推進を図ることを目的とする。

### 2. 内容

- ①廃棄物処理計画に関する事項
- ②事業所内処理に関する取り扱い事項
- ③委託処理に関する取り扱い事項
- ④医療廃棄物処理・管理規程の作成と検討
- ⑤病院長の諮問事項、その他廃棄物に関すること

### 3. 委員構成

医師、薬剤師、放射線技術科技師、臨床検査技術科技師長、臨床工学技術科技師長、看護課長、事務部長、施設課員

事務局：施設課

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
2月27日	<ul style="list-style-type: none"><li>・廃棄物処理費用と排出量の推移について</li><li>・産業廃棄物収集運搬日の変更について</li><li>・廃棄物分類表の訂正について</li><li>・その他－委員会名簿について</li></ul>

## 災害対策委員会

### 1. 目的

防災管理の徹底を期すると共に、地震・火災・その他の災害が発生した場合、人的・物的被害を最小限に防止することを目的とする。

### 2. 内容

- ①防災計画並びに防災訓練に関する事
- ②防災関係諸規程の整備に関する事
- ③建物、附属設備の改善・点検・保全及び防災設備の改善強化に関する事
- ④防災並びに避難に関する調査・研究・企画に関する事
- ⑤防災知識の普及及び高揚に関する事
- ⑥その他防災上必要な事項に関する事

### 3. 委員構成

委員会は管理権原者が指名する委員長、副委員長及び各部署の委員を以って構成し、必要に応じ病院の内外の有識者を加えるものとする。

事務局：施設課

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
5月30日	・防災管理計画（消防計画）について ・避難誘導訓練（7月度）について ・災害対応訓練について ・業務継続計画（BCP）の見直しについて ・その他－火災通報専用電話機の運用変更について 実災害時職員参集について
9月26日	・2019年度災害対応訓練について ・避難訓練について ・その他－委員会のメンバー変更について

## 院内コンプライアンス委員会

### 1. 目的

院内のコンプライアンス態勢の確立、浸透、定着という目的を達成するために必要な事項を審議する。

なお、個人情報および医療事故に係ることについては其々の委員会において審議する。

### 2. 内容

- ①コンプライアンスに関する全体的な施策に関する事項
- ②コンプライアンス・プログラムの策定等について、コンプライアンス統括責任者から付議された事項
- ③コンプライアンスに関する研修の実施
- ④その他、コンプライアンスに関する重要な事項

### 3. 委員構成

- (1) コンプライアンス統括責任者（病院長）
- (2) コンプライアンス副統括責任者（事務部長）
- (3) 管理職：薬剤部長、看護部長、診療協同部長
- (4) 各部門部署代表：薬剤部室長、放射線技術科、臨床検査技術科、リハビリテーション技術科、栄養科、臨床工学技術科、臨床心理科、健康管理センター、地域連携室、介護事業室長、副看護部長、看護課長、事務管理室長、企画室長、医療情報室長、総務課長、医事課長、施設課長、企画課長、院長の認めたこれに準ずる者

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
6月28日	・2018年度コンプライアンス各病院報告事例について ・2019年度部署・職場の行動規範の点検実施について ・コンプライアンス違反事例の周知について
9月27日	・院内コンプライアンス規定の変更について ・コンプライアンス違反事例の周知について
11月29日	・2019年度コンプライアンス・プログラムの進捗状況について ・コンプライアンス事案の発生報告について
3月27日	・コンプライアンスマニュアル ・2019年度自己点検シート指導状況について ・暴排条項について ①暴排条項除外団体について②覚書の適用範囲について ・コンプライアンス事案の発生について

## 安全衛生委員会

### 1. 目的

労働者の意見を集約し、労働災害の防止策や過重労働防止などを事前に調査・審議することにより、将来の労働災害や健康障害を防ぐ。

### 2. 内容

- ①職員健診の実施および管理（春・秋健診2回）
- ②雇入健診の実施および管理
- ③インフルエンザ予防接種の実施
- ④ストレスチェック制度実施に関する事項
- ⑤その他職員の健康に関する事項 等

### 3. 委員構成

診療協同部長、薬剤部長、事務部長、健康管理科部長、循環器内科部長、眼科部長、放射線技術科技師長、臨床検査技術科技師長、外来看護課長、感染制御係長、総務課

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
4月26日	・委員会規程の変更について ・2019年度春季職員健診実施について
5月31日	・2019年度春季職員健診実施状況について ・産業医・衛生管理者院内巡視報告
6月7日	・2019年度春季職員健診実施の問題点について
7月5日	・ストレスチェック実施について ・働き方改革について
8月2日	・2019年度春季職員健診実施報告について ・ガラスバッチの装着の運用について ・職員B型肝炎ワクチン接種について
9月6日	・針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露報告について ・長時間労働者の報告について
10月4日	・2019年度秋季職員健診実施について ・ストレスチェック実施状況について ・職員インフルエンザ予防接種について
11月1日	・2019年度春季職員健診未実施者について
12月6日	・長時間労働者の報告について

1月10日	・2019年度秋季職員健診未実者について
2月22日	・令和2年度春季職員健診の運用について
3月6日	・新型コロナウイルスの対応等について ・4種ワクチンの接種記録について ・令和2年度年間スケジュールについて

## 医師等業務負担軽減検討委員会

### 1. 目的

医師・看護職員等に対する負担を軽減し、処遇改善に向けた検討を行う。

### 2. 内容

- ①医師・看護職員の勤務状況を把握する
- ②負担軽減に向けた改善案を検討する
- ③改善案に対する計画書を作成し、その進捗管理を行う
- ④その他医師・看護職員等の負担軽減に関すること

### 3. 委員構成

副院長、看護部長、薬剤部長、事務部長、放射線技術科技師長、臨床検査技術科技師長、リハビリテーション科技師長、栄養科技師長、臨床工学技術科技師長、看護課長、事務管理室長、総務課長、医事課長

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
6月17日	・2019年度医師等業務負担軽減計画表 ・勤務医の業務負担軽減に向けた取組掲示について
11月 (文書開催)	・2019年度医師等業務負担軽減計画の進捗確認（中間）
3月24日	・2019年度医師等業務負担軽減計画の進捗確認（期末） ・令和2年度医師等業務負担軽減計画の策定に向けて

## 人事考課制度推進委員会

### 1. 目的

この会は、事業所内における人事考課制度の実施、推進を目的とし、人事考課制度の円滑な運用を図ることを目的とする。

### 2. 内容

①人事考課制度の円滑な運営を図る

### 3. 委員構成

副院長 1 名、事務部長、人事考課インストラクター 3 名、オブザーバー 2 名、事務局 2 名

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
6 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2018 年度人事考課結果について</li><li>・ 2019 年度人事考課について</li><li>・ 2019 年度人事考課及び目標マネジメントのスケジュールについて</li><li>・ 新規インストラクターの就任について</li></ul>
2 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2019 年度人事考課実施スケジュールについて</li><li>・ 2019 年度人事考課者一覧について</li><li>・ 令和 2 年度目標課題設定スケジュールについて</li></ul>

## 省エネルギー管理委員会

### 1. 目的

地球温暖化防止CO<sub>2</sub>削減に向け使用量の把握、エネルギー使用の合理化に関する方策、省エネルギーに関する設備改廃計画の作成、院内における省エネルギー活動の推進を目的とする。

### 2. 内容

- ①省エネルギーの合理化に関すること
- ②省エネルギー管理に関すること

### 3. 委員構成

事務部長・薬剤師・臨床検査技師・診療放射線技師・言語聴覚士・管理栄養士・看護師・施設課  
事務局：施設課

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
7月11日	<ul style="list-style-type: none"><li>・2018年度のエネルギー使用量</li><li>・光熱費と燃料費について</li><li>・空調機の修理状況について</li><li>・2018年度の省エネの取組み</li><li>・冷温水発生機の空気比の見直しについて</li><li>・省エネルギー診断について</li><li>・節電のお願いについて</li><li>・固定価格買取り制度について</li><li>・委員会名簿について</li></ul>

## 治験・臨床研究等倫理審査委員会

### 1. 目的

治験および臨床研究等の審査を行う。

### 2. 内容

①治験関連の審査

②臨床研究の審査

### 3. 委員構成

委員長：内科医師

副委員長：精神科医師

委員：内科医師、看護部長、薬剤部長、事務部長、事務管理室長、医事課長、  
学識経験者2名、薬剤供給室長（事務局）

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
2月26日	<ul style="list-style-type: none"><li>・委員会変更</li><li>・日本整形外科学会レジストリー(JOANR)について➡承認</li><li>・整形外科病棟における身体抑制解除に対する看護師の思い➡承認</li><li>・香りが嚥下機能改善と栄養状態に及ぼす影響➡研究終了報告</li><li>・外来化学療法を受ける患者のセルフケア行動の実態調査➡研究終了報告</li><li>・救急外来で死亡した患者・家族への看護における看護師の感情➡研究終了報告</li><li>・リンパ浮腫を生じている患者のリンパマッサージに対する感情の変化➡研究終了報告</li></ul>

## 健康セミナー委員会

### 1. 目的

地域の住民を対象に健康維持・増進を図ること、各科領域の疾患に関する知識の習得や啓蒙を目的とする。

### 2. 内容

健康セミナー、糖尿病教室、母親教室の部門に分かれる。

- ・健康セミナーは、4回／年開催
- ・委員会は、毎月の第3月曜日（第3月曜日が休日の場合は第3火曜日）に開催する
- ・糖尿病教室は、1回／月に開催 委員会は毎月の第1火曜日に開催する
- ・母親教室は、偶数月第2第4の金曜日、奇数月第2の金曜日に開催する

### 3. 委員構成

医師、薬剤科、看護部、放射線科、検査科、栄養科、リハビリテーション科、事務に所属する担当者で構成する。

### 4. 開催日と活動内容

#### ・健康セミナー

開催日	テーマ	講師	参加人数
6月7日 (金)	頭痛外来 ～たかが『頭痛』されど『頭痛』 なんですけど痛くなったら、すぐ〇〇〇で よろしいですか?!～	総合内科部長 谷本功	12名
9月6日 (金)	検査のプロ イチ推し!! オススメの検査 ～攻めの検査で自分を守ろう～	検査科 蜂須賀大輔	23名
12月4日 (水)	認知症について	精神科部長代理 河邊真好	30名
3月2日 (月)	皮膚トラブルから守るスキンケア方法	認定看護師 中本加純	開催中止
10月21日 (月)	今日からできる高血圧予防	副院長 後藤章友 名古屋市立大学 学生	29名

#### ・糖尿病教室

開催日	テーマ	講師	参加人数
4月11日 (木)	糖尿病とは 糖尿病とアルコール	看護師 滝聡雄 管理栄養士 古田一平	11名
4月25日 (木)	糖尿病のお薬について フットケアについて	薬剤師 櫻井英俊 看護師 吉田和恵	11名

5月9日 (木)	検査結果の見方 短期集中レッスン  みんなで元気に笑いましょう	臨床検査技師 蜂須賀大輔 看護師 白石剛	11名
5月23日 (木)	糖尿病の合併症と生理学的検査について 糖尿病と目の病気	名誉病院長 大野恒夫 眼科医 川村美穂子 視能訓練士 本田盛也	15名
6月20日 (木)	糖尿病と運動～糖尿病運動療法のきほん～ 糖尿病と認知症について ～脳をいきいきリフレッシュ～	理学療法士 福原夏梨子 臨床心理士 須田牧子	12名
7月11日 (木)	肥満とメタボリックシンドロームのお話し 朝食から帰る！肥満・食後高血糖予防の食事療法	名誉病院長 大野恒夫 管理栄養士 金神有里	8名
7月25日 (木)	検査のデータの見方 part2 ～一歩進んだ検査を知ろう～ 糖尿病と脱水	臨床検査技師 蜂須賀大輔 看護師 白石剛	12名
8月8日 (木)	脱水とくすり 暑い日の運動について	薬剤師 櫻井英俊 理学療法士 丹羽健太	12名
8月22日 (木)	糖尿病と睡眠 糖尿病とストレス―座談会でストレス発散―	看護師 吉田和恵 臨床心理士 須田牧子	10名
9月21日 (土)	食べて学ぶ糖尿病教室 「中華料理」	管理栄養士 古田一平	12名
10月3日 (木)	脂質異常症について 脂質異常と食 ～アブラを味方につけよう～	名誉病院長 大野恒夫 管理栄養士 金神有里	15名
10月17日 (木)	家庭でできる！！ 糖尿病チェック～検査編～ インスリンは「最後の手段」ではない！	臨床検査技師 蜂須賀大輔 薬剤師 櫻井英俊	16名
11月7日 (木)	糖尿病と感染症 運動のちょっとしたコツについて ～日常生活の姿勢と歩き方～	看護師 滝聡雄 理学療法士 佐々順司	15名
11月21日 (木)	しっかり味わう・心を込めて食べる ～食習慣の改善のためのマインドフルネス体験～	精神科医師 木下	20名
12月21日 (土)	食べて学ぶ糖尿病教室 「五感で楽しむおもてなし料理」	管理栄養士	17名
1月16日 (木)	「糖尿病治療のポイント」 「糖尿病と運動」	名誉病院長 大野恒夫 理学療法士 福原夏梨子	12名

1月30日 (木)	「災害への準備出来ていますか？」 「採血管…あなたと私はなぜ違う」	薬剤師 櫻井英俊 臨床検査技師 蜂須賀大輔	13名
2月13日 (木)	「忙しくて自炊出来ない人、 外食・中食の血糖コントロール」 「足を毎日見えていますか」	管理栄養士 古田一平  看護師 吉田和恵	24名
2月27日 (木)	「糖尿病クイズ、一年のおさらいをしましょう」 「寒い季節と合併症」	臨床心理士 須田牧子 看護師 白石剛	開催中止
3月21日 (土)	食べて学ぶ糖尿病教室 ～災害時の対応、あなたは食べ物の準備をしていますか～	管理栄養士 中島里奈	開催中止

・母親教室

開催日	テーマ		講師
偶数月第2金曜日	中期母親教室Ⅰ	妊娠中の健康 妊娠中の栄養	産婦人科医師 栄養士
偶数月第4金曜日	中期母親教室Ⅱ	妊娠中の生活・妊婦体操	助産師
奇数月第2金曜日	後期母親教室	入院中の赤ちゃんの健康診断 入院案内・呼吸法・産婦人科病棟案内	小児科医師 助産師

※2020年2月より開催中止 対象者に個別対応

## 患者サービス向上会委員会

### 1. 目的

この会は患者様の安心と満足を提供するために、選ばれる病院づくりを目指して積極的に活動することを目的とする。

### 2. 内容

- ①入院・外来アンケートの実施および評価
- ②接遇研修会等の開催および評価
- ③「みなさまの声」に関する情報共有および対応策チェック
- ④病院職員としてのモラルに関する指標の作成・検討

### 3. 委員構成

診療部 1 名、診療協同部 6 名、看護部 2 名、事務部 4 名

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
5月21日	・「みなさまの声」(2~3月分) 内容確認 ・委員会規程の変更について
7月2日	・「みなさまの声」(4~6月分) 内容確認 ・患者満足度アンケート実施について
9月3日	・「みなさまの声」(7~8月分) 内容確認 ・職員の服装・身なりやマナーについて
11月5日	・「みなさまの声」(9~11月分) 内容確認
1月7日	・「みなさまの声」(12月分) 内容確認 ・本部主催患者サービス向上研修会への参加について
3月3日	・「みなさまの声」(1~2月分) 内容確認 ・患者サービス向上研修会の参加報告について

## ボランティア委員会

### 1. 目的

当院を活動の場とするボランティア活動について、その促進と円滑な運営を図ることを目的とする。

### 2. 内容

- ・ボランティアの日々の活動状況の把握、問題調整
- ・新規活動希望者への諸手続き、オリエンテーション対応
- ・ボランティアのインフルエンザ予防接種、人間ドック受検の手配
- ・院内外への活動状況の啓発

<必要時対応>

- ・ボランティア講座の開催
- ・ボランティアミーティング（病院側とボランティア登録者の意見交換会）の開催

### 3. 委員構成

看護部門、事務部門、福祉部門のそれぞれの代表者、その他、委員長が必要と認めた者

### 4. 開催日と活動内容

第3水曜日 12:15～ およそ隔月で開催

ボランティアの活動状況の確認に加え、特に下記の内容について協議、調整をおこなった。

開催日	活動内容
4月17日	・年間計画について
7月17日	・ボランティア室の管理体制について
11月20日	・ボランティアのインフルエンザ予防接種について ・ボランティアの忘年会参加、年賀状発送について ・ボランティア室管理の引き継ぎについて
1月15日	・ボランティアの人間ドック受診について

### 5. 補足

- 2020年3月以降、新型コロナウイルス感染予防のためボランティアの院内活動自体を見合わせている状況。

## 広報委員会

### 1. 目的

地域住民に向けた病院の広報活動に関する事項について提案・協議し、円滑な病院運営に役立てること

### 2. 内容

- ① 広報誌の発刊に関すること
- ② ホームページの管理・運用に関すること
- ③ 年報・年誌の作成に関すること
- ④ その他広報活動に関すること

### 3. 委員構成

診療協同部 4 名、看護部 1 名、事務部 4 名

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
4月19日	<ul style="list-style-type: none"><li>・2018年度年報作成内容について</li><li>・委員会メンバー変更について</li><li>・広報誌「銀杏」・年報内容について</li><li>・ホームページ・デジタルサイネージ更新・運用について</li></ul>
7月19日	<ul style="list-style-type: none"><li>・広報誌「銀杏」発刊について</li><li>・年報内容について</li><li>・ホームページ更新内容について</li><li>・デジタルサイネージ（放映内容）について</li></ul>
10月18日	<ul style="list-style-type: none"><li>・広報誌「銀杏」冬号について</li><li>・「SpotLight」インタビュー依頼について</li><li>・「年報」発刊について</li><li>・デジタルサイネージ（放映内容）について</li></ul>
1月19日	<ul style="list-style-type: none"><li>・2020年度広報誌発刊スケジュールについて</li><li>・広報誌「銀杏」春号について</li><li>・デジタルサイネージ（放映内容）について</li></ul>

## 臨床研修管理委員会

### 1. 目的

研修医が初期の目的を達成するために、臨床研修医プログラム、各部署各職種間との連携および研修医の処遇などを充実させる。

### 2. 内容

- ①臨床研修プログラムの検討、管理運営
- ②コメディカルとの連携のあり方
- ③研修の環境整備および相互評価
- ④研修医の採用に関する意見具申
- ⑤研修医の管理・教育および研修の評価・認定等統括管理

### 3. 委員構成

1. 研修管理責任者
2. プログラム責任者
3. 研修管理委員長
4. 副プログラム責任者
5. 副研修管理委員長
6. 各診療科指導責任者（内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、地域医療、救急）
7. 後期研修医
8. 薬剤部長
9. 放射線技術科技師長
10. 臨床検査技術科技師長
11. 看護部長
12. 事務部長
13. 事務管理室長
14. 研修医
15. 外部委員

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
5月28日	<ul style="list-style-type: none"><li>・東海北陸地区合同説明会について</li><li>・委員会規程変更について</li><li>・2019年度初期研修医の採用試験について</li></ul>
9月9日	<ul style="list-style-type: none"><li>・2019年度初期研修医の採用結果について</li><li>・臨床研修評価の認定更新について</li><li>・外部委員の選定について</li></ul>
11月11日	<ul style="list-style-type: none"><li>・2019年度初期研修医マッチング結果について</li><li>・2019年度臨床研修指導医講習会について</li><li>・地域密着型病院合同説明会の開催について</li></ul>
3月27日	<ul style="list-style-type: none"><li>・2019年度初期研修医の採用について</li><li>・令和2年度医師臨床研修マッチングスケジュールについて</li><li>・臨床研修管理委員会の規約変更（委員会メンバー変更）</li><li>・稲沢厚生病院卒後初期臨床研修プログラム修了認定（2018年度開始）</li><li>・稲沢厚生病院卒後初期臨床研修プログラムについて（令和3年度）</li></ul>

## CPC 委員会

### 1. 目的

臨床で経験した症例について、病理学的検討を行う。

### 2. 内容

①病理解剖

②臨床病理検討会（CPC）

### 3. 委員構成

- ・委員長は病院長の任命とする
- ・病院長、常勤医師、臨床研修医、委託病理医、臨床検査技師

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
7月17日	・病理解剖 1件実施
10月24日	・病理解剖 1件実施
2月27日	・2019年度 第1回臨床病理検討会（CPC）開催

## 情報システム管理委員会

### 1. 目的

診療情報を基本とし情報システムおよび診療記録に関することを検討し、システム面および運用面において円滑な情報共有体制と診療情報管理体制を整える。

### 2. 内容

システム関連

- ① 電子カルテシステムの機能面に関係すること
- ② 電子カルテシステムの運用面に関係すること
- ③ 部門システムと電子カルテシステムが直接関係すること
- ④ グループウェアに関係すること

診療情報管理関連

- ① 診療情報管理業務の取り扱い範囲に関係すること
- ② 診療情報管理に関する院内規定に関係すること
- ③ 診療記録および関連資料の様式ならびに記載要領に関係すること
- ⑤ 診療情報の開示に関係すること

### 3. 委員構成

委員長(医師：副院長)、内科医師、看護部代表、薬剤師、診療協同部(放射線技師)、医事課、医療情報室

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
4月11日	・定例報告（文書開催）
5月23日	・定例報告（文書開催） ・2018年度 疾病・診療科別・退院患者数
6月13日	・定例報告（文書開催） ・2018年度 疾病・診療科別・患者数
7月11日	・電子カルテシステムサーバの定期再起動について ・情報システム管理委員会の開催時間について
8月8日	・定例報告（文書開催）
9月12日	・定例報告（文書開催） ・稲沢厚生病院診療録等開示要領の改正について
10月10日	・全館停電に伴うシステム一時停止について ・外部メール切り離しについて
11月14日	・定例報告（文書開催）
12月12日	・がん登録統計について ・アクセス管理規程変更について ・パスワードを忘れた際の運用について

1月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例報告（文書開催）</li> <li>・ 電子カルテシステムサーバの定期再起動について</li> </ul>
2月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例報告（文書開催）</li> </ul>
3月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全館停電に伴うシステム一時停止について</li> <li>・ 生理検査システムバージョンアップについて</li> <li>・ 個人情報の不正閲覧について</li> <li>・ 検査試薬管理ソフトの使用許可について</li> <li>・ 食物禁忌の画面変更について</li> <li>・ 医療情報端末の定期確認について</li> </ul>

## DPC 委員会兼適切なコーディングに関する委員会

### 1. 目的

診断群分類別包括支払制度（DPC）の円滑な運用と適切なコーディング（適切な診断や国際疾病分類に基づく適切な病名分類等の決定）を行う体制を確保し、経営の効率化を図る。

### 2. 内容

①収入状況、ジェネリック率についての報告

②原則月 1 回定期開催。年 4 回は適切なコーディングに関する事項について周知及び議論する。

### 3. 委員構成

委員長（医師）1 名、医師 2 名、放射線技師 1 名、臨床検査技師 1 名、薬剤師 1 名、看護師 2 名、医療情報室 1 名、医事課 2 名、その他 委員長が必要と認めた者

### 4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
4 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2019 年 2 月収入状況報告</li><li>・ 入外ジェネリック率・後発医薬品採用リストについて</li><li>・ 医療機関別係数の変更について (適切なコーディングに関する委員会)</li><li>・ DPC(診断群分類)の概要について</li><li>・ 構成委員変更の報告</li></ul>
5 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2019 年 3 月収入状況報告</li><li>・ 入外ジェネリック率・後発医薬品採用リストについて</li></ul>
6 月 6 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2019 年 4 月収入状況報告</li><li>・ 入外ジェネリック率・後発医薬品採用リストについて</li><li>・ DPC 包括対象外となる薬剤の変更について</li></ul>
7 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2019 年 5 月収入状況報告</li><li>・ 入外ジェネリック率・後発医薬品採用リストについて (適切なコーディングに関する委員会)</li><li>・ DPC 帳票の見方と DPC 分析について</li></ul>
8 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2019 年 6 月収入状況報告</li><li>・ 入外ジェネリック率・後発医薬品採用リストについて</li><li>・ 医療機関別係数の変更について</li></ul>
9 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2019 年 7 月収入状況報告</li><li>・ 入外ジェネリック率・後発医薬品採用リストについて</li></ul>
10 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2019 年 8 月収入状況報告</li><li>・ 入外ジェネリック率・後発医薬品採用リストについて</li><li>・ 医療機関別係数の変更について (適切なコーディングに関する委員会)</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年10月診療報酬改定に伴うDPC収入への影響について</li> <li>・DPC包括対象外となる高額薬剤の変更について</li> </ul>
11月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年9月収入状況報告</li> <li>・入外ジェネリック率・後発医薬品採用リストについて</li> </ul>
12月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年10月収入状況報告</li> <li>・入外ジェネリック率・後発医薬品採用リストについて</li> </ul>
1月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年11月収入状況報告</li> <li>・入外ジェネリック率について・後発医薬品採用リストについて</li> </ul>
2月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年12月収入状況報告</li> <li>・入外ジェネリック率・後発医薬品採用リストについて</li> </ul>
3月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年1月収入状況報告</li> <li>・入外ジェネリック率・後発医薬品採用リストについて</li> <li>・医療機関別係数の変更について (適切なコーディングに関する委員会)</li> <li>・2020年度 医療機関別係数の変更について</li> <li>・2020年度診療報酬改定に伴うDPCコーディング変更点について</li> </ul>

## 地域医療連携委員会

### 1. 目的

地域医療機関との円滑な役割分担の遂行に寄与するとともに、相互の協力により良質な医療環境を提供し地域医療の充実と発展をはかることを目的とする。

### 2. 内容

- ①紹介・逆紹介件数の報告
- ②紹介症例検討会の報告
- ③地域の医療機関からの意見・対応報告
- ④その他、地域医療連携に関する事項

### 3. 委員構成

医師部門、放射線技術科、看護部門、健康管理室、事務部門、地域医療連携課

### 4. 開催日と活動内容

委員会の開催は原則として2ヶ月に1回とし、偶数月の第4木曜日

開催日	活動内容
4月 (文書開催)	・紹介・逆紹介・施設利用件数等の報告 ・4/17 紹介症例検討会の報告 11 医療機関 42 人参加 ・研修会等参加報告 ・皮膚科常勤医赴任に伴う皮膚科開業医訪問 8 件 ・院長・地域連携部長交代に伴う病院・開業医訪問 38 件
6月19日	・紹介・逆紹介・施設利用件数等の報告 ・6/19 紹介症例検討会の報告 13 医療機関 43 人参加 ・研修会等参加報告
8月22日	・紹介・逆紹介・施設利用件数等の報告 ・夏期医療機関の訪問報告 95 件 ・周術期等の口腔機能管理の連携について ・他院画像複製依頼について
10月 (文書開催)	・紹介・逆紹介・施設利用件数等の報告 ・9/18 紹介症例検討会の報告 12 医療機関 45 人参加

12月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介・逆紹介・施設利用件数等の報告</li> <li>・11/20 紹介症例検討会の報告 アンケート実施 11 医療機関 44 人参加</li> <li>・冬期医療機関の訪問報告 97 件</li> <li>・時間外施設利用 開始について</li> <li>・完全週休2日制実施について 110 医療機関へ郵送</li> <li>・研修会等参加報告</li> </ul>
2月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介・逆紹介・施設利用件数等の報告</li> <li>・2/19 紹介症例検討会の報告 12 医療機関 39 人参加</li> <li>・禁煙外来の開設について</li> <li>・耳鼻いんこう科診療体制の変更について</li> <li>・小児科診療体制の変更について 115 医療機関へ郵送</li> </ul>

## VI. セミナー・教室活動

糖尿病教室

開催日	テーマ	講師	参加人数
4月11日 (木)	糖尿病とは 糖尿病とアルコール	看護師 滝聡雄 管理栄養士 古田一平	11名
4月25日 (木)	糖尿病のお薬について フットケアについて	薬剤師 櫻井英俊 看護師 吉田和恵	11名
5月9日 (木)	検査結果の見方 短期集中レッスン  みんなで元気に笑いましょう	臨床検査技師 蜂須賀大輔 看護師 白石剛	11名
5月23日 (木)	糖尿病の合併症と生理学的検査について 糖尿病と目の病気	名誉病院長 大野恒夫 眼科医 川村美穂子 視能訓練士 本田盛也	15名
6月20日 (木)	糖尿病と運動～糖尿病運動療法のきほん～ 糖尿病と認知症について ～脳をいきいきリフレッシュ～	理学療法士 福原夏梨子 臨床心理士 須田牧子	12名
7月11日 (木)	肥満とメタボリックシンドロームのお話し 朝食から帰る！肥満・食後高血糖予防の食事療法	名誉病院長 大野恒夫 管理栄養士 金神有里	8名
7月25日 (木)	検査のデータの見方 part2 ～一歩進んだ検査を知ろう～ 糖尿病と脱水	臨床検査技師 蜂須賀大輔 看護師 白石剛	12名
8月8日 (木)	脱水とくすり 暑い日の運動について	薬剤師 櫻井英俊 理学療法士 丹羽健太	12名
8月22日 (木)	糖尿病と睡眠 糖尿病とストレス—座談会でストレス発散—	看護師 吉田和恵 臨床心理士 須田牧子	10名
9月21日 (土)	食べて学ぶ糖尿病教室 「中華料理」	管理栄養士 古田一平	12名
10月3日 (木)	脂質異常症について 脂質異常と食 ～アブラを味方につけよう～	名誉病院長 大野恒夫 管理栄養士 金神有里	15名
10月17日 (木)	家庭でできる！！ 糖尿病チェック～検査編～ インスリンは「最後の手段」ではない！	臨床検査技師 蜂須賀大輔 薬剤師 櫻井英俊	16名
11月7日 (木)	糖尿病と感染症 運動のちょっとしたコツについて ～日常生活の姿勢と歩き方～	看護師 滝聡雄 理学療法士 佐々順司	15名
11月21日 (木)	しっかり味わう・心を込めて食べる ～食習慣の改善のためのマインドフルネス体験～	精神科医師 木下	20名

12月21日 (土)	食べて学ぶ糖尿病教室 「五感で楽しむおもてなし料理」	管理栄養士	17名
1月16日 (木)	「糖尿病治療のポイント」 「糖尿病と運動」	名誉病院長 大野恒夫 理学療法士 福原夏梨子	12名
1月30日 (木)	「災害への準備出来ていますか？」 「採血管…あなたと私はなぜ違う」	薬剤師 櫻井英俊 臨床検査技師 蜂須賀大輔	13名
2月13日 (木)	「忙しくて自炊出来ない人、 外食・中食の血糖コントロール」 「足を毎日見えていますか」	管理栄養士 古田一平 看護師 吉田和恵	24名
2月27日 (木)	「糖尿病クイズ、一年のおさらいをしましょう」 「寒い季節と合併症」	臨床心理士 須田牧子 看護師 白石剛	開催中止
3月21日 (土)	食べて学ぶ糖尿病教室 ～災害時の対応、あなたは食べ物の準備をしていますか～	管理栄養士 中島里奈	開催中止

### 健康セミナー

開催日	テーマ	講師	参加人数
6月7日 (金)	頭痛外来 ～たかが『頭痛』されど『頭痛』 なんですが痛くなったら、すぐ〇〇〇で よろしいですか?!～	総合内科部長 谷本功	12名
9月6日 (金)	検査のプロ イチ推し!! オススメの検査 ～攻めの検査で自分を守ろう～	検査科 蜂須賀大輔	23名
12月4日 (水)	認知症について	精神科部長代理 河邊真好	30名
3月2日 (月)	皮膚トラブルから守るスキンケア方法	認定看護師 中本加純	開催中止
10月21日 (月)	今日からできる高血圧予防	副院長 後藤章友 名古屋市立大学 学生	29名

### 母親教室

開催日	テーマ		講師
偶数月第2金曜日	中期母親教室Ⅰ	妊娠中の健康 妊娠中の栄養	産婦人科医師 栄養士
偶数月第4金曜日	中期母親教室Ⅱ	妊娠中の生活・妊婦体操	助産師
奇数月第2金曜日	後期母親教室	入院中の赤ちゃんの健康診断 入院案内・呼吸法・産婦人科病棟案内	小児科医師 助産師

※2020年2月より開催中止 対象者に個別対応

## VII. そ の 他



## 編集後記

2020年度も後半となって、2019年度の年報発刊の季節となりました。発刊にあたりご協力いただきありがとうございます。

昨年の編集後記にて、2020年東京オリンピック開催に触れましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により開催が1年延期となってしまい残念でなりません。日常生活においても非常事態宣言の発令で外出自粛、ソーシャルディスタンスなど生活スタイルが大きく変化しました。

各医療機関においても、この新型コロナウイルス感染症の影響による患者数の減少等で厳しい経営状況になってしまいました。当院も同様であり、この状況を乗りきるために職員一丸となって対応していくしかありません。感染予防対策を厳守しつつ、各個人が今一度自分に何が出来るか考え行動し、この状況を乗りきれたらと思います。

次年度は色々良い方向に向かうことを祈念して編集後記とします。

広報委員会委員長 前田 直希

稲沢厚生病院 広報委員会

委員長	薬 剤 部	前 田 直 希
委 員	看 護 部	日 比 野 周 子
委 員	薬 剤 部	沼 田 美 穂
委 員	放 射 線 技 術 科	吉 田 宣 博
委 員	臨 床 検 査 技 術 科	山 田 美 咲
委 員	総 務 課	國 定 賢 一 朗
委 員	医 事 課	伊 藤 耕 介
事務局	企 画 ・ 医 療 情 報 室	渡 邊 真 一
事務局	企 画 課	原 誠 志 郎

稲 沢 厚 生 病 院 年 報  
18 号 (2019 年度)

2020 年 12 月 発 刊

---

発 行 愛知県厚生農業協同組合連合会  
稲沢厚生病院 院長 伊藤 浩一  
住 所 〒495-8531  
稲沢市祖父江町本甲拾町野 7 番地